

安息日学校のレッスン

キリストへの歩み

第四天使省
最後通告

アフリカ連合

製作 : 宣教安息学校部 第四の使徒 - 最終警告

レッスン 1 - 人間に対する神の愛.....	2
レッスン 2 - 罪人はキリストを必要としています。.....	9
レッスン 3 - 悔い改め.....	16
レッスン 4 - 告白.....	28
レッスン 5 - 奉獻	33
レッスン 6 - 信仰と受容.....	39
レッスン 7 - 弟子としての試験.....	45
レッスン 8 - キリストにおける成長.....	52
レッスン 9 - 仕事と生活	59
レッスン 10 - 神についての知識	65
レッスン 11 - 祈りの特権.....	71
レッスン 12 - 何をすれば.....	79
レッスン 13 - 主にあって喜ぶ.....	85

レッスン 1 - 人間に対する神の愛

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 1 章 - エレン G. ホワイト。

黄金聖句: 「愛しない者は神を知りません。神は愛だからです」 ヨハネ第一 4:8

日曜日

1) 神はどのようにしてご自身とご自身の性質を私たちに明らかにされるのでしょうか? ロム。 1:19,20

答え: 「神について知り得ることは、神が彼らに明らかにしたので、彼らの中に明らかになります。

なぜなら、世界の創造以来の神の目に見えないもの、つまり神の永遠の力と神性は、創造されたものによって理解され、はっきりと見えるからです。」

自然は啓示と同様に神の愛を証明します。天の父は命、知恵、喜びの源です。自然の中の美しく素晴らしいものを見てください。人間だけでなく、すべての生き物のニーズと幸福にその素晴らしい適応を考えてみてください。大地、山、海、平野を喜ばせ、元気づける太陽と雨の輝きは、すべて創造主の愛を物語ります。すべての被造物の日々の必要を満たしてください。くださるのは神です。の中に

詩編作者の美しい言葉:

「すべての人の目があなたを待っています、そしてあなたは、やがて彼らに食べ物を与えます。あなたは手を広げ、あらゆる生き物を慈悲で満足させます。」 (詩 145:15,16)。

神は人間を完全に聖く、幸福にされました。そして、色とりどりの地球は、創造主の手から来たものであるため、腐敗の痕跡も呪いの影もありませんでした。呪いと死をもたらしたのは、神の律法、つまり愛の法則への違反でした。

2) なぜ神は罪を犯した後、地球にいばらやアザミを生えさせたのでしょうか? 将軍3:17。

A.: 「呪われた土地はあなたのためにあります」 将軍。 3:17 スペイン語訳、レイナ・ヴァレラ、1859 年。

しかし、罪の結果生じる苦しみのただ中にさえ、神の愛は明らかにされます。神は人間のせいで地を呪ったと書かれています(創世記3:17)。

いばらとアザミ、つまりあなたの人生を労苦と配慮の生活にする困難と苦しみは、罪がもたらした破滅と墮落からあなたを回復するための神の計画に必要な訓練の一部として、あなたの利益のために設計されたものです。世界は墮落したとはいえ、悲しみと悲惨だけではありません。自然界には希望と慰めのメッセージがあります。アザミには花が咲き、棘はバラで覆われています。

月曜日

1) 神とは何ですか?ヨハネ第一 4:8。

A.: 「愛しない者は神を知りません。神は愛だからです。」(アルメイダ改訂新訳)。

「神は愛です」は、開くすべての芽、成長するすべての植物の茎に書かれています。楽しいさえずりで空気を満たす愛らしい鳥、完璧な香りで空気を香り立たせる繊細な色の花、鮮やかな緑の豊かな葉を茂らせたそびえ立つ森の木々はすべて、私たちの神の優しい父性の配慮と神の願望を証明しています。お子様を幸せにするために。

2) 自然のほかに、私たちは神を知ることができるのでしょうか?教授2:1,5。

A.: 「息子よ、もしあなたが私の言葉を受け入れ、私の戒めをあなたに隠すなら…そうすれば…あなたは神についての知識を見つけるでしょう。」

神の言葉は神の性格を明らかにします。彼自身が無限の愛を宣言し、

思いやり。モーセが「あなたの栄光をわたしに見せてください」と祈ったとき、主は「わたしの善いことをすべてあなたの前に伝えます」と答えられました(出エジプト記33:18,19)。これが神の栄光です。主はモーセの横を通り過ぎて、こう宣言されました。「彼は千世代にわたって憐れみを保たれ、不法と罪と罪を赦してください。」(出エジプト記 34:6,7)彼は「怒るのが遅く、親切に満ちている」(ヨハネ 4:2)。慈悲。"(ミカ 7:18)。

3) なぜ人間は神が愛であり、善に満ちたお方であることに気づかないのでしょうか?なぜ彼らは神が自分たちの間違いを赦してくださっていることが分からないのでしょうか? IIコリント 4:4。

答えは「この時代の神は不信者の心を盲目にし、神の栄光であるキリストの栄光の福音の光が彼らに輝かないようにしている。」

神は天と地の無数のしるしによって、私たちの心を神に引き寄せてくださいました。

自然のもの、そして人間の心が理解できる最も深くて優しい地上の絆を通して、神は私たちにご自身を明らかにしようと努めてきました。

しかし、これらすべては神の愛を不完全に表しています。これらすべての証拠が示されているにもかかわらず、善の敵は人間の心を盲目にして、恐怖のあまり神を見ないようにしてきました。彼らはイエスを厳格で容赦のない人物だと判断します。サタンは人間に、神という概念を、その主な帰属が厳格な正義である存在、つまり極端な裁判官であり、厳格で要求の厳しい取立て者であるという概念を持つように導きました。彼は創造主を、人間の間違いや欠点を見分けようと疑いの目で探している存在として描写し、裁きをもって彼らを訪れることができるようにしました。

火曜日

1) 神がご自身に対して与えられた最大の啓示は何ですか?へブ。 1:1,3。

A.: 「神は、この終わりの日に、御子を通して私たちに語りかけられました。御子は、神の栄光の輝きであり、御人格の明確な姿です。」

神の御子は父を現すために天から来られました。「誰も神を見たことがありません。それを明らかにしたのは、父の懐にいる独り子です。」（ヨハネ 1:18）。「父以外には誰も御子を知りません。そして、子と、子が父を明らかにしようとした人以外には、誰も父を知りません。」（マタイ 11:27）。弟子の一人が「父を見せてください」と尋ねたとき、イエスはこう答えました。「ピリポ、私は長い間あなたと一緒にいたのに、あなたは私のことを知らなかったのですか?」私を見る者は誰でも父を見ます。「あなたは、どうして『父を見せてください』と言いますか?」（ヨハネ14:8,9）。

イエスは地上での自分の使命について次のように述べました。彼は捕虜の解放と目の見えない人の視力の回復を宣言し、抑圧されている人々を解放するために私を遣わしたのです。」（ルカ 4:18）。これは神の働きでした。イエスは善を行うため、またサタンに抑圧されているすべての人々を癒すために来ました。どの家からも病気の泣き声が聞こえない村があった。というのは、イエスは彼らのそばを通り過ぎて、彼らの病人をすべていやしてくださったからである。彼の業績は神の聖なる油注ぎの証拠を与えました。愛、慈悲、思いやりが彼の生涯のあらゆる行為に表れていました。彼の心は人の子らに対する優しい同情に動かされました。神は人類の必要を満たすために人間の性質を取り入れました。最も貧しく、最も謙虚な人々も、恐れることなく神に近づきました。

小さな子供たちも主のもとに連れて来られ、主の膝の上に座り、主の思索的で優しい愛に満ちた顔を眺めるのが大好きでした。

イエスは真理の言葉を一言も抑圧せず、常に愛をもって真理を語られました。

彼は人々と接する際に、最大限の機転と思慮深い細心の注意を払った。彼は決して失礼な態度をとらなかつたし、不必要に厳しい言葉を言ったことも、敏感な魂に不必要な苦痛を与えたこともありませんでした。彼は人間の弱さを責めませんでした。彼は真実を話しましたが、常に愛を持っていました。彼は偽善、不信仰、不法行為を非難した。しかし、イエスが厳粛な叱責を述べられたとき、その声には涙があふれていました。彼は、彼が愛した都市であるエルサレムが、彼を、道を、真理を、命を受け入れることを拒否したことを思い涙を流しました。彼らは救い主であるイエスを拒絶していましたが、イエスは彼らを同情深い優しさで見つめられました。彼の人生は自己の否定と他者への細心の注意を払った人生でした。彼の目にはどんな魂も貴重なものでした。彼は常に神の威厳を持ち、神の家族全員に細心の注意を払いました。彼はすべての人間の中に墮落した魂を見出し、彼らを救うことが彼の使命であると考えました。

これがキリストの生涯において明らかにされたキリストの性格でした。これが神の性質です。・

御父の御心は、キリストのうちに現された神の憐れみの源であり、それは人の子らに流れ込みました。優しく同情心に満ちた救い主であるイエスは、「肉体において現された神」でした。（1テモテ 3:16）。

水曜日

1) 神はどのような目的で御子をこの世に遣わされましたか?ヨハネ 3:17。

A.: 「神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世界が救われるためだからです。」

イエスが生き、苦しみ、死んだのは、私たちを贖うためでした。わたしたちが永遠の栄光にあずかるために、イエスは「悲しみの人」となられたのです。神は、恵みと真理に満ちたご自分の最愛の御子が、言葉では言い表せない栄光の世界から、罪に傷つき、痛み、死と呪いの影で暗くなった世界へ旅立つことを許されました。それによって、イエスのご自身の愛、天使の崇拝の懐から離れ、恥、侮辱、屈辱、憎しみ、死に耐えることができました。「私たちに平和をもたらす罰は彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちが癒されるのです。」（イザヤ 53:5）。

砂漠で、ゲツセマネで、十字架上で主を黙想してください。汚れのない神の御子は罪の重荷を自ら引き受けました。神と一つであった彼は、罪が神と人間の間を引き起こす恐ろしい分離を魂の中で感じていました。これは彼のものから奪いました

「わが神、わが神、なぜあなたは私をお見捨てになったのですか？」と苦悶の叫び声が唇を震わせた。（マツト。27:46）。神の御子の心を打ち砕いたのは、罪の重荷、罪の恐ろしい巨大さ、罪が魂と神の間に生み出す分離の感覚でした。

2) 神は罪人を愛していますか?エフェ。2:4,5;ヨハネ 16:26,27。

答え：「しかし、憐れみ豊かな神は、たとえ私たちが罪を犯して死んでいるときでさえ、私たちを愛してくださったその大きな愛によって、私たちを生かしてくださいました。」 「その日、あなたはわたしの名によって求めるであろう。わたしは、あなたのために父に求めるとは言わない。父ご自身があなたを愛しているからである。」

しかし、この多大な犠牲は、御父の心に人間への愛を生み出すためでも、人間を救いたいと思わせるためでもありませんでした。いやいや！「神はご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。」（ヨハネ 3:16）。御父が私たちを愛してくださったのは、大いなる宥めのゆえにではなく、私たちを愛しているからであるのです。キリストは、墮落した世界に無限の愛を注ぐことができる手段でした。「神はキリストのうちに世界をご自分と和解させておられました。」（IIコリント 5:19）。神は御子と共に苦しみました。

ゲツセマネの苦しみの中で、カルバリの死の中で、無限の愛の心が私たちの救いの代価を支払いました。

イエスは、「父が私を愛してくださるのはこのためです。私が命を捨てたのは、再び命を取り戻すためです。」と言いました。

（ヨハネ 10:17）。それは、「父はあなたをととも愛していたので、私があなたを贖うために命を捧げたので、さらに私を愛してくださいました。私の命を捨て、あなたの限界と罪を引き受けてくださったあなたの身代わりであり保証人となること、私は父にとって最も大切な存在です。なぜなら、私の犠牲を通して、神は義なることができ、またイエスを信じる者を義とする者になれるからです。」

木曜日

1) 私たちに対する神の愛を最もよく示す神の行為は何ですか?ヨハネ 3:16

答え：「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、神を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。」

神の御子以外に私たちの救いを実現できる者はいません。なぜなら、御父の懐におられる方だけが御自分を現すことができるからです。神の愛の高さと深さを知っている者だけが、それを明らかにすることができます。無限にほかならない

墮落した人間のためにキリストが払った犠牲は、失われた人類に対する父の愛を表現することができます。

「神はご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。」神は単に人間の中で生き、人間の罪を負い、犠牲として死ぬためにイエスを与えただけでなく、墮落した種族に与えたのです。キリストは人類の利益と必要に自分自身を重ね合わせるべきでした。神と一つであった彼は、決して切れることのない絆によって人の子らと結ばれていました。イエスは「彼らを兄弟と呼ぶことを恥じません」（ヘブライ人への手紙 2:11）。イエスは私たちの犠牲であり、私たちの代弁者であり、私たちの兄弟であり、父の玉座の前で私たちの人間の姿をとり、永遠の時代を通して、彼が贖われた人種、つまり人の子と一つです。そしてこれらすべては、人が罪による破滅と墮落から引き上げられ、神の愛を反映し、聖さの喜びに参加できるようにするためです。

金曜日

1) 神は愛によって私たちにどのような特権を与えてくださいますか?ヨハネ第一 3:1

A.: 「私たちが神の子と呼ばれるまでに、御父がどれほど大きな愛を私たちに与えてくださったか見てください。」アルメイダ訳を改訂し、更新しました。

私たちの贖いのために支払われた代価、つまり私たちのために御子を死なせてくださった天の御父の無限の犠牲は、私たちがキリストを通してどのような者になったのかという崇高な概念を私たちに与えてくれるはずで、霊感を受けた使徒ヨハネは、失われた民族に対する御父の愛の高さ、深さ、広さを見たとき、崇拜と畏敬の念で満たされました。そして、この愛の偉大さと優しさを表現するのに適切な言葉を見つけることができず、彼はこの愛について熟考するよう世界に呼びかけました。「私たちが神の子と呼ばれるために、御父がどれほど大きな愛を与えてくださったか見てください。」（ヨハネ第一 3:1）。この言葉が人間にどれほどの価値をもたらすのでしょうか。罪を犯すことによって、人の子らはサタンの子となり、キリストの贖いの犠牲への信仰を通して、アダムの子供たちは神の子になることができます。キリストは人間の本性を引き受けることによって、人間性を高めます。墮落した人間は、キリストとのつながりを通して、真に「神の子」の名にふさわしい者となることができる場所に置かれています。

瞑想するには:

「しかし、イエスを受け入れた者と同じだけ、イエスの名を信じた者には、神の子となる力をお与えになった。」ヨハネ 1:12。

土曜日

このような愛は比類のないものです。天王の子らよ！大切な約束！最も深い瞑想のためのテーマ！神を愛さなかった世界に対する神の比類のない愛！この考えは魂を抑制する力を持ち、心を神の意志に従わせます。十字架の光の中で神の性質を研究すればするほど、正義と公平性と結びついた慈悲、優しさ、許しがより多く見えるようになり、無限の愛と思いやりに満ちた無数の証拠がより明確に識別できるようになります。母親に対する母親の不安な同情を上回る優しさ、反抗的な子供。

1) 私たちが間違いを犯すと、私たちに対する神の愛は変わりますか？私たちに対する神の愛は、私たちが神に対してどのように振る舞うかによって決まるのでしょうか？マラ 3:6。叔母。 1:17。

A.: 「主であるわたしは変わらないからです。」 「すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来ており、光の父から降りてくるものであり、彼には変化もなければ、変化の影もありません。」

「それぞれの人間の絆は消滅するかもしれない、
友人は友人に対して不貞を働くかもしれない、
母親は愛情を注ぐのをやめることができ、
天と地は取り除くことができます。

でも変化なし

あなたはエホバの愛に近づくことができます」

レッスン 2 - 罪人のキリストの必要性

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 2 章 - エレン G. ホワイト。

黄金の聖句: 「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝である。わたしにつながっている者、わたしもその人につながっている者は多くの実を結ぶ。わたしなしではあなたは何もできないからである。」ヨハネ 15:5。

日曜日

1) 創造されたとき、人間はどのようなものでしたか?創世記 1:31

A.: 「そして神は自分が造ったものすべてをご覧になりました、そして見よ、それはとても良かったです。」

2) 特に人間を神に背き、罪の恥辱に陥らせるために働いたのは誰ですか? IIコリント 11:3;黙示録 12:9。

A.: 「蛇がイブを欺いた」。「そして、悪魔やサタンと呼ばれた古代の蛇である偉大な竜が追い出されました。」

人間はもともと高貴な能力とバランスの取れた知性を与えられていました。彼は本質的に完璧で、神と調和していました。彼の考えは純粹で、彼の願望は神聖でした。しかし、不従順によって彼らの能力は歪曲され、利己主義が愛に取って代わりました。彼の本性は罪によって非常に弱まっており、彼自身の力では悪の力に抵抗することは不可能でした。彼はサタンの捕虜となり、神が特別に介入しなければ永遠にそのままの状態であったでしょう。誘惑者の目的は、人類創造における神の計画を挫折させ、地球を呪いと荒廃で満たすことでした。そして彼は、これらすべての悪は人間を創造した神の働きの結果であると指摘するでしょう。

月曜日

1) 罪深い人間は神との関係において自分をどのように位置づけるのでしょうか?ロム。 8:7

答え：「肉の心は神に対する敵意であり、神の律法の対象ではないからです。」

2) 神から隠れるのは罪深い人間ですか、それとも人間から隠れる神ですか？

将軍3:9、10。

A.: 「そして神である主はアダムを呼んで言われた、『あなたはどこにいるのか』と彼は言われた、『聞いてください』

あなたの声が庭に響き渡り、私は裸だったので怖くて隠れました。」

人は罪のない状態にありながら、「知恵と知識の宝がすべて隠されている」神との喜びに満ちた交わりを維持しました（コロサイ 2:3）。しかし、罪を犯した後、彼はもはや聖さの中に喜びを見いだせなくなり、神の御前から隠れようとしてしました。これはまだ回心していない心の状態です。罪人は神と調和しておらず、神との交わりに喜びを感じません。彼は聖なる者たちとの付き合いを避けるだろう。たとえ彼が天国に入ることが許されたとしても、それは彼に喜びをもたらすことはないでしょう。そこに君臨する無私の愛の精神、つまり無限の愛の心に対応するそれぞれの心は、その魂の中に共鳴する和音を見つけることはできないでしょう。彼らの考え、興味、動機は、罪のない住民に影響を与えるものから疎外されるでしょう。彼は天国のメロディーの中では不協和音となるだろう。彼にとって天国は拷問の場となるだろう。彼は自分の光である神から隠れることを強く望んでいるでしょう。そしてあなたの喜びの中心。罪人を天国から排除するのは、神の側の恣意的な命令ではありません。罪人は、天国にふさわしくないために排除されているのです。神の栄光は彼らにとって焼き尽くす火となるでしょう。彼らは、彼らを贖うために死んだ神の顔から隠されるために、喜んで滅びを受け入れるでしょう。

火曜日

1) 人間を罪から救うのは誰ですか？マタ 1:21。使徒 4:12。

答え：「そして彼女は息子を産むでしょう、そしてあなたはその名前をイエスと呼ぶでしょう。なぜなら彼は彼の民を罪から救うからです。」 「そして、他の誰にも救いはありません。なぜなら、私たちが救われるために人間の間にと与えられた名前は、天の下に他にないからです。」

私たちが陥っている罪の穴から自分の力で抜け出すことは不可能です。私たちの心は邪悪であり、それを変えることはできません。「誰が与えるの

汚れはきれいなものを奪うことができますか？誰でもない。"「肉の心は神に対して敵対しています。なぜなら、肉の心は神の律法に従わないし、従うこともできないからです。」（ヨブ記 14:4、ローマ 8:7）。

2) 罪人はキリストの助けなしに善を行うことができますか？ジャー。 13:23。

A.: 「エチオピア人は肌を変えることができますか？ヒョウは斑点を変えることができますか？ その場合、あなたも悪を行うように教えられて善を行うことができます。」

教育、文化、意志の行使、人間の努力はすべて独自の領域を持っていますが、ここではそれらは無効です。外見的な行動に変化をもたらすことはできますが、心を変えることはできません。生命の源を浄化することはできません。人間が罪から聖に変えられる前に、内側から働く力、上からの新しい命がなければなりません。この力はキリストです。神の恵みだけが、死んだ魂の能力を復活させ、それを神に、聖性へと引き寄せることができます。救い主は、「人は新しく生まれなければ、新しい心、新しい願望、目的、動機を受け入れて新しい人生に導かない限り、「神の国を見ることはできない」と言われました。（ヨハネ 3:3）。人間の中に生まれながらに存在する善を開発することだけが必要であるという考えは、致命的な間違いです。「生来の人は神の御霊の事柄を受け入れません。それは彼にとって愚かなことだからです。そして彼らは霊的に識別されているので、彼はそれらを理解することができません。」 「わたしがあなたに言うのを驚かないでください。あなたは新しく生まれ変わらなければなりません。」（1コリント 2:14、ヨハネ 3:7）。キリストについてはこう書かれています。そして命は人間の光であった、それが唯一の「天の下で人間の間に与えられた名前であり、それによってわたしたちは救われる」（ヨハネ1:4、使徒4:12）。

水曜日

1) 私たちを罪の奴隷状態から解放できる唯一の人は誰ですか？リュック。 4:14、16-19。

A.: 「イエスはガリラヤに戻りました…そして、生まれ育ったナザレに到着すると、習慣に従って安息日に会堂に入り、立ち上がって本を読みました。そして彼には、預言者イザヤの書、そしてその本を開いたとき、彼はそれが書かれている場所を見つけました。

主の御霊が私の上にある、なぜなら主は貧しい人々に福音を伝えるために私に油を注がれ、心の傷ついた人を癒し、捕虜に自由を宣言し、目の見えない人に視力を与え、抑圧されている人々を自由にするために私を遣わされたからである。。」

神の優しい愛を認識し、神の慈悲と父親のような優しさを理解するだけでは十分ではありません。神の律法の知恵と正義を識別し、それが永遠の愛の原理に基づいていることを理解するだけでは十分ではありません。使徒パウロはこのすべてを見て、「私は律法に同意します、それは良いことです」と叫びました。「律法は神聖なものです。そして戒めは聖であり、正しく、善いものである。」しかし彼は、自分の苦悶の魂の苦しみと絶望を加えて、「それでも私は肉欲的で、罪の奴隷として売られているのです」(ローマ7:16、12、14)と付け加えました。彼は純粋さ、自分自身では達成することができなかった義を望み、こう叫びました。誰が私をこの死の体から救い出してくれるのでしょうか？」

(ロマ 7:24)。これが、あらゆる土地、あらゆる時代において、重荷を負った心から生じた叫びです。誰にとっても、答えはただ一つ、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ！」です。(ヨハネ 1:29)。

2) 神を通して私たちが神と和解させたのは誰ですか? IIコリント 5:18。

A: 「これらすべては神から来ており、神はイエス・キリストを通して私たちをご自分と和解させていただきました。」

神の御霊がこの真実を説明し、罪悪感の重荷から解放されることを待ち望んでいる魂にそれを明確にしようとしてきた人物は数多くあります。エサウを欺いた罪を犯した後、ヤコブは父親の家から逃げたとき、罪の意識でひれ伏しました。孤独でありのままに放り出され、人生で大切にしてきたすべてのものから切り離されたとき、何よりも彼の魂を抑圧しているのは、自分の罪が彼を神の臨在から引き離し、神から見捨てられたのではないかという恐怖であった。天国、悲しみの中で彼は裸地に横たわり、周りには寂しい山々があり、その上には星空が広がっていました。彼が眠りにつくとすぐに、奇妙な光が彼の視界を覆いました。そして、彼が横たわっている平面から始まり、暗くて広大な階段が天国の門そのものの上っていくように見え、その上を神の天使たちが上り下りしていました。一方、上から来る栄光からは、慰めと希望のメッセージとして神の声が聞こえました。このことはヤコブに知らされ、それは彼の魂、つまり救い主の必要と切望を満たしました。彼は、罪人である自分が神との交わりを回復する方法が明らかになったのを喜びと感謝とともに見ました。彼の夢の中の神秘的なはしごは、神と人との間の唯一のコミュニケーション手段であるイエスを表していました。

木曜日

「それでヤコブはベエル・シェバを出てハランへ行き、日が沈んだので夜を過ごす場所に着き、その場所の石を一つ取り、頭の上に置いて横たわった」 「そして、見よ、はしがが地の上に置かれ、その頂上は天に達していた。見よ、神の天使たちがその上を上り下りしていた。」将軍28:10～

12.

これは、キリストがナタナエルとの会話の中で、「天が開かれ、神の天使たちが人の子の上に上り下りするのが見えるだろう」(ヨハネ1:51)と言われたときに言及されたのと同じ人物です。背教では、人は神から遠ざかります。地球は空から分離されました。両者の間に隔たりがあるので、交わりはあり得ません。しかし、キリストを通して、地球は再び天につながります。キリストはご自身の功績によって、罪が生み出した深淵に橋を架け、奉仕する天使たちが人間との交わりを維持できるようにされました。キリストは、弱さと絶望の中にある墮落人間を無限の力の源と結びつけます。

しかし、墮落した種族に対する唯一の希望と助けの源を脇に置いてしまえば、人類の進歩の夢は無駄になり、人類の向上のためのあらゆる努力も無駄になる。「すべての良い賜物とすべての完全な賜物」(ヤコブ 1:17)は神から来ます。彼を越えて卓越した人格はありません。

1) 罪を克服するために神の力が発揮されるのは誰ですか? Iコリント 1:24。

答えは、「ユダヤ人にもギリシャ人にも、召された人々に、私たちは神の力であるキリストを宣べ伝えます。」

そして神に至る唯一の道はキリストです。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、だれも父のもとに来ることはない。」(ヨハネ 14:6)と彼は言います。

金曜日

「私は永遠の愛であなたを愛し、また、優しい優しさであなたを引き寄せました」ジェル。 31:3。

神の心は死よりも強い愛をもって地上の子供たちを切望しています。御子を与えることによって、神は天のすべてを一つの賜物として私たちに注いでくださいました。救い主の生、死、とりなし、天使たちの働き、聖霊の懇願、すべてを貫く父の働き、天上の存在たちの絶え間ない関心、すべては人間の救いのために集められている。。

1) キリストにおいて私たちが示した神の愛に私たちはどのように応答しますか? IIコリント 5:14,15,17。

A: 「キリストの愛は私たちを束縛し、次のように判断します。もし一人がすべての人のために死んだなら、それゆえにすべての人が死ぬのです。そして彼はすべての人のために死んだので、生きている人はもはや自分自身のためではなく、神のために生きるのです。」彼らは死んで、再びよみがえったのです…ですから、だれでもキリストのうちにいるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去り、見よ、すべてが新しくなりました。」

ああ、私たちのために払われた驚くべき犠牲について考えてみましょう。

失われた人々を取り戻し、御父の家に連れ戻すために天が費やしている労力とエネルギーに感謝するという経験をさせてもらいましょう。正しい行いによる優れた報酬、天国の喜び、天使たちの社会、父と御子の交わりと愛、永遠の時代を通じて私たちのすべての能力の向上と拡張、これらは行動への強力な動機と励ましではないでしょうか。私たちは創造者であり救い主である神に愛に満ちた心から奉仕を捧げるべきでしょうか？

そしてその一方で、罪、避けられない報復、私たちの人格の劣化、そして最終的な滅びに対して宣告される神の裁きは、サタンへの奉仕に対して私たちに警告するために神の言葉の中で示されています。

土曜日

「しかし、律法が来たのは、罪が多くなるようにするためでした。しかし、罪があふれるところには、恵みがますますあふれるようになりました。それは、罪が死を支配するように、恵みも義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命に至るためです。」 5時20分、21時。

神の憐れみについて考えてみませんか。神はこれ以上何ができたでしょうか？

驚くべき愛で私たちが愛してくださった神との正しい関係に身を置きましょう。私たちも、神の似姿に変えられ、仕えている天使たちとの交わり、御父と御子との調和と交わりを回復するために、私たちに与えられた手段を活用しましょう。

1) 神は私たちの救いのために備えてくださった手段を使って私たちに何をしてほしいと願っておられますか？

黙示録 22:17。

A.: 「望む人は誰でも無料で命の水を飲むことができます。」

2) 聖書によると、神は私たちが救いのためにどのように神に協力することを期待していますか？

フィル。 2:12,13。

答え：「恐れとおののきながら自分の救いを達成しなさい。なぜなら、あなたの内に働いて、ご自分の御心になうように意志させ、実行させて下さるのは神だからである。」

レッスン 3 - 悔い改め

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 3 章 - エレン G. ホワイト。

黄金聖句: 「その時から、イエスは宣べ伝え始め、『悔い改めなさい、天国は近づいた』と言い始めた。」マタイ 4:17。

日曜日

どうして人は神の前に義となれるのでしょうか? どうすれば罪人が義とされるのでしょうか? 私たちが神との調和、聖性をもたらすことができるのは、キリストを通してのみです。しかし、どうやって私たちはキリストのもとに来るのでしょうか? 多くの人が、ペンテコステの日に、罪を確信して「私たちは何をすべきでしょうか?」と叫んだ群衆と同じ質問をしています。ペテロの最初の言葉は「悔い改めなさい」でした。(使徒行伝 2:38)。直後の別の時、彼はこう言いました。「悔い改めなさい…そしてあなたの罪が帳消しになるように回心しなさい。」(使徒 3:19)。

1) 誰が主の憐れみを得るでしょうか? 教授 28:13。

答え: 「自分の罪を隠蔽する者は決して繁栄しない、しかし罪を告白して立ち去る者は慈悲が得られるだろう。」

悔い改めには、罪に対する悲しみと罪から離れることが含まれます。私たちは罪の深さを認識しない限り、罪を放棄しません。私たちが心の中で神から背を向けられない限り、私たちの人生に本当の変化はありません。

悔い改めの本質を理解していない人がたくさんいます。多くの人が罪を犯したことを悲しみ、自分たちの邪悪な行為が自分たちに苦しみをもたらすのではないかと恐れ、外部の改革さえ行います。しかし、聖書の考えでは、これは悔い改めではありません。彼らは罪ではなく苦しみを嘆きます。これは、長子の権利が永遠に失われたのを見たときのエサウの悲しみでした。バラムは、抜いた剣を持って彼の前に立ちはだかる天使に怯え、命を失う可能性があるため自分の罪を認めました。しかし、そこには真の罪の悔い改めも、目的の転換も、悪への嫌悪もありませんでした。

イスカリオテのユダは主を裏切った後、「私は罪のない血を裏切って罪を犯しました」と叫びました。(マタイ 27:4)。

この自白は、ひどい非難の感覚と恐ろしい裁きのビジョンによって、彼の罪深い魂から強制的に出されました。彼に降りかかった結果は彼を恐怖で満たしたが、彼は汚れのない神の御子を裏切り、イスラエルの唯一の聖人を否定したので、胸が張り裂けるような深い後悔はなかった。ファラオは神の裁きに苦しんだとき、将来の罰を逃れるために自分の罪を認めましたが、疫病が止むとすぐに天への反抗に戻りました。これらの人々は皆、罪の結果を嘆いていましたが、罪そのものによっては悲しんでいませんでした。

2) 人の心の中での神の御霊の働きは何ですか? ジョー。 16:8。

A.: 「彼が来られるとき、彼は世界に罪を確信させるでしょう。」

しかし、心が神の御霊の影響に屈するとき、良心は目覚め、罪人は神の聖なる律法の奥深さと神聖さ、天と地における神の統治の基礎をある程度認識するようになるでしょう。「世に入る光はすべての人に光を与えます」(ヨハネ1:9)魂の秘密の部屋を照らし、暗闇の隠されたものが明らかになります。信念が精神と心を支配します。罪人はエホバの正義の感覚を持っており、自分の罪と汚れの状態で心を探る者の前に現れることに恐怖を感じます。彼は神の愛、神聖さの美しさ、純粋さの喜びを見ます。彼は清められ、天との交わりが回復されることを望んでいます。

月曜日

1) 真の悔い改めの成果は何ですか? IIコリント 7:10,11。

A.: 「神のみこころに添った悲しみは、誰も後悔しない救いに至る悔い改めに作用します。しかし、世の悲しみは死に作用します。なぜなら、神が悲しませられたとされるあなた方に、このことがどれほどの気遣いをもたらしたことでしょう! 何という謝罪でしょう! なんとという憤り、なんとという恐怖、なんとという憧れ、なんとという熱意、なんとという復讐だ! 君はすべてにおいて、この仕事において純粋であることを示した。」

墮落後のダビデの祈りは、罪に対する真の悲しみの性質を示しています。

彼の悔い改めは誠実かつ深かった。彼の罪悪感を和らげようとする努力はなかった。裁きの脅威から逃れたいという願望が彼の祈りを引き起こしたのです。ダビデは自分の罪の重大さを悟りました。彼は自分の魂が汚れているのを見た。あなたを嫌っていた

罪。彼は罪の赦しだけでなく、心の清さを求めて祈りました。

彼は神聖さの喜びを切望していました - 調和と交わりが回復されること

神。これは彼の魂の言葉でした。(詩 32:1,2) - 「不法が赦され、罪が覆われた者は幸いです。主が咎を負わず、その霊に偽りのない人は幸いである。」

「神よ、あなたの慈しみに従って私を憐れんでください。そしてあなたの多くの慈悲に従って、私の罪を消し去ってください...

なぜなら、私は自分の罪を知っており、私の罪は常に私の前にあるからです...

ヒソップで私を清めてください、そうすれば私はきれいになります。私を洗ってください、そうすれば私は雪より白くなります...

神よ、私の中に純粋な心を創造し、私の中に揺るぎない精神を新たにしてください。

私をあなたの御前から遠ざけたり、あなたの聖霊を私から奪ったりしないでください。

あなたの救いの喜びを私に取り戻し、喜んで私を支えてください...

おお神よ、私の救いの神よ、私を血の犯罪から救い出してください。そうすれば私の舌はあなたの義を称賛します。」 (詩 51:1-14)。

このような悔い改めは、私たち自身の力では達成できません。それは天に昇り、人間に贈り物を与えられたキリストからのみ得られるものです。

2) 誰が人間に悔い改めを与えるのでしょうか？悔い改めは自分自身から来るのでしょうか、それとも私たちが受け取るのでしょうか？使徒 5:31。

A: 「神は、イスラエルに悔い改めと罪の許しを与えるために、右手で彼[イエス]を王子と救い主に高めました。」

火曜日

「私のもとに来る者を、私は決して追い出しません」ジョー。 6時37分。

まさにここが、多くの人が間違いを犯し、したがってキリストが与えようとしている助けを受けられない点です。彼らは、まず悔い改めなければキリストに来ることはできず、悔い改めによって罪の赦しが得られると考えています。真の悔い改めが罪の赦しに先立つのは事実です。なぜなら、救い主の必要性を感じるのは、打ち砕かれて悔い改めた心だけからです。しかし、罪人はイエスのもとに来る前に、悔い改めるまで待たなければならないのでしょうか？悔い改めが罪人と救い主との間の障害となるのでしょうか？

聖書は、罪人がキリストの言葉を聞く前に悔い改めなければならないとは教えていません。「すべて苦勞している人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます」(マタイ11:28)。それはキリストから出る美德であり、真の悔い改めにつながります。ペテロはイスラエル人に対する声明の中でこのテーマを明確にしました。

「しかし、神はイスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えるために、その右手で彼を王子また救い主として高められた」（使徒行伝5:31）と彼は言いました。キリストがなければ赦されないのと同じように、私たちは良心を目覚めさせるキリストの御霊がなければ悔い改めることができません。

キリストはあらゆる良い衝動の源です。罪に対する敵意を心に植え付けることができるのは神だけです。真実と純粋さを求めるあらゆる願望、私たち自身の罪深さに対するあらゆる確信は、神の御霊が私たちの心の中で働いている証拠です。

イエスはこう言われました、「そして、わたしが地から引き上げられるとき、すべての人々をわたしのもとに引き寄せるであろう。」（ジョー。12:32）。キリストは世の罪のために死ぬことによって、罪人に救い主として明らかにされなければなりません。そしてカルバリの十字架上の神の小羊を観想するとすぐに、救いの神秘が私たちの心に広がり始め、神の慈しみが私たちを悔い改めに導きます。キリストは罪人のために死ぬことによって、理解できない愛を明らかにされました。そして罪人がこの愛を見るとすぐに、それは心を和らげ、心に感動を与え、魂に悔い改めを呼び起こします。

1) キリストを通して以外に誰でも悔い改めることができますか？ジョー。 15:5。

A.: 「私[イエス]なしでは何もできません。」

確かに、人は自分がキリストに引き寄せられていることに気づかないうちに、自分の罪深い生き方を恥じ、習慣の一部を変えてしまうことがあります。しかし、正しいことをしたいという心からの願いから、彼らが自分自身を改革しようと努力するときはいつでも、彼らを引き寄せるのはキリストの力です。彼らが無意識のうちに受けている影響が魂に作用し、良心が目覚め、外側の生活が修正されます。そして、キリストが彼らに、ご自分の十字架を見つめ、ご自身の罪が刺し貫かれた方を見るよう引き寄せられるとき、その戒めが良心の中で起こります。彼らの人生の邪悪さ、魂の奥底に根付いた罪が彼らに明らかになります。彼らはキリストの義についていくらか理解し始め、「罪とは何なのか、犠牲者の救いのためにこれほどの犠牲を必要とするのか？」と叫びます。このすべての愛、すべての苦しみ、すべての屈辱は、私たちが滅びずに永遠の命を得るために要求されたのだろうか？」

罪人はこの愛に抵抗するかもしれないし、キリストに引き寄せられることを拒否するかもしれない。しかし抵抗しなければ、彼はイエスに引き寄せられるでしょう。救いの計画についての知識があなたを導きます

十字架のふもとで、愛する神の御子に苦しみを与えた自分たちの罪を悔い改めました。

水曜日

「神の慈しみこそがあなたを悔い改めに導くのです」ロマ. 2:4 (改訂および更新されたアメリカ訳)。

自然界のものに働きかけているのと同じ神聖な心が人間の心に語りかけ、人間が所有していないものに対する言いようのない憧れを生み出しています。この世のものではあなたの欲望を満たすことはできません。神の御霊は、キリストの恵み、聖さの喜びという、平和と休息を唯一与えることができるものを探そう彼らに懇願しています。私たちの救い主は、目に見える影響と目に見えない影響によって、人々の心を罪の満たされない快楽から救い主にあつて彼らのものとなるかもしれない無限の祝福へと導くために絶えず働いておられます。この世の壊れた貯水池から水を飲もうと無駄に求めているこれらすべての魂たちに、神のメッセージはこう告げられます。渇いている人は来なさい、そうすれば望む人は誰でも自由に命の水を受け取ることができます。」 (黙示録 22:17)。

この世が与えてくれる以上のものを心の中で願っているあなたは、この願望があなたの魂への神の声であることを認識します。あなたに悔い改めを与えてくださるよう、そして無限の愛と完全な純粋さにおいてキリストをあなたに明らかにしてくださるよう神にお願いしてください。救い主の生涯には、神の律法の原則、つまり神と人への愛が反映されています。

完璧に例示されていました。慈悲、自己犠牲的な愛が彼の魂の命でした。そして、私たちが自分の心の罪深さを知るのは、主を見るとき、救い主の光が私たちに降り注ぐときです。

1) 神によって義とされた人々は自分自身をどのように考えていますか? リュック。 18:10-14。

A.: 「二人の男が祈るために神殿に登りました。一人はパリサイ人で、もう一人は取税人でした。パリサイ人は立ったまま、こう祈りました。「神よ、あなたに感謝します。私はそんなものではないからです」

「他の人たち、強奪者、不正な姦淫者、そしてこの取税人のようでさえありません。私は週に二度断食し、自分の所有物すべての十分の一を捧げています。しかし取税人は遠くに立って、目を天に上げることさえせず、取税人を殴ろうとしました」 「神よ、罪人の私を憐れんでください。あなたに言いますが、この人は義とされて家に帰りました。あの人ではありません。自分を高める者は低くされ、自分を低くする者は高められるからです。」」

私たちは、ニコデモがしたように、自分の人生は正しかったし、道徳的性格も正しかったと思い、一般の罪人のように神の前に心をへりくだる必要はないと考えるかもしれません。しかし、キリストの光が私たちの魂の中に輝くとき、私たちがどれほど不純であるかがわかります。私たちは、人生のあらゆる行為を汚してきた動機の利己性、神に対する敵意を識別するでしょう。そのとき私たちは、私たち自身の義が確かに不潔なぼろ布のようなものであること、そしてキリストの血だけが私たちを罪の汚れから清め、私たちの心をキリストご自身の姿に新しくすることができることを認識するでしょう。

神の栄光の光線、キリストの純粋さの輝きが魂を貫き、あらゆる汚れや汚れが痛いほどはっきりと識別され、人間の性格の奇形や欠陥が暴露されます。それは、不浄な欲望、心の不貞、唇の汚れを明らかにします。神の律法を無効にする不誠実な行為が罪人の目にさらされ、彼の霊は神の御霊の探求の影響を受けて触れられ、苦しむことになる。彼はキリストの純粋で汚れのない性格を見るとすぐに自分自身を嫌悪します。

預言者ダニエルは、自分に遣わされた天の使者を取り巻く栄光を見たとき、自分の弱さと不完全さの感覚に圧倒されました。

素晴らしいシーンの影響について彼は次のように述べています。「私の顔は変色し、醜くなり、力がなくなりました」(ダニエル10:8)。このように触れられた魂は、自分の利己主義を憎み、自己愛を嫌悪し、キリストの義を通して、神の律法とキリストの性質と調和する心の純粋さを求めるようになる。

パウロは、「律法にある義については」、自分の外面的な行為に関する限り、「罪はなかった」と述べています(フィリピ 3:6)。しかし、律法の霊的な性質が識別されたとき、彼は自分が罪人であることに気づきました。人間が外面的な生活に適用する律法の文言から判断すると、彼は罪を犯していませんでした。しかし、彼は自分の神聖な戒律の深みを見つめ、神が彼を見るのと同じように自分自身を見たとき、屈辱的にひれ伏し、自分の罪を告白した。彼はこう言います。「かつて、私は法律なしで生きていました。しかし、戒めが来ると、罪が復活し、私は死にました。」(ローマ 7:9)彼が律法の精神的な性質を見たとき、罪の真の凶悪さが現れ、彼の自尊心は消え去りました。

木曜日

1) 神の恵みを受けるのは誰ですか?リュック。 18:13,14。

A.: 「ところが、取税人は遠くに立って、目を天に上げることさえもせず、胸を打ちながらこう言いました。『おお神よ、罪人の私を憐れんでください！ 言いますが、彼は義として下されたのです』あの家ではなく、彼の家になさい。自分を高める者は低くされ、自分を低くする者は高められるからです。」

神はすべての罪が同じ大きさであるとは考えていません。人間の評価にあるように、神の評価にも程度の罪悪感がある。しかし、人間の目にはその間違っただけの行為がどんなに些細なものに見えても、神の目にはどんな罪も小さいものではありません。人間の判断は部分的で不完全です。しかし神はすべてのものをありのままに尊重されます。大酒飲みは軽蔑され、その罪により天国から締め出されると言われます。一方、プライド、利己主義、貪欲はほとんどの場合、非難されることなく過ぎ去ります。しかし、これらは特に神にとって不快な罪です。なぜなら、それらは神のご性質の慈悲に反し、墮落していない宇宙の雰囲気そのものである自己否定の愛に反するからです。これらの重大な罪のいずれかに陥った人は、自分の恥と貧しさ、そしてキリストの恵みが必要であるという感覚を得るかもしれません。しかし、高慢な人はその必要を感じず、キリストと、キリストが与えるために来られた無限の祝福に対して心を閉ざします。

「神よ、罪人の私を憐れんでください！」と祈った哀れな取税人。（ルカ 18:13）彼は自分自身を非常に邪悪な男だと考えていましたが、他の人たちは彼を同じ目で見えていました。しかし彼は自分の必要性を感じ、罪悪感と恥辱という重荷を背負って神の前に出て、神の憐れみを懇願した。彼の心は、神の御霊が慈しみ深い働きをしてくださり、罪の力から救い出してくださることに開かれていました。パリサイ人の高慢で独善的な祈りは、彼の心が聖霊の影響に対して閉ざされていることを示していました。彼は神から離れていたため、神の聖性の完璧さとは対照的に、自分自身が汚れているという感覚を持っていませんでした。彼は必要性を感じず、何も受け取りませんでした。

自分の罪深さを知ったとしても、良くなることを期待してはなりません。自分はキリストのもとに来るほど良くないと思っている人がたくさんいます。自分自身の努力でより良くなりたいと思っていますか？

「エチオピア人は肌を、ヒョウは斑点を変えることができますでしょうか？ そうすれば、悪を行うことに慣れていても、善を行うことができるようになります。」

13:23)。神だけが私たちに助けを与えてくれるのです。私たちは、より強力な説得、より良い機会、より神聖な気性を待ってはいけません。私たち自身では何もできません。私たちはありのままの姿でキリストのもとに来なければなりません。

2) 神の警告を無視して罪を犯し続ける人は神の恵みを受け続けるのでしょうか?へブ。 10:26,27。

答え: 「というのは、私たちが故意に罪を犯した場合、真理の知識を得た後は、もはや罪のための犠牲は残されません。ただ、敵を焼き尽くす裁きと燃える火というある種の恐ろしい期待が残るからです。」

しかし、神はその偉大な愛と憐れみによって、神の恵みを拒む者さえ救ってくださるなどと、自分を欺いてはなりません。罪のあまりの罪深さは、十字架に照らしてのみ評価することができます。神は罪人を追放するにはあまりにも善良な方であると人々が主張するときは、カルバリに目を向けるようにしてください。それは、人間が救われる他の手段がなかったからであり、この犠牲なしには人類が罪の汚れた力から逃れることも、聖なる者たちとの交わりを回復することも不可能だったからである。このために、キリストは不従順な者の罪を自ら引き受け、罪人の代わりに苦しみました。神の御子の愛、苦しみ、死はすべて、罪の恐るべき巨大さを証明しており、魂をキリストに服従させる以外に、その力から逃れることはできず、より良い人生の希望もないことを宣言しています。

3) イエスがたとえ話で教えられたことによれば、神の御心を知りながら頑固に従うことを拒否した人々はどうなりますか。リュック。 12時47分。

答えは「主の御心を知りながら自らの備えをせず、主の御心に従わなかった僕は多くの打ち打ちを受けるであろう。」

悔い改めない人は時々、自称クリスチャンについて次のように言い訳します。彼らは私と同じように、自己犠牲的であったり、抑制的であったり、慎重な行動をしたりすることはありません。彼らも私と同じように快楽と自己満足が大好きなのです。」

こうして彼らは他人の欠点を自分の義務怠慢の言い訳にします。しかし、他人の罪や欠点は誰にも許されません。なぜなら、主は私たちに欠陥のある人間モデルを与えてくださったわけではないからです。汚れのない神の御子が与えられた

私たちの模範として、クリスチャンと称する人々の間違ったやり方について不平を言う人たちは、より良い生き方とより崇高な模範を示すべきです。もし彼らがクリスチャンがどうあるべきかについてそれほど高い概念を持っているなら、彼ら自身の罪ははるかに大きいのではないのでしょうか?彼らは何が正しいかを知っているのに、それを実行しようとしません。

金曜日

「今日、もし神の声を聞いたら、心をかたくなにはいけません」ヘブライ人への手紙 4:7。

先延ばしには注意してください。罪を捨て、イエスを通して心の純粋さを求める作業を先延ばしにしないでください。ここで、何千もの人が間違っただけで永遠の損失を被ったのです。私は人生の短さと不確実性についてここでこだわるつもりはありません。しかしそこには恐ろしい危険が存在します - この危険は十分に理解されていません -

神の聖霊の嘆願の声に応えるのが遅れ、罪の人生を選択したこと。なぜなら、これがそのような遅れを表しているからです。罪は小さいものとして評価されるかもしれませんが、無限の損失の危険がある場合にのみ大切にされます。私たちが克服しないものは、私たちが克服し、私たちの破滅をもたらすでしょう。

アダムとイブは、禁断の木の実を食べるといふような些細なことが、神が宣言されたような悲惨な結果を招くはずはないと自分に言い聞かせました。しかし、この小さな点は神の聖なる不変の律法への違反であり、それが人間を神から引き離し、私たちの世界に言いようのない死と呪いの水門を開いたのです。人間の不従順の結果として、地球からは何世紀にもわたって泣き叫ぶ声が絶え間なく発せられ、被造物全体は苦しみがらうめきながら共にさまようようになりました。天ですら、あなたの反逆の影響を感じています

神。カルバリーは、神の法の違反を償うために必要とされた恐ろしい犠牲の記念碑として立っています。罪を些細なことだと思わないようにしましょう。

あらゆる罪の行為、キリストの恵みのあらゆる無視や拒絶は、自分自身に反動を起こし、心をかたくなにし、意志を墮落させ、理解を鈍らせ、あなたを屈服させる傾向をなくすだけでなく、優しさに屈服させることもできなくなります。神の聖霊に懇願してください。

多くの人は、望めばいつでも悪の道を変えることができると考えて、良心の乱れを落ち着かせています。慈悲の招きを軽視し、なおかつ感動し続ける人。彼らは、恵みの御霊に不平を言い、自分たちの影響力をサタンの側に置いた後、ひどい困難の時に自分たちの方向性を変えることができると考えています。しかし、これはそう簡単に達成できるものではありません。経験、つまり人生の教育によって性格が完全に形作られてしまったので、イエスの似姿を受け入れたいと願う人はほとんどいませんでした。

たとえ 1 つの悪い性格特性や 1 つの罪深い願望でも、それを永続的に大切にすると、最終的には福音の力をすべて無力化します。あらゆる罪深い放縱は、神に対する魂の嫌悪感を強めます。頑固な不貞行為、あるいは神の真理に対する無関心な態度を示す人は、自分が蒔いた種を刈り取っているだけです。聖書全体の中で、悪をもてあそぶことについて、罪人は「自分の罪の縄で縛られる」(箴言5:22)という賢者の言葉ほど恐ろしい警告はありません。

キリストは私たちを罪から救い出す用意ができていますが、その意志を強制することはありません。そして、執拗な違反によって意志そのものが悪に傾倒し、私たちが自由になることを望まない場合、私たちが神の恵みを受け入れない場合、神は他に何ができるでしょうか？

私たちは主の愛を断固として拒否したために自らを滅ぼしてしまいました。「見よ、今が最もふさわしい時である、見よ、今が救いの日だ」「今日、もし彼の声を知ったら、心をかたくなにはいけない」(IIコリント6:2、ヘブライ3:7,8)。

瞑想するには:

今日、キリストがあなたを罪から解放してくださることを望みますか? _____

土曜日

1) 心を清める働きにおいて、私たちは神とどのように協力すべきでしょうか。

黙示録 3:19。

A: 「熱心になって悔い改めなさい。」

「人は外面を見るが、主は心を見られる。」(サムエル16:7)人間の心は、喜びと涙という相反する感情、反抗的で誤った心、その中には非常に多くの不純物と不純物が宿っています。誤謬。神はあなたの動機、あなた自身の意図、目的を知っています。汚れた魂をそのままにして主のもとに行きなさい。

詩篇作者のように、すべてを見通す目に向かって自分の部屋を開放し、こう叫んでください。私の中に邪悪な道がないか見て、私を永遠の道に導いてください。」

(詩 139:23,24)。

多くの人々は、心が汚れているときに、優しさの一種である知的な宗教を受け入れます。これをあなたの祈りにしましょう。「神よ、私の中に純粋で純粋な心を創造してください。」

私の中に揺るぎない精神を新たにします」(詩 51:10)。自分の魂と正直に向き合しましょう。自分の現世の命が危険にさらされている場合と同じくらい真剣に、粘り強く行動してください。これは神とあなた自身の魂の間で解決されるべき問題であり、永遠に解決されます。期待されていたものは、それ以上のものは破滅であることが判明します。

たくさん祈って神の言葉を研究してください。この御言葉は、神の律法とキリストの命の中で、聖性の偉大な原則をあなたの前に提示します。この原則なしでは、「誰も主を見ることができません」(ヘブライ 12:14)。それは罪を確信させます。それは救いの道を完全に明らかにします。あなたの魂に語りかける神の声のように、それに注意を払ってください。

罪の大きさを知るや否や、ありのままの自分を知るや否や、絶望に負けないでください。キリストは罪人を救うために来られました。私たちは神と和解する必要はありませんが、「ああ、素晴らしい愛よ！」神はキリストのうちに「世をご自分と和解させ」ておられます(IIコリント5:19)。神はその優しい愛によって、罪深い子供たちの心を魅了しておられます。地上の父親は、神が救おうとしている人々に対してこれほど忍耐強い人はいないでしょう。

違反者に対してこれほど優しく訴えられる人はいないでしょう。人間の唇が、彼ほど放浪者に対して優しい嘆願を表現したことはありません。彼の約束や警告はすべて、言葉では言い表せない愛のため息にすぎません。

2) イエスは、大小を問わず、あらゆる罪の赦しをすべての罪人から得ることができますか?使徒 2:38,39,21。

答え：「悔い改めなさい。そして、あなた方一人一人が罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。なぜなら、その約束はあなた方、あなたの子供たち、そして私たちの主である神が呼びかけておられるすべての人々に関するものだからです。」 「そして、主の御名を呼び求める者は救われるであろう。」

サタンが来て、あなたは罪人であると告げたら、あなたの救い主に目を向け、その功績について話してください。あなたを助けるのは神の光に目を向けることです。自分の罪を認めながら、「キリスト・イエスは罪人を救うためにこの世に来られた」(1テモテ1:15)こと、そしてあなたは彼の比類のない愛によって救われると敵に伝えてください。イエスはシモンに二人の債務者について質問しました。一人は主人に少額の借金をして、もう一人は主人に多額の借金をしていました。しかし彼は二人を赦し、キリストはどちらの債務者が主人をより愛するだろうかとシモンに尋ねました。シモンは「最も多く赦した者です」と答えました(ルカ 7:43)。私たちは罪人でしたが、キリストは私たちが赦されるために死んでくださいました。彼の犠牲の功績は次のとおりです。

私たちに代わって御父に差し出すのに十分です。神が最も赦した人々は神を最も愛し、神の玉座に最も近いところで神の偉大な愛と無限の犠牲を称賛するでしょう。これは、私たちがより完全に理解するときです

神への愛、私たちが罪の深さをもっとよく認識できるように。私たちのために置かれた鎖の長さを知るとき、キリストが私たちのために払ってくださった無限の犠牲について理解するとき、私たちの心は優しさと悔い改めに溶けます。

レッスン 4 - 告白

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 4 章 - エレン G. ホワイト。

黄金の詩: 「私はあなたに自分の罪を告白しましたが、自分の悪を隠蔽しませんでした。私は、自分の罪を主に告白します、と言いました。そしてあなたは私の罪を赦してくださいました。」
詩篇 32:5。

日曜日

「自分の罪を隠す者は決して繁栄しない。しかし、告白してそれを捨てる者は憐れみを得るであろう」(箴言 28:13)。

神の憐れみを得る条件は単純、公平かつ合理的です。主は私たちが罪の赦しを得るために何か苦痛を伴うことを求めておられるわけではありません。私たちは、自分の魂を天の神に勧めたり、罪を償うために、長く疲れる巡礼をしたり、苦しい苦行をしたりする必要はありません。しかし、自分の罪を告白して放棄する者には憐れみが与えられます。

使徒は言います、「あなたがたが癒されるように、互いに罪を告白し、互いに祈りなさい。」(ヤコブ 5:16)自分の罪を神に告白し、神だけがあなたを許してください。また、お互いの過ちを告白してください。あなたが友人や隣人を怒らせてしまった場合、あなたは自分の間違いを認めなければならず、あなたを惜しみなく許すのが彼の義務です。その場合、あなたは神に許しを求めなければなりません。なぜなら、あなたが傷つけた兄弟は主の所有物であり、彼を傷つけることによってあなたはあなたの創造主であり救い主に対して罪を犯したことになるからです。この事件は、唯一の真の調停者である私たちの偉大な大祭司の前に持ち込まれます。彼は「私たちと同じように、すべてのことにおいて誘惑に遭いましたが、罪を犯したことがなく」、「私たちの弱さに同情することができる」(ヘブライ人への手紙 4:15)そしてあらゆる不法行為の汚れから私たちを清めることができます。

1) ダビデが罪を告白したとき、神は何を約束されましたか? IIサム。 12:13。

A: 「そこでダビデはナタンに言った、『私は主に対して罪を犯しました。ナタンはダビデに言った、「主はあなたの罪も刺し通されました。あなたは死ぬことはありません。」

月曜日

1) 人間が神に受け入れられる条件は何ですか? IIク口。 7時14分。

A: 「そして、わたしの名で呼ばれるわたしの民が、へりくだって祈り、わたしの顔を求め、邪悪な道から立ち返るなら、わたしは天からその声を聞くだろう。

私は彼らの罪を許し、彼らの土地を癒します。」

自分の罪を認めて神の前に自分の魂を謙虚にしなかった人は、受け入れられるための最初の条件を満たしていません。もし私たちが、悔い改めるべきものが何もないという悔い改めを経験せず、自分の罪を告白し、自分の咎を憎んで真の意味での魂の屈辱と精神の打ち砕きを持たなければ、私たちは決して真に罪の許しを求めることはありません。そして、私たちが決して求めなければ、神との平和は決して得られません。私たちが過去の罪の赦しを得られない唯一の理由は、私たちが心を謙虚にし、真理の言葉の条件に黙従しようとしなからずです。この点については具体的な指導が行われている。罪の告白は、公に行くか私的に行くかにかかわらず、誠実かつ自由に表現されなければなりません。恥ずかしさによって罪人からそれを奪い取ってはなりません。それは、軽薄で不注意な方法で行われたり、罪の恐ろしい性質を理解していない人々に強制されたりしてはなりません。魂の奥底からの重荷を取り除く告白は、無限の慈悲の神への道を見つけます。詩編作者はこう言います、「主は心の打ち砕かれた者に近づき、霊に抑圧されている者を救われる」（詩34:18）。

火曜日

1) 何を告白すべきですか?レビ記 5:5。

A.: 「したがって、もし彼がこれらのことのいずれかについて有罪であれば、その罪を告白することになるでしょう。」

真実の告白は常に特定の性質を持ち、特定の罪を認識します。

それらは、単独で神のもとに連れてこられなければならないような性質のものであるかもしれません。それらは、それによって被害を受けた人に告白しなければならない誤りかもしれません。あるいは、それらは公的な性格のものである可能性があり、その場合は公に告白しなければなりません。

しかし、すべての告白は明確かつ要点を絞ったものでなければならず、自分が犯しているのと同じ罪を認めている必要があります。

サムエルの時代、イスラエル人は神から背を向けました。彼らは神への信仰を失い、国家を導く神の力と知恵についての識別力を失い、神の大義を擁護し正当化する神の能力への信頼を失ったため、罪の結果に苦しんでいました。彼らは宇宙の偉大な支配者に背を向け、周囲の国々と同じように統治されることを望みました。平和を見つける前に、彼らは次のような具体的な告白をしました。「私たちのすべての罪に、自分たちに王を求めるといふ悪が加わります」（サムエル上12:19）。彼らが確信していた同じ罪を告白しなければならなかった。彼らの忘恩は彼らの魂を圧迫し、神から引き離しました。

「私は自分の罪をあなたに告白しましたが、自分の悪を隠蔽しませんでした。私は言いました、「私は自分の罪を主に告白します。そしてあなたは私の罪という悪を赦してくださいました」

32:5。

水曜日

1) 告白した後はどうすればよいですか?教授28:13。

答：「罪を隠す者は決して繁栄しないが、罪を告白して放置する者は慈悲を得るであろう。」

誠実な悔い改めと改革がなければ、告白は神に受け入れられません。人生には決定的な変化がなければなりません。神に不快なものはすべて脇に置いておかなければなりません。これは罪に対する真の悲しみの結果です。私たちがしなければならぬ仕事は、私たちの前に完全に設定されています。悪事をやめてください。良いことをすることを学びましょう。正義を守り、抑圧者を叱責する。孤児の権利を擁護し、やもめの大義を訴えなさい」（イザヤ書 1:16,17）。「もし悪者が誓約を回復し、盗まれたものを返済し、不法行為を犯さずに生命の法に従って歩むなら、彼は確かに生きるでしょう。死ぬことはありません」（エゼキエル書 33:15）。パウロは悔い改めの業について次のように述べています。何という防御、何という憤り、何という恐怖、何という切望、何という熱意、何という弁護だろう。これらすべてのことによって、あなたはこの仕事において自分が清いことを証明します」（IIコリント 7:11）。

2) 悪の道から立ち直った人はどのような祝福を受けるのでしょうか。エゼ。 18:21,22。

A.: 「しかし、もし悪人が自分が犯したすべての罪から立ち直り、私の定めをすべて守り、義と正義をもって行動するなら、彼は確実に生きています。死なないでしょう。彼が犯したすべての罪は、彼に対して記憶されることはないでしょう。彼は自分が実践した義に従って生きるでしょう。」

木曜日

1) 今日人々が直面している最大の問題は何ですか?アポ。 3:17。

A.: 「あなたはこう言います。私は金持ちで、豊かで、何も欠けていません。そしてあなたは、自分が惨めで、貧しく、盲目で、裸であることを知りません。」

罪が道徳的認識を沈黙させているとき、悪を行う者は自分の性格の欠陥を認識せず、自分が犯した悪の巨大さを理解していません。そして、聖霊の有罪判決の力に屈しない限り、彼は罪から部分的に盲目のままです。彼らの告白は誠実でも決意でもありません。自分の罪を認めるたびに、彼は自分の歩みを言い訳に言い訳を付け加え、もし特定の状況がなかったら、自分は非難されているあれやこれやをしなかっただろうと宣言する。

アダムとイブは禁断の果実を食べた後、恥辱と恐怖に襲われました。第一に、彼の唯一の考えは、自分の罪をどのように弁解し、恐ろしい死刑宣告から逃れるかということでした。主が自分の罪について質問されたとき、アダムは責任の一部を神に、一部を彼の伴侶に置いて、「あなたが私に妻として与えた女が木から私にくれたので、私は食べました。」と答えました。女は蛇のせいにしてこう言いました。

蛇がわたしを欺いたので、わたしは食べました」(創世記 3:12,13)。なぜ蛇を作ったのか?なぜ彼女をエデンに入れようとしたのですか?これらは彼の罪に対する謝罪の中に暗黙的に含まれている質問であり、したがって彼の墮落の責任を神に課すものでした。自己正当化の精神は嘘の父に起源を持ち、それが発揮されてきました。

アダムのすべての息子と娘。この教団の告白は神の御霊の靈感によるものではないため、神には受け入れられません。真の悔い改めは、人が自分自身に責任を負わせ、欺瞞や偽善なしにそれを認めるように導きます。

貧しい取税人のように、目を天に上げることすらせずに、「神様、罪人の私を憐れんでください」と叫ぶでしょう。そして自分の落ち度を認める者は正当化されるだろう。というのは、イエスは悔い改めた魂に代わって、ご自分の血で懇願されるからです。

2) 人はどのようにして神に栄光を帰すのでしょうか?ホセ。 7時19分。

A.: 「それからヨシュアはアカンに言った、『わが子よ、どうかイスラエルの神、主に栄光を帰し、その御前で告白してください。そして、あなたが何をしたか、私に隠さないでください。』」

金曜日

1) ダニエルは自分と民の罪を告白するとき、自分の間違いを正当化しようとしたり、罪を軽くしようとしたりしましたか?ダニエル 9:4-15。

A.: 「そして私は私の神、主に祈り、告白してこう言いました。ああ!」お客様!あなたを愛し、あなたの戒めを守る人々に対して契約と慈悲を守られる、偉大で途方もない神よ。私たちは罪を犯し、不法を犯し、邪悪な行いをし、あなたの戒めと裁きから逸脱して反逆してきました。そして私たちは、あなたの名によって私たちの王たち、私たちの君主たち、私たちの先祖たち、そして地上のすべての人々に語ったあなたのしもべ預言者たちの言うことを聞きませんでした。主よ、正義はあなたのもので、今日のように顔の混乱は私たちのものです。ユダの人々、エルサレムの住民、そして全イスラエル、近くにいる人たちにも、遠くにいる人たちにも、あなたがあなたに対して犯した反逆のゆえに、あなたが彼らを追い払ったすべての国々に。おお、主よ、顔の混乱は私たちのものです、私たちの王たち、私たちの君主たち、そして私たちの先祖たちのものです、私たちがあなたに対して罪を犯したからです。私たちの神、主に彼らは属します。

慈悲と許し。なぜなら、私たちは主に反抗し、主がその僕たち預言者を通して私たちに与えてくださった律法に従って歩むという私たちの神、主の声に従わなかったからです。そうです、全イスラエルはあなたの律法に違反し、あなたの声に従わないために背を向けました。したがって、神の僕モーセの律法に記されている呪いと誓いが私たちに注がれたのです。なぜなら、私たちが神に対して罪を犯したからであり、神は私たちと私たちを裁いた裁判官たちに対して語られた神の言葉を、私たちに大きな悪をもたらすことによって確認されました。なぜなら、それはエルサレムで行われたように、全天の下で決し行われたことがないからである。モーセの律法に書かれているように、このすべての悪が私たちに降りかかりました。それにもかかわらず、私たちは私たちの神、主の御前に向かって、不法行為から立ち去り、あなたの真理に身を置くように懇願しません。だからこそ、

主は悪を見守り、それを私たちにもたらしめました。私たちの神、主はそのなさったすべての業において義であるからである。私たちが主の声に従わなかったからである。さて、ああ、

私たちの神、主よ、力強い御手であなたの民をエジプトの地から導き出し、あなた自身に今日のような名を与えてくださいました。

私たちは罪を犯し、邪悪な行いをしてきました。」

ダニエル 9:4-15。

神の言葉に見られる真の悔い改めと屈辱の例は、罪の言い訳や自己正当化の試みのない告白の精神を明らかにしています。パウロは自分を守ろうとしたわけではありません。彼は罪を和らげようとせず、自分の罪を最も黒い色で塗りました。彼はこう言います。「私は多くの聖徒たちを刑務所に閉じ込めました。そして、彼らが彼らを殺したとき、私は彼らに反対して投票しました。

私はしばしばどのシナゴグでも彼らを罰し、さらには冒涇を強要しました。そして彼は彼らに対して非常に激怒し、見知らぬ都市を通ってでも彼らを追った。」

(使徒 26:10,11)。彼はためらわずに「キリスト・イエスは罪人を救うためにこの世に來られました。私が罪人のかしらです」(1テモテ1:15)と宣言しました。

土曜日

1) 放蕩息子は父親の自分に対する愛を知ったとき、何をしましたか。リュック。 15:17-21。

A: 「そして、彼は我に返ったとき、こう言いました。「父の日雇い労働者の中に、パンをたくさん持っている人が何人いるのに、私はここで飢えて死ぬのです！」私は立ち上がって父のところに行き、こう言います、「父よ、私は罪を犯しました」

天に対して、そしてあなたの前で、私はもうあなたの息子と呼ばれる資格がありません。私をあなたのカスケットの一人のようにしてください。

そして彼は立ち上がって父親のところに行きました...そして息子は彼に言った、「父よ、私は罪を犯しました」

天に対して、そしてあなたの前で、私はもはやあなたの息子と呼ばれる資格がありません。

謙虚で打ちひしがれた心は、真の悔い改めによって克服され、神の愛とカルバリの犠牲をいくらか感謝するでしょう。そして息子が愛情深い父親に告白するように、真の悔い改めた人は自分の罪をすべて神の前に持ち出すでしょう。そして、「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちをきよめてくださいます。」(1ヨハネ1:9)と書かれています。

2) たとえ話によると、神は罪人をどれほど喜んで許しますか?リュック。 15:20,22~24。

A: 「そして起き上がって、彼は父親のところへ行きました。そして、彼がまだ遠くにいたとき、父親は彼を見て、親密な同情の念を抱き、走りながら彼の首に身を寄せてキスをしました...

父親は家来たちに言った、「最高の服を急いで持ってきてください。」そして服を着せ、手に指輪をはめ、足にはサンダルを履かせた。そして太った子牛を連れてきて殺します。そして食べて楽しく過ごしましょう。というのは、私のこの息子は死んでいたのに生き返り、行方不明になっていたのに見つかったのです。そして彼らは喜び始めました。」

レッスン 5 - 奉獻

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 5 章 - エレン G. ホワイト。

黄金の聖句: 「主に道を捧げなさい。神を信頼してください、そうすれば神はすべてを成して下さいます。」詩篇 37:5 (改訂および修正されたアメリカ訳)。

日曜日

1) イエスのもとに来る人々は、イエスによって聖化されるために何をしなければなりませんか? ロム。 6時19分。

A: 「私は人間として話します。あなたの肉体の弱さのせいです。なぜなら、あなたが自分の肢体に不潔に仕え、悪に悪に仕えさせたように、今度は聖化のために義に仕えるように肢体を差し出さない。」

神の約束は、「あなたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、あなたはわたしを捜し求め、わたしを見出すであろう」(エレミヤ 29:13)というものです。

心全体を神に委ねなければなりません。そうでなければ、私たちが神の似姿に回復されるような変化が私たちの中にもたらされることはありません。私たちは生まれながらに神から疎外されています。聖霊は私たちの状態を次の言葉で説明しています。「あなたの罪と罪の中で死んでいる」(エペソ2:1)。「すべての頭は病んでいて、すべての心は病んでいる」「その人の中には何も健全ではない」(イザヤ 1:5,6)。「私たちはサタンにしっかりと捕らえられています。」「ご意志を行うために彼に捕らえられた」(IIテモテ2:26)。神は私たちが癒し、解放したいと願っておられます。しかし、これが起こるためには、全体的な変革、つまり私たちの性質の完全な刷新が必要です。自分自身との戦いは、これまでに行われた最大の戦いです。自己を明け渡し、神の意志に完全に身を委ねるには努力が必要です。しかし、魂は神聖に新しくされる前に、神に服従しなければなりません。

2) パウロは自分の「自分」をどれだけ神に捧げましたか。ではいくら渡せばいいのでしょうか? ギャル。 2:20。

A: 「私はすでにキリストとともに十字架につけられました。そして、もはや私は生きていませんが、キリストが私の中に生きておられます。そして私が今肉体で生きている人生は、私を愛し、私のためにご自身を捧げてくださった神の御子への信仰によって生きています。」

月曜日

1) 神は私たちに神に仕えることを強制するのでしょうか、それとも選択の自由を与えますか? それは与えました。 30:19。

A.: 「今日、私は天と地をあなたに対する証人として呼び、あなたの前に生と死、祝福と呪いを置きます。したがって、あなたとあなたの子孫が生きるために、命を選択してください。」

神の政府はサタンが言うようなものではなく、盲目的な服従や不合理な支配に基づいたものではありません。それは知性と良心に訴えます。「さあ、一緒に考えてみましょう」というのは、創造主が創造した存在たちへの招きです。神は被造物の意志を強制しません。彼は、知的かつ自発的に与えられない敬意を受け入れることができません。単なる強制的な服従は、精神や人格の真の発達をすべて妨げるでしょう。人間を単なる自動機械にしてしまうだろう。これは創造主の目的ではありません。神は、創造力の最高傑作である人間が可能な限り最高の発展を遂げることを望んでおられます。神は私たちを祝福の高みに定め、その恵みによって私たちをその高みに引き上げようとしておられます。神は私たちに、神のご意志を私たちの内に働かせることができるように、自分自身を神に捧げるよう勧めておられます。罪の奴隷状態から解放され、神の子らの輝かしい自由を分かち合うかどうかは、私たち次第です。

2) 神は私たち全員にどのような招きを与えていますか?ホセ。 24時15分。

A.: 「しかし、主に仕えることがあなたにとって悪いと思われるなら、今日誰に仕えるかを決めてください。川の向こうにいたあなたの先祖が仕えていた神々に、あるいはあなたが住んでいる土地のアモリ人の神々に。しかし、私と私の家は主に仕えます。」

火曜日

1) 神から引き離されたイスラエルの民は何をすべきでしょうか。今日は何をしましょうか?ドイツ語。 7:1-6。

答え: 「あなたの神、主があなたをその地に導き、あなたが所有しようとしている土地に導き、多くの国々、ヒッタイト人、ギルガシ人、アモリ人、カナン人、ペリジ人をあなたの前から追い出されたとき」、そしてヒビ人、そしてエブス人、あなたたちよりも数が多く強力な七つの国々。あなたの神、主は彼らを撃つためにあなたの前に彼らを与えられた、あなたは彼らを完全に滅ぼすであろう。あなたは彼らと契約を結ばず、彼らを憐れみません。また、あなたは彼らと関係を持つことはありません。あなたは自分の娘を彼らの息子に与えてはならず、また彼らの娘を自分の息子に連れて行ってはならない。なぜなら、彼らはあなたの子供たちを私から遠ざけ、他の神々に仕えるからです。そうすれば主の怒りはあなたに対して燃え上がり、たちまちあなたを焼き尽くしてしまうだろう。

しかし、あなたが彼らに行くことはこれです。あなたは彼らの祭壇を破壊し、彼らの彫像を破壊します。そしてあなたがたは彼らの木立を伐採し、彼らの彫られた像を火で焼きなさい。あなたはあなたの神、主にとって聖なる民だからです。あなたの神、主は、地上のすべての民の中から、あなたを特別な民として選ばれたのです。」

自分自身を神に捧げるとき、私たちは必然的に神から私たちを隔てるすべてのものを放棄しなければなりません。このため、救い主はこう言われました。「ですから、あなたがたのうち、自分の持っているものをすべて放棄しない者は、わたしの弟子ではありえません。」（ルカ 14:33）。私たちの心を神から遠ざけるものはすべて捨てなければなりません。神から心を奪うものはすべて捨てられなければなりません。マモンは多くの人のアイドルです。金銭への愛、富への欲望は、彼らをサタンと結び付ける黄金の鎖です。評判や世俗的な名誉は、別の階級によって崇拜されます。利己的で気楽で責任から解放された生活は、他人の偶像です。しかし、こうした奴隷的な絆は断たれなければなりません。私たちは半分が神で半分が世界であることはできません。私たちは完全に神の子でない限り、神の子ではありません。自分の努力に頼って神の律法に従い、義なる人格を形成し、救いを確保しようとしながらも、神に仕えていると公言する人々がいます。彼らの心はキリストの愛の深い感覚によって動かされるのではなく、あたかも神が天国を得るために彼らに要求したかのように、キリスト教徒としての生活の義務を果たそうと努めます。そのような宗教には価値がありません。キリストが心に宿るとき、魂はキリストの愛とキリストとの交わりの喜びで満たされ、キリストと一体となるでしょう。そして主を観想しているうちに、自己は忘れられるでしょう。キリストへの愛が行動の原動力となります。神の切実な愛を感じる人は、神の要求を満たすためにどれほど小さなことができるかなどは考えません。彼らは最低の基準を求めず、救い主の御意志に完全に従うことを熱望します。彼らは誠実な願いですべてを捧げ、求める目的の価値に比例した関心を示します。

キリストの深い愛がなければ、キリストを告白することは単なる誤りであり、無味乾燥な形式的であり、重い負担を伴うものにすぎません。

2) キリストの愛を熟考すると何が起こりますか? IIコリント 5:14,15,17。

A.: 「キリストの愛が私たちに束縛し、一人がすべての人のために死んだなら、すべての人が死んだことになる、と私たちに裁くからです。そして、イエスはすべての人のために死なれたので、生きている人々はもはや自分のために生きるのではなく、彼らのために死んでよみがえられた方のために生きるべきです... したがって、誰かがキリストのうちにいるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてが再び行われた。」

水曜日

「すると見よ、一人の若者が彼のところに来て言った、「先生、永遠の命を得るためにどんな良いことをしたらいいでしょうか？」そして彼は彼に言った、「なぜあなたは私を良い人だと呼ぶのですか？」唯一の善以外に善はありません、それが神です。しかし、人生に入りたいなら、戒めを守りなさい。彼は彼に言いました :「どれですか？するとイエスは、「殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではいけない、偽りの証言をしてはならない」と言われた。あなたの父親と母親を敬いましょう。そうすればあなたは隣人を自分のように愛するでしょう。」

青年は彼にこう言いました。「これはすべて私が若い頃から隠してきたものです。」私にはまだ何が欠けているのでしょうか？イエスは彼に言われました。「完璧になりたいなら、行って、持っているものをすべて売り払って、貧しい人たちに施しなさい。そうすれば、天に宝を持つでしょう。」そして来て、わたしに従いなさい。そして若者はこの言葉を聞くと、たくさんの財産を持っていたので悲しんで立ち去った。」マタイ 19:16-22。

すべてをキリストに委ねるのはあまりにも大きな犠牲だと思いますか？「キリストは私に何を与えてくれましたか？」と自分自身に問いかけてください。神の御子は、私たちの救いのために、命、愛、苦しみのすべてを与えてくださいました。そして、これほど大きな愛を受けるに値しない私たちが、心を神から遠ざけることがあり得るでしょうか？私たちは人生のあらゆる瞬間に神の恵みの恩恵にあずかっていますが、だからこそ、私たちが救われた無知と悲惨の深さを完全に理解することはできません。あなたの罪が持つ方に目を向けることはできますか

刺し貫かれても、それでも神の愛と犠牲をすべて取り消したいと思うのでしょうか？栄光の主の無限の屈辱を考慮して、葛藤と自己否定を通してのみ人生に入ることができるので、私たちはつぶやくのでしょうか？

木曜日

「それからイエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者はそれを見つけるからである。』マタイ 16:24,25。

多くの高慢な心の疑問は、「神に受け入れられると確信する前に、なぜ私が悔い改めと屈辱を受けなければならないのか？」というものです。私はあなたをキリストに導きます。彼には罪がありませんでしたが、それ以上に、彼は天の王子でした。しかし、人間に有利に、それは種族にとって罪となった。「彼は違反者と一緒に数えられました。彼は多くの人の罪を負い、違反者のために執り成しを行った。」

(イザヤ 53:12)。

しかし、すべてを手放すとき、私たちは何を手放すのでしょうか？罪によって汚れた心をイエスは清め、ご自身の血によって清められ、比類のない愛によって救われるのです。それでも男性は、すべてを諦めるのは難しいと考えています。聞くのも恥ずかしいし、書くのも恥ずかしいです。

神は私たちに、保持することが最善の利益となるものを放棄することを求めておられません。神はすべての行いにおいて、子供たちの幸福を念頭に置いています。キリストを選ばなかったすべての人が、キリストが自分たちに求めているものよりもはるかに優れたものを提供して下さることを理解できますように。人間が神の意志に反して考え、行動するとき、自分自身の魂に最大の害と不正義をもたらします。何が最善であるかを知り、被造物の利益を計画する神によって禁じられた道には、本当の喜びは見出されません。罪の道は悲惨と破壊の道です。

「人間が自分の魂を失って全世界を手に入れても、何の得があるだろうか？それとも、人は自分の魂と引き換えに何を与えるでしょうか？」マタイ 16:26。

1) 神は人間に幸福を与えたいと願っておられますか？ジャー。 29:11。

A.: 「わたしはあなたのことを考えていることを知っている、と主は言われます。あなたが期待する結末をもたらすために、悪ではなく平和について考えてください。」

神はご自分の子供たちが苦しむのを見て喜んでいて考えるのは間違いです。天はすべて人間の幸福に関心を持っています。私たちの天の父は、被造物たちに喜びの道を閉ざすことはありません。神の要求は、私たちに苦しみと失望をもたらし、幸福と天国の扉を閉ざしてしまうような放縦を放棄するよう私たちに求めています。世の救い主は、あらゆる欲望、不完全さ、弱さを抱えた人間を、ありのままに受け入れてくださいます。そして神は罪を清め、その血によって確実な救いを得るだけでなく、彼のくびきを負い、重荷を負うことに同意するすべての人の心の切望を満たしてください。命の糧を求めて主のもとに来るすべての人に平和と安息を伝えることが主の目的です。神は私たちに、不従順な者には決して到達できない祝福の高みへ私たちの歩みを進めるような義務だけを遂行するよう求めておられます。魂の真の喜びに満ちた人生とは、キリストが内に形成され、栄光の希望を持つことです。

2) 神が自分たちのために計画を実現させた人の人生はどのようなものになるのでしょうか? いさ。 55:8,12。

A.: 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道はわたしの道ではない、と主は言われる…あなたは喜びをもって出かけ、あなたは平和に導かれるからである。」

金曜日

「私は真実の道を選びました。私はあなたの判断に従うことにしました。」詩篇 119:30

多くの人が「どうやって神に自分を捧げるべきでしょうか?」と尋ねています。あなたは神に自分自身を捧げたいと思っていますが、道徳的な力が弱く、疑いの束縛を受けており、罪深い生活の習慣に支配されています。あなたの約束や決意は砂の跡のようなものです。自分の思考、衝動、愛情をコントロールすることはできません。破られた約束や果たされなかった誓いを知ると、自分の誠実さに対する自信が弱まり、神は自分を受け入れてくれないと感じるようになります。しかし絶望する必要はありません。あなたが理解する必要があるのは、真の意志の力です。これは人間の本性における支配力、決定力、あるいは選択の力です。すべては意志の正しい行動にかかっています。神は人間に選択の力を与えました。それを行使するのはあなたの義務です。自分の心を変えることはできませんし、自分で神に愛情を捧げることもできません。しかし、あなたは神に仕えることを選ぶことができます。あなたは神にあなたの意志を与えることができます。そうすれば、神はあなたの内に働いて、ご自身の喜びに従って意志し、実行するようになるでしょう。このようにして、あなたの性質全体がキリストの御霊の制御下に置かれることになります。あなたの愛情は神に集中し、あなたの考えは神と調和するでしょう。

土曜日

1) 神に仕えることを選択する権利をいつ行使できますか? ホセ。 24時15分。

A.: 「しかし、主に仕えることがあなたにとって悪いと思われるなら、誰に仕えるかを今日決めてください。」

善と聖性を求めること自体は正しいことです。しかし、そこでやめてしまったら、それらは無価値になってしまいます。クリスチャンになりたいと待ち望んでいる間に、多くの人が道に迷うことになるでしょう。彼らは自分の意志を神に委ねるという点に達していません。彼らは選ばない

今すぐクリスチャンになりましょう。

意志を正しく行使することで、あなたの人生に大きな変化をもたらすことができます。自分の意志をキリストに委ねることによって、あなたはあらゆる権力や権威を超えた力と同盟を結ぶことになります。あなたは上から力を与えられ、あなたを揺るがないようにするので、絶えず神に身を委ねることによって、新しい人生、まさに信仰の人生を生きることができるようになります。

2) 神の力が私たちの生活を変えるために、私たちはどのように神と協力できるでしょうか?塩。
37:5;詩 119:173。

A.: 「主のもとに道を捧げなさい。神を信頼してください、そうすれば神はすべてを成して下さいます。」 「あなたの手で私を助けてください。私があなたの戒めを選んだからです。」 (アルメイダ訳の改訂および修正)。

レッスン 6 - 信仰と受容

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 6 章 - エレン G. ホワイト。

黄金の詩: 「そして彼らは言った、主イエス・キリストを信じなさい、そうすればあなたもあなたも救われるでしょう」
家"。使徒 16:31。

日曜日

1) 血液の問題を抱えていた女性はどのような手段で治りましたか? リュック。 8:46-48。

A: 「そしてイエスはこう言いました。『誰かが私に触れました。私の中から美德が消え去ったのを知っていたからです。』

それから、女は身を隠すことができないのを見て、震えながら彼に近づき、彼の前にひれ伏して、なぜ彼に触れたのか、そしてどのようにしてすぐに治ったのかをみんなの前で宣言しました。そして彼は彼女に言った、「元気出してね、娘さん、あなたの信仰があなたを救ったのです。平和に行ってください。」

あなたの良心が聖霊によって呼び覚まされるとすぐに、あなたは罪の悪性、その力、その罪悪感、その呪いについて何かを目にすることになります。そしてあなたは彼を憎しみの目で見ると。罪があなたを神から引き離してしまっただけで、と感じていますか?

悪の力の奴隷にされる。逃げようとすればするほど、自分の無力さがわかります。彼らの動機は不純です。あなたの心は汚れています。あなたの人生は利己主義と罪に満ちていたことがわかります。あなたは赦され、清められ、解放されることを切望しています。神との調和、神との類似性、それらを得るにはどうすればよいでしょうか?

それはあなたが必要とする平和、許し、天の平和、そして魂の愛です。お金ではそれらを買うことはできません、知性ではそれらを得ることができません、知恵ではそれらを達成することはできません。自分の努力だけではそれらを確保することは決してできません。しかし、神はそれらを「お金も代価もなしに」（イザヤ書 55:1）贈り物としてあなたに提供します。手を伸ばして掴むだけで、それらはあなたのものになります。主はこう言われます。「たとえあなたの罪が緋色であっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえそれが深紅のように赤くても、羊毛のようになるであろう」（イザヤ書 1:18）。「わたしはあなたに新しい心を与え、あなたの中に新しい霊を入れます」（エゼキエル 36:26）。

あなたは自分の罪を告白し、心からそれを捨てました。あなたは自分自身を神に捧げる決意をしました。さあ、主のもとに行き、すぐにあなたの罪を清め、新しい心を与えてくださるようお願いしてください。ですから、神は約束したからそうしてくださると信じてください。これは、イエスが地上にいたときに教えられた教訓であり、神が私たちに約束した賜物を私たちは受け取った、そしてそれは私たちのものであると信じる必要があるということです。

イエスは、人々がイエスの力を信じたとき、人々の病気を治しました。イエスは彼らに目に見えるものについて彼らを助け、それによって彼らに目に見えないものに関して神への信頼を与え、神の力を信じるように彼らを導きました。

罪を赦すこと。中風に陥った人の癒しの際に、イエスはこのことを徹底的に教えました。

あなたの家」(マタイ 9:6)。伝道者ヨハネは、キリストの奇跡についてこう述べています。「しかし、これらの奇跡は、あなたがイエスが神の子キリストであることを信じるため、そして信じて神の名によって命を得るために記録されたのです」(ヨハネ 20 章) :31)。

月曜日

イエスがどのように病人を癒したかについての聖書の簡単な記録から、私たちは罪の赦しを得るためにイエスを信じる方法について何かを学ぶことができます。ベセスダの麻痺者の話に戻りましょう。哀れな患者は無力だった。彼は38年間手足を使っていませんでした。それでもイエスは彼に、「起きて、床を担いで、歩きなさい」と命じられました。病人は、「主よ、もしあなたが私を良くしてくださるなら、私はあなたの言葉に従います。」とすることができたでしょう。しかし、そうではありません、彼はキリストの言葉を信じ、自分が完全になったと信じ、すぐに努力をしました。彼は歩き始めたので歩きました。彼はキリストの言葉に従って行動し、神がその力を与えました。彼は元気になった。

同様に、あなたも罪人です。過去の罪を償うことはできません。

しかし、神はキリストを通してあなたのためにこれらすべてを行うと約束しています。あなたはその約束を信じています。あなたは自分の罪を告白し、神に仕える意志を神に捧げます。あなたがそうするのと同じくらい確実に、神はあなたへの御言葉を実現してくださるでしょう。

あなたがその約束を信じ、自分が赦されて清くなったと信じるなら、神はそうしてください。あなたはちょうどキリストが、自分が癒されたとき中風の人に歩く力を与えたのと同じように、信じればそうなるのです。

自分が完全になったと感じることを期待しないでください。こう言ってください。これは私がそう感じるからではなく、神がそう約束したからです。」

1) アブラハムの人生において神の約束はなぜ成就したのですか?ロム。 4:17-21。

A.: 「(書かれているように、私はあなたを多くの国民の父とした)彼が信じた神の前で、つまり、死者に命を与え、そうでないものをあたかも本物であるかのように呼ぶ神の前に。希望に反して信じた者が、「あなたの子孫もそうなるだろう」と言われたとおり、多くの国民の父となった。そして、信仰が弱まることなく、彼は百歳近くになっていたのです。すでに死んでいた自分の体にも、サラの子宮の死にも注意を払いませんでした。そして彼は不信仰によって神の約束を疑うことはなく、信仰が強められ、神に栄光を帰し、神が約束したことは神にもできると完全に確信した。

それ。"

火曜日

1) イエスは中風の人にその信仰を見て何と言われましたか。マルコ 2:5。

A: 「イエスは彼らの信仰を見て、中風の人にこう言われました。『子よ、あなたの罪は赦される。』」

イエスは、「あなたが祈りで求めるものはすべて、あなたがそれを受け取ったと信じなさい。そうすれば、それはあなたのものになります」(マルコ11:24)と言われました。この約束を受け取るには、神の御心に従って祈るという条件があります。しかし、私たちが罪から清め、神の子とし、聖なる生活を送れるようにして下さるのが神のご意志です。そうすれば、私たちはこれらの祝福を求め、それが受けられると信じ、受けられたことを神に感謝することができます。イエスのもとに来て清くなり、恥ずかしさや良心の呵責を感じることなく律法の前立つことができるのは私たちの特権です。「今や、キリスト・イエスにある者には罪に定められることはありません」(ローマ8:1)。

2) キリストのうちにある人々にはどのような変化が起こりますか? IIコリント 5:17。

A: 「ですから、もし誰かがキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてが再び行われた。」

これから先、あなたは自分自身のものではありません。あなたは代償を払って買われたのです。「あなたがたが贖われたのは、銀や金のような朽ちるものではなく、傷も汚れもない小羊のような尊い血、キリストの血であることを知っています。」(Iペテロ1:18,19)。神を信じるというこの単純な行為を通して、聖霊はあなたの心に新しい命を生み出しました。あなたは神の家族に生まれた子供のようなもので、神は御子を愛するようにあなたを愛しています。

あなたはイエスに自分を捧げたのですから、後戻りしないで、イエスから背を向けず、毎日こう言いましょう。私は自分自身を神に捧げました。」そして、あなたに御霊を与えて、神の恵みによってあなたを守って下さるよう神にお願いしてください。神に自分を捧げ、神を信じれば、あなたは神の子供となるのと同じように、あなたは神の中に生きなければなりません。使徒は言います、「今、あなたはキリスト・イエスを主として受け入れたのですから、キリストのうちに歩みなさい」(コロサイ2:6)。

「わたしのうちに留まり、わたしもあなたの中に留まりなさい。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、枝がそれ自体で実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしのうちにとどまっていなければ実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたは枝である。わたしのうちにとどまる者、そしてわたしもその人の中にとどまる者は多くの実を結びます。なぜなら、わたしなしではあなたは何もできないからだ…もしあなたがわたしの戒めを守るなら、あなたはわたしの愛の中に留まるだろう。わたしが父の戒めを守り、父の愛の中に留まりながらも。」ヨハネ 15:4,5,10。

水曜日

1) 神はどの人々に罪の赦しと永遠の命を約束しましたか? ジョー。 3:16。

答え: 「神はご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは彼を信じる者が滅びずに永遠の命を持つためです。」

ある人たちは、主の祝福を求める前に、自分は裁判を受けなければならない、自分が改心したことを主に証明しなければならないと感じているようです。しかし、彼らは今でも神の祝福を求めることができます。彼らは自分の弱さを助けるために神の恵み、つまりキリストの御霊を持たなければなりません、そうでなければ悪に抵抗することはできません。イエスは、私たちが罪に満ち、無力で、依存しているありのままの姿でイエスのもとに来たことを愛してくださいます。私たちは自分の弱さ、愚かさ、罪深さのすべてを抱えてやって来て、悔い改めのために神の足元にひれ伏すことができます。私たちが神の愛の腕で包み、傷を包み、あらゆる不純物から私たちを清めることは神の栄光です。

2) イエスは何人のために死んだのですか? IIコリント 5:15。

A: 「そして彼は皆のために死んだのです。」

ここで、何千人もの人々が失敗します。彼らは、イエスが自分たちを個人的に、個別に許してくれると信じていません。彼らは神の言葉に忠実ではありません。あらゆる罪に対して赦しが無償で与えられることを自ら知ることは、条件を満たすすべての人に与えられた特権です。神の約束は自分のためではないのではないかと疑いを捨ててください。

それらは悔い改めたすべての違反者のためのものです。力と恵みはキリストを通して与えられ、奉仕する天使たちによってすべての信じる魂にもたらされます。自分たちのために死んでくださったイエスに強さ、純粋さ、義を見いだせないほど罪深い人はいません。神は彼らから罪に汚れ、汚れた衣服を剥ぎ取り、義の白い衣を着るのを待っておられます。神は彼らに、死なずに生きなさいと命じておられます。

木曜日

1) 神は私たちに何を望んでいますか? テモテへの第一の手紙 2:4。

A: 「すべての人が救われ、真理を知るようになるのを誰が望んでいるでしょうか。」

有限な人間が互いに交渉するように、神は私たちと交渉することはありません。彼の考えは慈悲、愛、そして最も優しい同情の考えです。彼はこう言います。「あなたを憐れんでくださる主に立ち帰りなさい。そして私たちの神に立ち返りなさい。神は赦しが豊かだからです。」 「わたしはあなたの罪を霧のように、あなたの罪を雲のようにぬぐい去ります」(イザヤ55:7,44:22)。

「わたしは人の死を喜ばない、と主なる神は言われる。したがって、回心して生きなさい」(エゼキエル書 18:32)。サタンは神の祝福された保証をすぐに盗もうとしています。彼は魂からあらゆる希望の光とあらゆる光を奪い取りたいと思っています。しかし、彼にそんなことをさせてはいけません。誘惑する者の言うことを聞かず、こう言ってください。「イエスは、私が生きるために死んでくださったのです。神は私を愛しており、私が滅びることを望んでいません。私には慈悲深い天の父がいます。そして、私は神の愛を乱用しましたが、神が私に与えてくださった祝福が無駄になったことを考えると、立ち上がって父のもとに行き、こう言います。「私は天に対して、そしてあなたの前で罪を犯しました。私にはもうあなたの息子と呼ばれる資格はありません。私をあなたの労働者の一人として扱ってください。」たとえ話はこう言います

失われた人がどのように受け入れられるか：「父は彼を見たとき、まだ遠く離れていたが、彼を憐れんで走って行き、抱き締め、口づけした。」(ルカ15:18-20)。

しかし、このたとえ話は、そのままでは優しく感動的なものですが、天の父の無限の憐れみをすべて表現することはできません。主は預言者を通して次のように宣言されます。ですから、わたしはあなたに親切心を込めて描きました(エレミヤ 31:3)。罪人がまだ父の家から遠く離れ、見知らぬ国で浪費している間、父の心は彼を切望しています。そして、魂の中で呼び覚まされた神に立ち返りたいという切望はすべて、神の御霊の優しい嘆願、嘆願し、嘆願し、わがママを愛する父の心に向けさせるものに他なりません。

「見よ、神は私の救いです。「わたしは神を信頼し、恐れることはありません。主なる神がわたしの力であり、わたしの歌であり、わたしの救いとなってくださったからです。」イザヤ書 12:2。

金曜日

「そこで、彼らの律法学者やパリサイ人たちは、イエスの弟子たちに対してつぶやいて言った、『なぜ徴税人や罪人たちと飲食するのか』。するとイエスは答えて言われた、「健康な人には医者はいらないが、病人には医者が必要だ。病人には医者が必要だ。」わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。」ルカ 5:30-32。

聖書の豊かな約束を目の前にして、疑いを捨てることができますか？哀れな罪人が立ち戻りたいと切望し、自分の罪を捨て去りたいと切望するとき、主は彼が悔い改めに立ち上がることを厳しく制止されると信じられますか。そんな考えは捨てましょう！天の父のそのような考えを抱くことほど、あなた自身の魂を傷つけるものはありません。神は罪を憎みますが、罪人を愛し、すべての人が救われ、栄光の王国で永遠の祝福を受けることができるように、キリストという身になってご自身をささげられました。神が私たちに対する愛を表現するために選んだ言葉以上に、より強く、より優しい言葉が使われたでしょうか？彼は次のように述べています。「女性は、お腹の中の子供を憐れまないために、まだ授乳中の子供のことを忘れることができるでしょうか？」しかし、たとえ彼女が彼のことを忘れたとしても、私はあなたのことを忘れません(イザヤ書 49:15)。

1) 神は悔い改めた心を軽蔑するでしょうか？詩 51:17。

A.: 「神への犠牲は打ち砕かれた精神です。神よ、あなたは打ち砕かれ悔い改めた心を軽蔑しません。」

土曜日

「私たちには天に渡られた偉大な大祭司、神の御子イエスがいます。ですから、告白を堅持しましょう。うちには大祭司がいらないから

私たちの弱さに同情できない人。しかし、私たちと同じように、あらゆる点で誘惑を受けながらも、罪を犯していない方です。したがって、私たちが慈悲を得て、必要なときに助けられる恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に来ようではありませんか。」ヘブライ人への手紙 4:14-16。

疑い、震えているあなたたちよ、目を上げてください。なぜなら、イエスは私たちのために生きて執り成してくださっているからです。愛する御子という賜物を神に感謝し、御子の死が無駄にならないように祈りましょう。今日は御霊があなたを招いています。心を尽くしてイエスのもとに来てください。そうすれば、イエスの祝福を得ることができます。

約束を読んだらすぐに、それが言葉では言い表せない愛と慈悲の表現であることを思い出してください。無限の愛の偉大な心は、無限の慈悲をもって罪人に引き寄せられます。「私たちはこの方において、その血による救い、すなわち罪の赦しを得るのです」(エペソ1:7)。はい、神があなたの助け手であると信じてください。神は人間の中に自分の道徳的イメージを回復したいと望んでおられます。あなたが告白と悔い改めを持って神に近づくと、神は憐れみと許しを持ってあなたに近づいてくださるでしょう。

1) 神は御言葉の中で、神の恵みと憐れみを求めるために神のもとに来るようにとどのようにアドバイスしていますか?ヘブ。 4:16。

A.: 「ですから、私たちは、慈悲と恵みを得て、必要なときに助けてもらえるよう、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

レッスン 7 - 弟子としての試練

基本テキスト: 「キリストへのステップブック」、第 7 章 - エレン G. ホワイト。

黄金聖句: 「兄弟たちよ、もし誰かが信仰はあるが行いを持っていないと言うなら、それが何の役に立つでしょうか。信仰は彼を救うことができるでしょうか。」ヤコブ 2:14。

日曜日

1) キリストに身を委ねた人の人生にはどのような変化が起こりますか? ギャル。 2:20。

A: 「私はすでにキリストとともに十字架につけられました。そして、生きているのはもはや私ではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。そして私が今肉体で生きている人生は、私を愛し、私のためにご自身を捧げてくださった神の御子への信仰によって生きています。」

「もし誰かがキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造された者です。古いものは過ぎ去りました。見よ、新しいものになった」(IIコリント 5:17)。

人は正確な時間や場所を伝えたり、全体を追跡したりすることができない場合があります。変換プロセスにおける一連の状況。しかし、これは彼女が回心していないことを証明するものではありません。キリストはニコデモにこう言われました。すべての人も同様に御霊によって生まれます。」

3:8) 。風のように、目には見えませんが、その影響ははっきりと見え、感じられます。それは人間の心に働く神の御霊です。人間の目には見えないその再生力は、魂の中に新しい命を生み出します。神の似姿に新しい存在を創造します。御霊の働きは静かで知覚されませんが、その効果は明らかです。心が神の御霊によって新たにされたなら、人生はそれを証しするでしょう。たとえ私たちが自分の心を変えるために、あるいは神と調和させるために何もしなかったとしても。私たちは自分自身や自分の良い行いを決して信頼すべきではありませんが、私たちの人生は何らかの形で神の恵みが私たちの中に宿っていることを明らかにします。性格、習慣、目標に変化が見られます。これまでの自分と今の自分のコントラストが明確になり、決定されるでしょう。性格は、その時々作品の善し悪しによってではなく、習慣的な言動の傾向によって明らかになります。

2) ザアカイは回心の結果何と言いましたか。そしてイエスは次に何と言いましたか? リュック。 19:8,9。

A: 「ザアカイは立ち上がって主に言った、『主よ、ご覧ください、私は財産の半分を貧しい人々に施します。もし私が誰かから何かを騙したなら、4倍にして返します。するとイエスは彼に言われた、「今日、この家に救いが来た。彼もアブラハムの子だからだ。』」

確かに、キリストの新たな力がなくても、表面的な行動を修正することは可能です。影響力を愛し、他人から尊敬されたいという欲求は、秩序ある生活を生み出すことができます。自尊心があれば、悪の出現を避けることができます。利己的な心は寛大な行動を起こすことができます。では、私たちがどちらの側につくのかを決めるのであれば、なぜそうではないのでしょうか？心の所有者は誰ですか？私たちの思いは誰と一緒にですか？誰と話したいですか？私たちに最も熱烈な愛情と最高のエネルギーを持っているのは誰ですか？もし私たちがキリストのものであるなら、私たちの考えは

私たちは主とともにおり、私たちの最も優しい思いは主についてのものです。私たちは神の似姿を持ち、神の御霊を吸い、神の御心を行い、あらゆることにおいて神を喜ばせることを切望しています。

月曜日

1) キリストを信じる人はどんな賜物を受け取りますか？ギャル。 3:14。

A.: 「それは、アブラハムの祝福がイエス・キリストを通して異邦人に及ぶためであり、信仰によって私たちが御霊の約束を受けるためです。」

2) 信者はどのような手段で導かれますか？ロム。 8:1,14。

A.: 「ですから、キリスト・イエスのうちにある人々、つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む人々には、今では罪に定められることはありません。神の御霊に導かれている者は皆、神の子なのです。」

キリスト・イエスにあって新たに創造された者は、御霊の実である「愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制」(ガラテヤ5:22,23)を実証することになります。彼らはもはや以前の欲望に従って自分自身を形作るのではなく、神の御子への信仰によって神の歩みに従い、神の性質を反映し、神が純粹であるように自らを清めるでしょう。かつては嫌いだったものを、今では大好きになっています。そしてかつて好きだったものは嫌いになります。傲慢で自己主張の強い人が、心は柔和で謙虚になります。うぬぼれと誇りが真剣で穏健になります。大酒飲みは素面になり、放蕩者は清らになる。世の中の無駄な習慣や流行は脇に置かれます。クリスチャンは「外面の装飾」ではなく、「穏やかで静かな霊の不朽の装いと一体となった心の内なる人」を求めましょう（ペテロ第一 3:3,4）。

彼が改革に取り組まない限り、真の悔い改めの証拠はありません。

誓約書が返され、盗んだものを返し、自分の罪を告白し、神と隣人を愛した場合、罪人は自分が死から命に移ったことを確信することができます。

2) イエスを受け入れた人々の新しい経験は何ですか？ヨハネ第一 3:9。

A.: 「神から生まれた者は誰でも罪を犯しません。なぜなら、彼の種は彼の中に残っているからです。そして彼は神から生まれたので、罪を犯すことはできません。」

さまよえる罪深い存在として、私たちがキリストのもとに来て、その赦しの恵みにあずかるとき、心に愛が生まれます。キリストが課すくびきは軽いのので、あらゆる義務は軽いです。服従は喜びとなり、犠牲は喜びとなる。暗闇に覆われていたように見えた道が、正義の太陽の光で明るくなります。

キリストの人柄の美しさは、キリストに従う人々の中に現れるでしょう。神の御心を行うことは彼の喜びでした。神への愛と神の栄光への熱意が、救い主の人生を支配する力でした。愛は神のすべての行動を美化し、高貴なものにしました。愛は神のもので、奉獻されていない心はそれを生じさせたり生み出したりすることはできません。それはイエスが統治する心の中でのみ見出されます。「私たちが愛するのは、神が最初に私たちを愛してくださったからです」(1ヨハネ4:19)。神の恵みによって新たにされた心においては、愛が行動の原則となります。それは性格を修正し、衝動を支配し、情熱を制御し、敵意を鎮め、愛情を高貴にします。魂の中で大切にされているこの愛は、人生を楽しみ、周囲のすべてのものに洗練された影響を与えます。

火曜日

神の子供たち、特に神の恵みを信頼し始めたばかりの人々が、特に身を守る必要がある誤りが2つあります。1つ目は、すでに述べたように、自分の行いに目を向け、神との調和をもたらすために自分にできることは何でも信頼することです。律法を守ろうと自分自身の努力によって聖になろうとする人は、不可能なことを試みているのです。キリスト抜きで人ができることはすべて利己主義と罪で汚染されています。信仰によるキリストの恵みだけが、私たちを造り上げることができるのです。

聖人たち。

1) キリストへの信仰は人間を神の律法への従順から解放しますか?ロム。 3:31。

A.: 「では、私たちは信仰によって律法を無効にするのでしょうか?決して~ない!むしろ、私たちは法律を制定します。」

反対の、そして同様に危険な誤りは、キリストを信じることで人は神の律法を守ることから解放されるということです。私たちがキリストの恵みにあずかるのは信仰だけなので、私たちの行いは私たちの救いとは何の関係もありません。

2) 信仰によって神の恵みを受け入れる人はどのように生きますか?ロム。 6時14分。

A.: 「罪はあなたを支配することはありません。あなたは律法の下ではなく、恵みの下にあるからです。」

しかし、ここで注意していただきたいのは、従順とは単なる外面的な黙従ではなく、愛ある奉仕のことであるということです。神の律法は神自身の性質の表現です。それは愛の原理の具体化であり、したがって天と地における神の統治の基礎です。もし私たちの心が神に似て新たにされるなら、神の愛が魂に植え付けられるなら、神の律法は人生において実践されるのではないのでしょうか?愛の原則が心に植え付けられるとき、人間が創造主の姿に新しくされるとき、

新しい契約の約束は成就します。「わたしはわたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いに書き記す」(ヘブル10:16)。そして、もし法律が心の中に書かれているなら、それは人生を形作るのではないのでしょうか?従順、つまり愛の奉仕と服従は、弟子としての真のしるしです。そして聖書はこう述べています。「わたしたちが神の戒めを守ることこそが神の愛だからです。」「『わたしはその人を知っている』と言いながら、その戒めを守らない人は偽り者であり、その人の中に真理はありません。」(1ヨハネ5:3,2:4)。人間を従順から解放するのではなく、信仰、そして信仰だけが私たちをキリストの恵みにあずからせ、従順を可能にするのです。

水曜日

1) 人間が救われる真の信仰の動機は何ですか?ギャル。 5:6。

A.: 「イエス・キリストにおいては、割礼も無割礼も何の価値もありません。しかし、愛を通して働く信仰です。」

私たちは従順によって救いを獲得するものではありません。なぜなら、救いは神の無償の贈り物であり、信仰によって受け取られるからです。「あなたもご存知のように、イエスは罪を取り除くために現れましたが、イエスには罪がありません。神のうちに留まる人は皆、罪の中で生きていません。罪を犯した者は皆、神を見たことも、知ったこともありません」(1ヨハネ 3:5,6)。ここからが本当のテストです。もし私たちがキリストのうちに留まれば、神の愛が私たちの中に宿るなら、私たちの感情、考え、行動は、神の聖なる律法の戒めに表されている神のご意志と調和するでしょう。「小さな子供たちよ、誰にも騙されないでください。義を実践する者は、彼が義であるのと同じように、義なのです」(1ヨハネ 3:7)。正義は、シナイで与えられた十の戒めに表現されているように、神の聖なる法の基準によって定義されます。

人間を神への従順の義務から解放すると公言する、よく言われるキリストへの信仰は、信仰ではなく、思い込みです。「恵みによって、あなたは信仰によって救われたのです。」しかし、「信仰は、行いがなければ、それ自体で死んでしまいます」(エフェソス 2:8; ヤコブ 2:17)。

イエスは地上に来る前にご自身についてこう言われました。「私の心の中にあなたの律法があります」(詩 40:8)。そして再び天に昇る直前に、彼はこう宣言しました。「わたしは父の戒めを守り、父の愛の中に留まります」(ヨハネ15:10)。聖書はこう述べています。「今、私たちはこのことによって神を知っていることが分かりました。もし私たちが神の戒めを守るなら…神のうちに住んでいると言う者は、神が歩まれたように歩まなければならないということです。」(1ヨハネ 2:3-6)。「キリストもあなたのために苦しみを受け、あなたが彼の足跡に従うべき模範を残してくださったからです」(1ペテロ2:21)。

2) 人間を神に従わせない信仰は真実なのでしょうか?叔母。 2:18,20。

A.: 「しかし、ある人はこう言うでしょう、あなたには信仰があり、私には行いがあります。行いのないあなたの信仰を私に示してください。そうすれば、私は私の行いによってあなたの信仰を示します...行いのない信仰は死んだものです。」

木曜日

1) イエスが教えたように、私たちが永遠の命を持つための条件は何ですか?マタイ 19:16,17

A: 「そして見よ、一人の若者が彼に近づき、こう言った。「先生、永遠の命を得るためにどんな良いことをしたらいいでしょうか?」そして彼は彼に言った、「なぜあなたは私を良い人だと呼ぶのですか?」唯一の善以外に善はありません、それが神です。しかし、人生に入りたくないなら、戒めを守りなさい。」

永遠の命の状態は今も昔も同じです - 私たちの最初の両親が堕落する前の楽園での状態と同じです - 神の律法への完全な服従、完全な義です。これ以下の条件で永遠の命が保証されると、宇宙全体の幸福が危険にさらされることになります。あらゆる呪いと悲惨の連続を伴う罪が不滅化される道が開かれることになる。

堕落する前のアダムは、神の律法に従うことによって義なる人格を形成することが可能でした。しかし、彼はこれを行うことができず、彼の罪のせいで私たちの本性は堕落し、私たちは自分自身を義とすることができません。私たちは罪深い不敬虔な人間なので、聖なる律法に完全に従うことはできません。私たちには、神の律法の主張を実現するための独自の義がありません。しかし、キリストは私たちのために逃げ道を用意してくださいました。イエスは地上で、私たちが直面しなければならないような試練や誘惑の真っ只中に生きられました。彼は罪のない人生を送りました。彼は私たちのために死んで、今私たちの罪を取り除き、私たちに彼の義を与えることを申し出ています。もしあなたが神に自分自身を捧げ、神を自分の救い主として受け入れるなら、あなたの人生は罪深いものであったとしても、神のおかげであなたは義人とみなされます。キリストの人格があなたの人格に代わって立ち、あなたはまるで罪を犯していないかのように神の前に受け入れられます。

それ以上に、キリストは心を変えてくださいます。それは信仰によってあなたの心に残ります。あなたは信仰と自分の意志を神に継続的に委ねることによって、キリストとのこのつながりを維持しなければなりません。そして、あなたがそのように保つ限り、神はあなたの内に働いて、ご自分の喜びに従って望み、行動するようにしてくださいます。そのとき、あなたはこう言うことができます。「そして、私が今肉において生きているこの人生は、私を愛し、私のためにご自身を与えてくださった神の御子への信仰によって生きています。」(ガラテヤ 4:3)

2:20)。したがって、イエスは弟子たちにこう言われました。「あなたがたではなく、あなたがたの父の御霊があなたがたのうちに語るので」(マタイ 10:20)。そうすれば、キリストがあなたの内に働いて下さり、あなたは同じ霊を現し、同じ行い、つまり義と従順の働きを行うでしょう。

2) どうすれば神に従順という良い行いを行うことができるでしょうか?ヨハネ 6:28,29。

A: 「そこで彼らは彼に言った、『神の業を遂行するにはどうすればよいでしょうか?』イエスは答えて彼らに言われた、「これは神の御業です。あなたがたは神が遣わされた方を信じるのです。」

ですから、私たち自身には誇るべきものは何もありません。私たちには自尊心を高める理由はありません。私たちの唯一の希望の根拠は、私たちに帰せられたキリストの義と、キリストの霊によって私たちのうちに、そして私たちを通して行われるその働きにあります。

金曜日

1) 人間を正当化し、救う信仰とは何ですか?ロム。 10:9,10。

A.: 「つまり、もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主イエスを死者の中からよみがえらせたとき心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、人は心で義を信じ、口で告白して救いを得るからである。」

信仰について話すとき、頭の中で明確にしておく必要がある区別があります。信仰とはまったく異なる種類の信念があります。神の存在と力、神の言葉の真実性は、サタンとその軍勢ですら心から否定できない事実です。聖書には、悪霊も信じて震える、と書いてあります」(ヤコブ 2:19)。しかし、これは信仰ではありません。そこには神の言葉への信仰だけでなく、神への意志の服従がある。心が神に捧げられ、愛情が神に注がれるところに信仰が生まれます。愛によって働き、魂を浄化する信仰。この信仰を通して、心は神の似姿において新たにされ、新たにされなかった状態にあった心は、神の律法に従わなかった(実際にはそうはなり得ない)が、今では神の聖なる戒めを喜び、次のように叫ぶ。詩編作者: 「私はあなたの律法をなんと愛しているのでしょうか。それは私の一日中瞑想です！」(詩 119:97)。そして律法の義は、「肉に従ってではなく、御霊に従って歩む」(ローマ8:4)私たちのうちに成就します。

2) イエスに自分を捧げた後で、また罪を犯した場合はどうすればよいでしょうか。ヨハネ第一 2:1。

A.: 「私の小さな子供たちよ、私がこれらのことをあなたたちに書いているのは、あなたたちが罪を犯さないようにするためです。そして、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちには御父の弁護者、義人イエス・キリストがいます。そして、彼は私たちの罪のためのなだめの品であり、私たちだけの罪ではなく、全世界の罪のためでもあります。世界"。

キリストの寛容な愛を知り、本当に神の子になりたいと願っているにもかかわらず、自分の性格は不完全で、人生は欠乏していると考え、何らかの形で自分の心が聖なる神によって新たにされたかどうかを疑い始めようとする人々がいます。精神。これらの人々に対して私はこう言いたい、「絶望に負けないでください。」私たちは自分の間違いや欠点のせいで、何度もイエスの足もとにひれ伏し、涙を流さなければなりません。しかし落胆する必要はありません。たとえ敵に負けたとしても、私たちは神に捨てられず、見捨てられることもありません。いいえ;キリストは神の右であり、私たちのためにも執り成してください。最愛のジョンはこう言います。

あなたが罪を犯さないように、私はこれらのことをあなたに書きます。しかし、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちには義なるイエス・キリストという御父の弁護者がいます」(1ヨハネ2:1)。そして、「父ご自身があなたを愛しています」(ヨハネ16:27)というキリストの言葉を忘れないでください。神はあなたをご自分と和解させ、ご自身の純粋さと神聖さがあなたの中に反映されるのを見ることを望んでおられます。そして、あなたが神に委ねるなら、あなたの内に良い働きを始めた神は、それをイエス・キリストの日まで続けてくださるでしょう。もっと熱心に祈りましょう。もっと完全に信じてください。私たちが自分の力に自信を失ったとき、私たちの救い主の力を信頼できるようにしましょう。こうして、私たちの顔の健康である主を賛美しましょう。

「私たちが不忠実であっても、神は忠実であり続けます。自分自身を否定することはできません。」テモテ第二 2:13。

土曜日

1) 真のクリスチャンは自分自身をどのように考えていますか? テモテへの第一の手紙 1:15、16

A.: 「キリスト・イエスが罪人を救うためにこの世に来られたということは、忠実な言葉であり、すべて受け入れられるに値します。私はその罪人の先頭です。しかし、この理由から、私は主である私の中にイエス・キリストが永遠の命を信じようとする人々への模範として、その忍耐のすべてを示してくださるよう憐れみを得ました。」

イエスに近づけば近づくほど、自分の目には欠けているものが映るでしょう。なぜなら、あなたのビジョンはより鮮明になり、あなたの不完全さは神の完全な性質と大きくはっきりと対照をなすようになるからです。これはサタンが欺瞞が力を失ったことの証拠です。神の御霊の加速する影響があなたを目覚めさせつつあることを。

自分の罪深さを理解していない心には、イエスに対する深い愛は宿りません。キリストの恵みによって変えられた魂は、キリストの神聖な人格を賞賛するでしょう。しかし、もし私たちが自分自身の道徳的歪みに気づかないとしたら、それは私たちがキリストの美しさや卓越性についてのビジョンを持っていないことの疑いのない証拠です。

私たちが自分自身に感謝することが少なくなればなるほど、救い主の無限の純粋さと愛らしさに感謝するようになるでしょう。私たちの罪深さのビジョンは、私たちを赦してくださる方へと導きます。そして魂が自分の無力さを悟ってキリストに従うとき、キリストは力を持ったご自身を現されるでしょう。私たちの必要性の感覚が私たちが神と神の御言葉に向ければ向けるほど、私たちは神の性格についてより崇高な見方を持つようになり、神のイメージをより完全に反映するようになります。

2) 苦悩と絶望の中でキリストに身を委ねた人は何を受け取るのでしょうか? マルコ 9:23-26。

A.: 「そしてイエスは彼にこう言われました。もしあなたが信じる事ができれば、信じる者にはすべてのことが可能です。するとすぐに、少年の父親は涙を流しながら言いました。「主よ、私は信じます!」私の不信仰を助けてください。

そこでイエスは、群衆が近づいてくるのを見て、汚れた霊を叱責して言われた、「口のきけない、耳の聞こえない霊よ、命じる。彼から出て、もう彼の中に入るな」。そして彼は叫び、激しく体を揺すりながら出て行った。そして少年は死んだかのように残ったので、多くの人が彼は死んだと言った。しかし、イエスが彼の手を取って持ち上げると、彼は立ち上がった。」

レッスン 8 - キリストにおける成長

基本テキスト: 「キリストへのステップブック」、第 8 章 - エレン G. ホワイト。

黄金の詩: 「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝である。わたしのうちにとどまる者、そしてわたしもその者の中にとどまる者は多くの実を結ぶ。なぜなら、わたしなしではあなたは何もできないからである。」ヨハネ 15:5。

日曜日

1) イエスを救い主として受け入れた人々に対する神の目的は何ですか? 私はテス。 4:3; ロム。 6時22分。

A.: 「これは神のご意志、あなたの聖化だからです。」 「しかし今、あなたがたは罪から解放され、神の僕とされたので、聖化に至る実を結び、永遠の命を終わらせることができます。」

私たちが神の子となる心の変化を聖書では新生と呼んでいます。繰り返しになりますが、それは農夫が蒔いた良い種の発芽にたとえられます。同様に、新たにキリストに改宗した人たちは、「生まれたばかりの子供たち」と同じように、キリストにあって男性と女性の身長に「成長」する必要があります(1ペテロ2:2; エフェソス4:15)。イエス。あるいは、野に蒔かれた良い種のように、成長して実を結ばなければなりません。イザヤは、彼らは「主が栄光のために植えた義の榿の木と呼ばれるべきである」と言っています(イザヤ61:3)。このように、自然生命のイラストは、霊的生命の神秘的な真実をより深く理解するのに役立つように描かれています。

2) 誰が人を聖化し、神のために実を結ぶように導いてくれますか? エゼ。 20:12。

A.: 「そして、私と彼らの間のしるしとして、彼らに安息日も与えました。それはわたしが彼らを聖化する主であることを彼らが知るためである。」

人間のあらゆる知恵と技術を駆使しても、自然界の最小の物体に生命を生み出すことはできません。神ご自身が命を通してのみ、植物も動物も生きられることを伝えられました。

したがって、神の命を通してのみ、人の心の中に霊的な命が生じます。人は「上から生まれ」ない限り（ヨハネ 3:3）、キリストが与えるために来られた命にあずかることができません。

人生と同じように、成長も同様です。芽を花に、花を実に通ずるのは神です。種が「最初に刃、次に穂、そして最後に穂の中で実が成る」（マルコ 4:28）ように成長するのは神の力によるものです。そして預言者ホセアはイスラエルについて「ユリのように花を咲かせるだろう」と言いました。「彼らは穀物のように生い茂り、ぶどうの木のように栄えます」（ホセ14:5,7）。

月曜日

1) 私たちは誰を通して霊的に成長し、聖化されることができますか？ コリント 1:30。

A.: 「しかし、あなたはイエス・キリストにあって彼のものです。キリストは神の知恵と義と聖化と救いによって私たちのために造られました。」

そしてイエスは、「ユリがどのように成長するかを考えてみましょう」（ルカ12:27）と勧めています。植物や花は、自分自身の世話、心配、努力によってではなく、神が彼らの命を供給するために備えてくださったものを受け取ることによって成長します。子どもは、どんな不安や自分の力でも身長を伸ばすことはできません。そして、不安や自己努力によって、もはや霊的な成長を確実にすることはできません。植物と

子どもは、周囲のものから受け取って成長します。あなたの命を供給するもの、それは空気、日光、そして食べ物です。動物や植物にとってのこれらの自然の賜物と同じように、キリストを信頼する者にとってはキリストです。彼は彼らの「永遠の光」であり、「太陽であり盾」です。

（イザヤ 60:19; 詩 84:11）。彼は「イスラエルにとっての露」のようになるでしょう。「彼は収穫された野原に降る雨のように来ます」（ホセア 14:15; 詩 72:6）。イエスは生ける水であり、「天から下って世に命を与える神のパン」（ヨハネ6:33）です。

神は御子の比類のない賜物によって、地球の周りを循環する空気と同じくらい本物の恵みの雰囲気の世界を包みしました。この命を与える雰囲気を吸うことを選択した人は皆、キリスト・イエスにあって生き、男性と女性の身長にまで成長することになります。

花がその美しさと対称性を完成させるために、明るい光線が太陽に向かうように、私たちも正義の太陽に目を向け、天の光が私たちを照らし、私たちの人格が発展するようにならなければなりません。キリストの。

イエスは同じことを次のように教えています。「わたしのうちに留まりなさい。そうすれば、わたしもあなたの中にとどまります。枝がぶどうの木に留まらなければ、それ自体で実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしのうちに留まっていなければ実を結ぶことができません…わたしなしでは、あなたは何もすることができません。」（ヨハネ 15:4,5）。あなたは幹の枝として成長し実を結ぶのと同じように、聖なる生活を送るためにキリストに依存しています。彼を離れては、あなたには命がありません。

あなたには誘惑に抵抗する力も、恵みと神聖さにおいて成長する力もありません。

神のうちに留まることで、あなたは繁栄することができます。あなたは神から自分の人生を引き出す

それは枯れることも、実を結ばないこともありません。あなたは水の川のほとりに植えられた木のようなになるでしょう。

2) 私たちはキリストの助けなしで聖なる生活を送ることができますか?ヨハネ 15:5。

A.: 「私[イエス・キリスト]なしでは、あなたは何もできません。」

多くの人は、一部の作業は自分でやらなければならないという考えを持っています。彼らは罪の赦しをキリストに信頼してきましたが、今は自分の努力で正しく生きることを求めています。しかし、この種の努力はすべて失敗します。イエスは「わたしを離れては何もできない」と言われました。私たちの恵みの成長、喜び、有用性はすべて、キリストとの結合にかかっています。私たちが恵みのうちに成長しなければならないのは、毎日、毎時間、神との交わりによって、つまり神のうちにとどまることによってです。彼は私たちの信仰の創始者であるだけでなく、完成者でもあります。それは最初も最後まで常にキリストです。

私たちのコースの最初と最後だけでなく、道のあらゆる段階で、彼は私たちと一緒にいなければなりません。ダビデは言います。「主よ、わたしはいつもわたしの前に彼を持っています。彼がわたしの右に立っておられるので、わたしは動かされることはありません」（詩16:8）。

火曜日

1) どうすれば私たちはキリストのうちに留まることができますか?ロム。 1:17。

答えは「義人は信仰によって生きる」です。

「どうすればキリストのうちに留まるでしょうか？」とあなたは尋ねます。 - あなたも最初に彼を受け入れたのと同じように。「今、あなたは主であるキリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストのうちに歩みなさい。」 「義人は信仰によって生きる」（コロサイ2:6、ヘブライ10:38）。あなたは自分自身を神に捧げ、完全に神のものとなり、神に仕え、神に従い、キリストを自分の救い主として受け入れました。あなたは自分の力で罪を償うことも、心を変えることもできません。しかし、あなたは神に自分を捧げたので、神がキリストのためにあなたのためにこれすべてをしてくださったと信じました。信仰によってあなたはキリストのものとなり、信仰によってキリストへと成長しなければなりません。

与えることと受け取ること。あなたはすべてを捧げなければなりません - 自分の心、意志、奉仕 - 神のすべての要求に従うために自分自身を神に捧げなければなりません。そうすればあなたはすべてを受け取るでしょう -

すべての祝福の満ち足りたキリストよ、あなたの心に住み、あなたの力、あなたの義、あなたの永遠の助けとなって、あなたに従う力を与えてください。

2) キリストのうちに留まるために、私たちはどのように神と協力すればよいでしょうか?詩 37:5。

答え：「あなたの道を主に委ねなさい。主を信頼しなさい。そうすれば主はそれを成してくださる。」

朝、自分を神に奉獻しなさい。これを最初のアクティビティにしてください。あなたの祈りを次のようにしましょう。「主よ、私を完全にあなたのものにしてください。私の計画はすべてあなたの足元に置きます。今日私をあなたの奉仕に使ってください。私と一緒にいて、私のすべての仕事があなただけの中で形作られるようにしてください。」これは日常的な問題です。毎朝、その日のために自分自身を神に捧げます。あなたの計画をすべて神に渡し、神の摂理が示すとおりに行われるか放棄されるかについて考えてください。それであなたは

あなたは日々自分の人生を神の手に委ねることができ、そうすればあなたの人生はますますキリストの人生のように形づくられるでしょう。

水曜日

「すべて働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすればわたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい。わたしは心優しく謙虚な人間だからだ。そうすればあなたは魂の休息を見つけるでしょう。わたしのくびきは軽く、わたしの荷は軽いからである。」

マタイ 11:28-30。

キリストにある人生は安息の人生です。エクスタシーな感情は存在しないかもしれませんが、永続的で忍耐強い信頼がなければなりません。あなたの希望はあなた自身の中にあるではありません。彼女はキリストのうちにいます。あなたの弱さは神の強さと結びつき、あなたの無知は神の知恵と結びつき、あなたの弱さは神の絶え間ない強さと結びついています。ですから、あなたは自分自身を見るべきではなく、自分自身に心を集中させるべきではなく、キリストを見るべきです。神の愛、美しさ、神の完璧さに心を集中させてください。

キャラクター。自己否定のキリスト、屈辱のキリスト、純粋さと神聖さのキリスト、比類のない愛のキリスト、これが魂の熟考のテーマです。神を愛し、神に倣い、完全に神に依存することによってこそ、あなたは神の似姿に変えられなければなりません。

イエスは「わたしのうちに留まりなさい」と言われます。これらの言葉は、休息、安定、自信という考えを伝えます。再び神は「わたしのところに来なさい…そうすれば休ませてあげよう」と勧めます。

(マタ 11:28,29)。詩編作者の言葉も同じ考えを表しています。「主にあって休み、辛抱強く主を待ちなさい。」そしてイザヤは確信を与えています：「静けさと確信があなたの力となる」(詩 37:7; イザヤ 30:15)。この休息は、非活動状態では見られません。なぜなら、救い主の招きにおいて、休息の約束は、「わたしのくびきを負いなさい…そうすればあなたは休息を得るだろう」という働きへの呼びかけと結びついているからである。

(マタイ 11:29)。キリストのうちに最も完全に安らぐ心は、キリストのために最も献身的に働きます。

1) クリスマンとしての生活において成長するには、誰に焦点を当てるべきでしょうか?へブ。 12:2,3。

A: 「信仰の創始者であり完成者であるイエスを見てください。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのために十字架に耐え、恥を軽蔑し、神の御座の右に座られました。ですから、あなたが弱ったり、霊が弱くなったりしないように、ご自分に対して罪人たちのそのような矛盾に耐えられた方のことを考えてください。」

心が自分自身に集中すると、力と命の源であるキリストからそれてしまいます。この理由から、サタンは救い主から注意をそらして、キリストとの魂の結合と交わりを妨げようと絶えず努力しています。彼は、この世の喜び、人生の悩み、困惑や悲しみ、他人の欠点、あるいは自分自身の欠点や不完全さなど、これらの点の 1 つまたはすべてに心を向けようとします。

彼らの策略に騙されないでください。彼は非常に頻繁に多くの人々を率えています。

本当に良心的で、神のために生きることを望み、自分の欠点や弱さに集中し、キリストから引き離すことで勝利を得ることを望んでいます。私たちは自分を中心にして、救われるかどうかの不安や恐怖を大切に はいけません。

これらすべてが私たちの力の源から魂をそらしします。自分の魂の管理を神に委ね、神を信頼してください。イエスについて話し、イエスについて考えてください。自分自身を神の中に忘れてみましょう。すべての疑いを捨ててください。恐れを捨ててください。使徒パウロのようにこう言いましょう。「生きているのはもはや私ではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。そして、私が今肉体的に生きているこの人生は、私を愛し、私のためにご自身を差し出してくださいました神の御子への信仰によって生きています。」

2:20) 神のうちに休みなさい。あなたが自分を神の手に委ねるならば、神はあなたを愛した神を通してあなたを征服者以上の者にしてください。

木曜日

「ですから、あなたがたは主イエス・キリストを受け入れたのと同じように、教えられたとおりに、主のうちに根を張り、建てられ、信仰を確立し、信仰の中で感謝にあふれて歩みなさい。キリストによらず、人間の伝統や世界の初歩に従って、誰かが哲学や無駄な欺瞞によってあなたを餌食にしないように気をつけなさい。」コロサイ 2:6-8。

キリストがご自身の人間性を引き受けたとき、彼は人間自身の選択以外のいかなる力によっても決して断ち切ることのできない愛の絆によって人類をご自身に結びつけました。サタンは常に私たちに騙す誘惑を提示します。

この絆を断ち切ってください - キリストから離れることを選択してください。ここは私たちが見守り、戦い、祈る必要がある場所です。何事も私たちに別の主を選ぶように誘惑することがないように。なぜなら、私たちは常に自由にこれを行うことができるからです。しかし、キリストに目を留め続けましょう。そうすればキリストは私たちを守ってくださいます。イエス様を見れば、私たちは安全です。私たちが神の手から引き離すものは何もありません。絶えず主を見つめることによって、私たちは「御霊なる主によるかのように、栄光から栄光へと主ご自身の似姿に変えられていきます」(1コリント3:18)。

このようにして、最初の弟子たちは親愛なる救い主に似るようになりました。

それらの弟子たちはイエスの言葉を聞いて、イエスが必要であると感じました。

彼らは主を探し、見つけ、従ったのです。彼らは家で、食卓で、部屋で、野原で、イエスとともにいました。彼らは教師の生徒としてイエスに同行し、毎日イエスの口から聖なる真理の教訓を受けました。彼らは主人の僕として、自分たちの義務を学ぶためにイエスに目を向けました。それらの弟子たちは「私たちと同じように感情に左右されやすい」人たちでした(ヤコブ 5:17)。彼らは罪に対して同じように戦う必要がありました。彼らは聖なる生活を送るために同じ恵みを必要としていました。

救い主の似姿を最もよく反映した最愛の弟子ヨハネでさえ、生まれつきそのような愛想のよい性格を持っていたわけではありません。彼はうぬぼれがあり、名誉のために野心的であるだけでなく、気分を害されると衝動的で憤慨する人でもありました。しかし、神聖な存在の性格が彼に明らかにされるとすぐに、彼は自分自身の欠陥に気づき、この知識に謙虚になりました。神の子の日常生活の中で彼が見た強さと忍耐、力と優しさ、威厳と柔和、

彼の魂は賞賛と愛で満たされました。彼の心は来る日も来る日もキリストに向けられ、ついには主への愛のあまり自分を見失いました。彼の野心的で憤慨した気性は、キリストの形作られる力によって屈服されました。聖霊の再生する影響力が彼の心を新たにしました。キリストの愛の力は人格の変容をもたらしました。これはイエスとの結合の確かな結果です。キリストが心に宿るとき、すべての自然が変わります。キリストの御霊、その愛は心を和らげ、魂を鎮め、思いや願いを神と天に向けさせます。

金曜日

1) キリストの使徒たちはペンテコステにどのようにして聖化され、聖霊を受けましたか?使徒 1:13,14。

A: 「そして、彼らが入ると、上の部屋に上がりました。そこには、ペトロとヤコブ、ヨハネとアンデレ、フィリポとトマス、バルソロミュとマタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、そしてその兄弟のユダが住んでいました。ジェームス。これらの人々は皆、女性たち、イエスの母マリア、そして彼の兄弟たちと一致して祈りと嘆願を続けました。」

キリストが天に昇られたとき、キリストの臨在の感覚は依然としてキリストの追従者たちにありました。それは愛と光に満ちた、個人的な存在でした。彼らと一緒に歩き、語り、祈り、彼らの心に希望と慰めを与えた救い主イエスは、平和のメッセージがまだ口に残っているうちに天に昇り、その声の音色が聞こえてきました。天使の雲がイエスを迎え入れるやいなや、彼らに向かって、「見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたたちとともにいる。」

(マタイ 28:20) 。彼は人間の姿で天に昇っていました。彼らは、イエスが神の御座の前におられ、依然として彼らの友人であり救い主であることを知っていました。彼の同情心は変わっていませんでした。彼は依然として苦悩する人類と同一視されていたということ。彼は、救われた人々のために神が払った代価を記念して、負傷した手と足を見せながら、その貴重な血の功績を神の前に差し出していました。彼らは、イエスが自分たちのために場所を用意するために天に昇られたこと、そして再び来て彼らをご自分のもとに連れて行ってくださることを知っていました。

彼らは昇天後、会うとすぐに、イエスの名において自分たちの願いを御父に提出することに熱心でした。彼らは厳粛な恐怖の中でひれ伏して祈り、次のような保証を繰り返しました。今まであなたはわたしの名において何も求めなかった。求めなさい、そうすれば、あなたは与えられ、そうすればあなたの喜びは満ちるでしょう」(ヨハネ 16:23,24) 。彼らは、「死んだ方、あるいは復活された方、神の右にいて、私たちのために執り成して下さったのもキリスト・イエスです。」(ローマ 8:34) 。そしてペンテコステは、キリストが「あなたたちの中にいます」と言われた慰め主の臨在を彼らにもたらしました。

そしてイエスは後にこう言われました。しかし、私が行くなら、彼をあなたのところに送ります」(ヨハネ14:17、16:7) 。今後、キリストは聖霊を通して、子供たちの心の中に絶えず住まわれることとなります。彼らと主との結びつきは、主が個人的に彼らと一緒にいたときよりも緊密でした。キリストの内在の光、愛、力が輝いていました

彼らのうち、そしてその人たちは熟考しながら、「不思議に思いました。すると彼らは、自分たちがイエスと一緒にいたことに気づきました」(使徒4:13)。

土曜日

1) イエスは過去に使徒たちを神聖化したように、今日も私たちを神聖化することができますか?へブ。 13:8。

A: 「イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に同じです。」

キリストは最初の弟子たちに対してそうであったように、今日も子供たちに対してそうでありたいと望んでおられます。なぜなら、最後の祈りの中で、弟子たちの小さなグループがイエスの周りに集まったとき、イエスはこう言われたからです。「私はこの人たちのためにだけでなく、彼らの言葉を通して私を信じる人々のためにも祈ります。」(ヨハネ17:20)。

イエスは私たちのために祈り、イエスが一つであるように、私たちもイエスと一つになるように求めました。これはなんと素晴らしい結びつきなのでしょう。救い主はご自身について、「御子は自分自身では何もすることができません」と言われました。「わたしのうちにおられる父が御業をなさる」(ヨハネ5:19,14:10)。

ですから、もしキリストが私たちの心の中に住んでおられるなら、キリストは私たちの内に働いて、「ご自分の望みのままに、またそうするように」働いてくださるのです(ピリピ2:13)。私たちは神が働いたように働きます。私たちも同じ精神を発揮します。そして、私たちは神を愛し、神のうちにとどまり、「すべてにおいて頭であるキリストへと成長」します(エペソ4:15)。

レッスン 9 - 仕事と生活

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 9 章 - エレン G. ホワイト。

黄金の詩: 「そして彼は彼らに言った、『あなたがたは全世界に出て行って、あらゆる造物に福音を宣べ伝えなさい。』」
マルコ 16:15。

日曜日

1) イエスは、イエスを信じた人々の人生に何が起ころかと言われました。ヨハネ 7:38,39。

「わたしを信じる者は……その腹から生ける水の川が流れ出るであろう。そしてこれを彼は霊から語った。彼を信じる者はそれを受け取るであろう。」

神は宇宙の生命、光、喜びの源です。太陽の光のように、生きた泉から湧き出る水の流れのように、祝福が神からすべての被造物に流れ込みます。そして、神のいのちが人々の心の中にあるところはどこでも、それは愛と祝福のうちに他の人に流れ出でしよう。

私たちの救い主の喜びは、墮落した人々の高揚と救いにありました。このため、イエスはご自分の尊い命を自分のものとせず、恥を顧みず十字架に耐えられました。同様に、天使は常に他人の幸福のために働くことに専念しています。これがあなたの喜びです。誇り高き心には、惨めであらゆる意味で性格や立場において劣った人々に奉仕するという屈辱的な奉仕とみなされるであろうそれは、罪のない天使の働きである。キリストの無私の愛の精神は天に浸透する精神であり、その喜びの本質です。

これがキリストに従う者が持つ精神であり、彼らが行う働きである。

キリストの愛が甘い香りのように心に織り込まれると、それを隠すことはできません。彼の聖なる影響力は、私たちが接触するすべての人に感じられるでしょう。心の中にあるキリストの霊は、荒野の泉のようなもので、すべてをさわやかにするために流れ出て、滅びることを覚悟している人は、命の水を貪欲に飲むことができます。

イエスへの愛は、人類の祝福と高揚のために、イエスが働いたように働きたいという願望として表れます。神はすべての被造物に、天の父の愛、優しさ、同情心、思いやりをもたらしてください。

月曜日

救い主の地上での生涯は、気楽で自身への献身的なものではありませんでした。彼は失われた人類の救いのために、粘り強く、献身的に、たゆまぬ努力を続けました。飼葉桶からカルバリーまで、彼は自己否定の道を歩み、困難な仕事、骨の折れる旅、疲れ果てる介護と労働から解放されないよう努めました。「人の子は仕えられるために来たのではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのです」(マタイ20:28)と彼は言いました。これが彼の人生の唯一かつ大きな目的でした。それ以外のものはすべて二の次であり、それほど重要ではありませんでした。神の意志を行い、神の働きを完了することが神の飲食であった。自己や私利私欲は神の働きには関与していませんでした。

1) パウロの遺言は何でしたか? IIコリント 12:15。

「たとえあなたをますます愛して、愛されなくなったとしても、私はあなたの魂のために喜んで費やし、費やすことを許します。」

このように、キリストの恵みにあずかる人々は、キリストがそのために死んでくださった他の人々が天の賜物にあずかるために、どんな犠牲も払う用意があるでしょう。彼らは世界をより良くするためにできる限りのことをするつもりです。この精神は真に回心した魂の確かな結果です。人がキリストのもとに来るとすぐに、イエスという貴重な友人を他の人に知らせたいという願望が心の中に生まれます。救いと神聖な真理があなたの心の中で沈黙することはできません。もし私たちがキリストの義を身にまとい、内にキリストの御霊の喜びに満たされているなら、私たちは沈黙していることはできないでしょう。もし私たちが主が善い方であることを味わい、見たことがあれば、何か話すことができるでしょう。救い主に会ったときのフィリポのように、私たちは他の人を主の御前に招きます。私たちは、キリストの魅力と、来るべき世界の目に見えない現実を彼らに伝えるよう努めます。イエスが歩んだ道を歩みたいという強い願望が生まれるでしょう。わたしたちの周囲の人々は、「世の罪を取り除く神の小羊」を見ることに熱心な切望を抱くでしょう。

そして、他の人を祝福しようとする努力は、結果的に自分自身にも祝福をもたらすこととなります。これが、私たちに救いの計画における役割を与える神の目的でした。神は人間に神の性質にあずかる特権を与え、その結果として同胞に祝福を与えました。これは神が人間に与えることができる最高の栄誉であり、最高の喜びである。このようにして愛の働きに参加する人は、創造主に近づくことができます。

火曜日

1) 神は誰に福音を宣べ伝える働きを託しましたか? Iコリント 3:9。

「なぜなら、私たちは神とともに働く労働者であるからです。あなたがたは神の飼育であり、神の建築なのです。」

神は福音のメッセージと愛を奉仕するすべての働きを天の天使たちに委ねることもできただろう。目的を達成するために他の手段を使うこともできたはずですが、しかし、神の無限の愛の中で、神は私たちをご自分、キリスト、天使たちと協力者とするを選び、私たちがこの無私無欲の奉仕から得られる祝福、喜び、霊的な高揚を分かち合うことができるようになりました。

私たちはキリストの苦しみに参加することによってキリストに同情することができます。
他者の利益のために自己犠牲を払うあらゆる行為は慈善の精神を強化します
与える者の心の中で、彼を世の救い主とより緊密に結びつけるのです。救い主は「裕福でしたが、私たちのために貧しくなりました。それは、彼の貧しさを通して私たちが豊かになるためです」。そして、私たちがこのように創造における神聖な目的を達成したときにのみ、人生は私たちにとって祝福となるのです。

水曜日

1) 神はどのような目的で各人に賜物と、他の人の救いのために働く責任を与えましたか?エフェ。 4:11-13。

「そして神ご自身、ある人たちを使徒、何人かの預言者、何人かの伝道者、そして何人かの牧師や教師に与え、奉仕の働きのために、またキリストの体の徳を高めるために、私たち全員が来るまで聖人を完全にすることを望んでいたのです」それは、キリストの身長の尺度に従った完全な人間である神の御子についての信仰と知識の一致につながります。」

もしあなたがキリストが弟子たちに命じられたとおりに働き、キリストに魂を勝ち取るなら、あなたはより深い経験と神聖な事柄についてのより深い知識の必要性を感じ、義に飢え渇くでしょう。あなたは神に懇願し、あなたの信仰は強められ、あなたの魂は救いの井戸からのより深いドラフトを飲むでしょう。反対と闘争の出会いがあなたを聖書と祈りに導きます。あなたはキリストの恵みと知識の中で成長し、豊かな経験を積むことになるでしょう。

他者のために無私の働きをする精神は、そのキャラクターに深さ、安定感、そしてキリストのような愛らしさを与え、その持ち主に平安と幸福をもたらします。志は高い。怠惰や利己主義が入り込む余地はありません。このようにしてキリスト教の恵みを行使する人は成長し、神のために働くために強くなるでしょう。彼らは明確な霊的洞察力を持ち、堅固で成長する信仰を持ち、祈りの力が増すでしょう。神の御霊はあなたの霊に働きかけ、神聖なタッチに応じて魂の神聖な調和を目覚めさせます。このように他者の利益のために無私無欲の努力に身を捧げる人々は、間違いなく自分自身の救いを実現しようとしているのです。

木曜日

1) 私たちは自分の利益と救いのためにどのように神と協力しますか?テモテへの第一の手紙 4:13,16

「読み続け、勧め、教え続けなさい…自分自身と教義に気をつけなさい。これらのことに忍耐強く取り組みなさい。そうすることによってあなた自身も、あなたの言葉を聞く人たちも救われるからです。」

恵みの中で成長する唯一の方法は、キリストが私たちに課したのと同じ仕事を無関心に行うこと、つまり、私たちが与えることができる助けを必要としている人たちに助け、祝福することに、自分の能力の範囲で専念することです。強さは運動によって得られます。活動はまさに人生の状態です。キリストのために何もせずに、恵みの手段を通じてもたらされる祝福を受動的に受け入れてクリスチャン生活を維持しようとする人たちは、ただ生きようとしているだけです。

働かずに食べるために。そして、自然界と同様に、精神的な世界でも、これは常に退化と劣化をもたらします。手足を動かすことを拒否した人は、すぐにそれらを使うすべての力を失うでしょう。したがって、神から与えられた賜物を行使しないクリスチャンは、キリストにおいて成長できないだけでなく、すでに持っていた力を失うこととなります。キリストの教会は、人間の救いのために神によって任命された機関です。その使命は、福音を世界に伝えることです。そしてその義務はすべてのクリスチャンに課せられます。それぞれが、自分の才能と機会の程度に応じて、救い主の使命を果たさなければなりません。私たちの内に明らかにされたキリストの愛は、私たちがキリストを知らないすべての人に対して債務者にします。神は私たちに光を与えてくださいましたが、それは私たちだけのためではなく、彼らに注がれるためでした。

金曜日

1) 真のキリスト教会の会員の義務は何ですか? 3月16時15分。

「全世界に出て行って、あらゆる生き物に福音を宣べ伝えなさい。」

もしキリストの追隨者たちが義務に目覚めていたなら、今日も1人いるところに何千人もの人が異教の地で福音を宣べ伝えていることでしょう。そして、この活動に個人的に関わるができなかった人も、自分の手段、同情、祈りによってこの活動を支援すべきです。そしてキリスト教国では魂のためにもっと献身的な労働が行われるべきだ。

2) どこで私たちはキリストのために働くことができますか? 1コリント 7:20。

「各自、召された時の状態にとどまりなさい。」

キリストのために働くことが私たちの責任であるならば、私たちは異教の地に行く必要も、狭い家庭の輪を離れる必要さえありません。私たちはこれを、家族の中で、教会の中で、交友関係やビジネスの相手の中で行うことができます。

救い主の地上での生涯の大部分は、ナザレの大工工場での忍耐強い労働に費やされました。奉仕する天使たちは、いのちの主が認められることもなく、尊敬されることもなく、農民や労働者たちと並んで歩む姿を見つけていました。イエスは、病人を癒したり、ガリラヤの荒波の上を歩いたりしたときと同じように、質素な仕事に取り組んでいる間も、その使命を忠実に遂行していました。このようにして、私たちは人生の最も謙虚な義務や最低の立場においても、イエスのために歩み、働くことができます。

使徒はこう言います。「人はそれぞれ、自分に召されたとおりに神の前に立つのです」(1コリント 7:24)。ビジネスマンは、次のような方法でビジネスを行うことができます。

彼の忠実さのゆえに主を讃えなさい。もし彼がキリストの真の追随者であれば、彼は自分の宗教をあらゆる行いに取り入れ、キリストの霊を人々に明らかにするでしょう。この整備士は、ガリラヤの山々の中で地味な生活の道を歩んだ、勤勉で忠実な神の代表かもしれません。したがって、キリストの名を名乗る者は皆、他の人が彼らの良い行いを見て、彼らの創造者であり救い主である栄光を讃えるように導かれるように働くべきである。

土曜日

1) イエスとイエスを知らない人々のためになすべき仕事を持っている教会員は何人いますか？ コリント 12:17-22。

「もし身体全体が目だとしたら、聴覚はどこにあるでしょうか？もし身体全体が聴覚であるとしたら、嗅覚はどこにあるでしょうか？しかし今、神は体の各部分をご自身の御意志どおりに配置しました。そして、もしそれらがそうだったとしたら、体は一つですが、体はどこにあるのでしょうか。ですから、体はたくさんありますが、体は一つです。そして目は手に「あなたはいらない」とは言えませんし、頭や足にもまだ「あなたはいらない」とは言えません。しかし、体の中で最も弱いと思われるメンバーも必要です。」

多くの人は、他の人が優れた賜物や利点を持っているからといって、キリストへの奉仕に自分の賜物を差し出すことを言い訳にしてきました。特に才能のある人だけがその能力を神への奉仕に捧げる必要があるという意見が広まっています。才能は恵まれた階級にのみ与えられ、明らかに労働や報酬を分かち合うよう求められていない他の人々は排除される、ということは多くの人に理解されている。

しかし、このたとえ話ではそのようには表現されていません。家の主人は召使を呼ぶと、各人に自分の仕事を与えました。

愛の精神をもって、私たちは「主に対するように」（コロサイ3:23）人生における謙虚な義務を果たさなければなりません。神の愛が心にあれば、それは人生に現れます。キリストの甘い香りが私たちを包み込み、私たちの影響力が高揚し、祝福をもたらすでしょう。

神のために働きに行く前に、素晴らしい出来事を待ったり、並外れた能力を待ったりすべきではありません。世界が自分をどう思うかなど考える必要はありません。あなたの日常生活があなたの信仰の純粋さと誠実さの証であり、あなたが自分たちに利益をもたらしたいと他の人が確信しているのであれば、あなたの努力が完全に無駄になることはありません。

イエスの弟子の中で最も謙虚で貧しい人でも、他の人にとっては祝福となることがあります。彼らは、自分たちが特別な善を行っていることに気付いていないかもしれませんが、無意識の影響によって祝福の波が始まり、それはさらに広がり、深まり、祝福の結果は最終的な報酬の日まで決して分からないかもしれません。彼らは自分たちが何か素晴らしいことをしているとは思っていませんし、気づいていません。

彼らは、成功に対する不安で疲れ果てるように召されているわけではありません。彼らは、神の摂理が定めた働きを忠実に遂行しながら、冷静に前進するだけでよく、そうすれば彼らの命は無駄にはなりません。彼ら自身の魂はますますキリストに似たものへと成長するでしょう。彼らはこの世で神とともに働く者であり、来るべき人生でのより大きな仕事と真の喜びに備えているのです。

レッスン 10 - 神についての知識

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 10 章 - エレン G. ホワイト。

黄金聖句: 「そして、これが永遠の命です。彼らが唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。」ヨハネ 17:3。

日曜日

1) 神は神の愛と栄光についてどのように私たちの感覚に語りかけますか?詩 19:1-3。ロム。 1:19、20。

「天は神の栄光を明らかにし、大空は神の手の働きを告げ知らせる。

ある日は別の日に発言し、ある夜は別の夜に知恵を示します。言語がなくても、言葉がなくても、彼らの声は聞こえます。」; 「なぜなら、神について知り得ることは彼らの中に現れているからであり、神がそれを彼らに明らかにされたからです。なぜなら、世界の創造以来の神の目に見えないもの、つまり神の永遠の力と神性は、創造されたものによって理解され、はっきりと見えるからです。」

神はさまざまな方法で私たちにご自身を知らせ、私たちをご自身との交わりに導こうとしておられます。•

心を開いた人は、神の御手の働きを通して明らかにされる神の愛と栄光に感動するでしょう。注意深い耳は、自然のものを通して神の伝達を聞き、理解することができます。緑豊かな野原、そびえ立つ木々、つぼみや花、流れ行く雲、降り注ぐ雨、轟音を立てる小川、そして天の栄光は私たちの心に語りかけ、それらすべてを造られた方を知るよう私たちを招きます。 ..

私たちの救い主は、ご自分の貴重な教訓を自然の事柄と結びつけました。木々、鳥、谷の花、丘、湖、美しい空、そして日常生活の出来事や環境はすべて真理の言葉と結びついており、そのため神の教訓は次のようになります。たとえ人間の仕事生活の忙しい最中であっても、何度も思い出させられます。

月曜日

神は、ご自分の子供たちがご自身の業を理解し、私たちの地上の家を飾ってくださったシンプルで穏やかな美しさを喜ぶことを望んでおられます。彼は美を愛し、何よりも外見の魅力を愛し、性格の美しさを愛します。神は私たちが純粹さと素朴さ、花の静かな恵みを育むことを望んでおられます。

1) 詩編作者は神の創造された作品について黙想した後何と言ったのでしょうか。詩 104:24,27,28,31。

「主よ、あなたの御業は実に多様です。あなたは知恵によって万物を造られました。地はあなたの富で満ちています。...誰もが、適時に自分たちの糧を与えてくださるあなたを待っています。彼らに与えることによって、彼らはそれを集めます。」；あなたが手を開くと、それらは良いもので満たされます... 主の栄光は永遠にありますように！主がその御業を喜んでくださいますように！」。

私たちがもっと注意深くさえいけば、神が創造された作品は私たちに従順と真理についての貴重な教訓を教えてください。宇宙を旅する目に見えない星々から、最も小さな原子に至るまで、定められた道を何世紀もたどる自然のものは、創造主の意志に従います。そして神はすべてを見守り、創造したすべてのものを支えます。広大さを通して無数の世界を維持する彼は、同時に、恐れることなく謙虚なメロディーを歌う小さな茶色のスズメのニーズを見守っています。人間が日々の労働に出かけるとき、そして祈りに身を捧げるとき。夜寝るときと朝起きるとき。金持ちが宮殿でごちそうをするとき、あるいは貧しい人が貧弱なテーブルの周りに子供たちを集めるとき、天の父はそれぞれに優しく世話をします。神が気づかずに涙が流れることはありません。神が気づかない笑顔はありません。

これだけを信じれば、過度の不安はすべて放棄されるでしょう。私たちの人生は今ほど失望に満ちたものではなかったでしょう。なぜなら、大小を問わず、すべては神の御手に委ねられ、神は煩惱の多さに当惑したり、その重荷を負ったりすることはないからである。したがって、私たちは、多くの人が長い間知らなかった魂の休息を楽しむべきです。

地球の魅力的な美しさを五感で楽しみながら、世界に思いを馳せましょう

それは来るべきものであり、罪と死の汚れを決して知ることはありません。そこでは自然の表面はもはや呪いの影をまもっていません。あなたの想像力で救われた人の家を描きましょう。そして、それはあなたの最高の想像力を超えて輝かしいものになることを忘れないでください。自然界における神のさまざまな賜物の中で、私たちは神の栄光のほんのわずかな輝きしか見ることができません。「神を愛する人々のために神が備えてくださったものを、目で見ただけ、耳で聞いたことも、人の心に入ったこともありません」（コリント2：9）と書かれています。

詩人と裸体主義者は自然についてたくさんのことを言います。しかし、地球の美しさをより感謝して喜ぶのはクリスチャンである。なぜならクリスチャンは父の働きを認識し、花や茂みや木々に父の愛を認識しているからである。山や谷、川や海の重要性を、人間に対する神の愛の表現として見ることは、誰もその重要性を完全に理解することはできません。

火曜日

1) 神はどのような手段で私たちにご自身を現してくださいでしょうか？ (コリント 2:10; ジョー。 1:18。

「神はご自身の霊によってそれらを私たちに明らかにしてくださいました。」 「神は誰にも見たことがありません。父の懐にいる独り子が神を知らせたのです。」

神は、神の摂理の業を通して、また神の御霊が心に与える影響を通して、私たちに語りかけられます。私たちの置かれている状況や近所、私たちの周囲で日々起こる変化の中に、心を開いてそれを識別することができれば、貴重な教訓を見つけることができます。詩篇作者は神の摂理の働きを説明して、「地は主の慈しみで満ちている」(詩篇33:5)と述べています。「賢い者はこれらのことを考え、主の憐れみを考えなさい。」(詩 107:43)

神は御言葉で私たちに語られます。ここには、神の性格、人々に対する神の扱い、そして救いの偉大な働きが明確な線で明らかにされています。私たちの前には、古代の族長、預言者、その他の聖人たちの歴史が開かれています。

彼らは「私たちと同じ情熱に支配されている」人たちでした(ヤコブ 5:17)。私たちは、彼らが私たちと同じように落胆を乗り越えてどのように戦い、私たちと同じように誘惑に陥ったかを見て、それでも彼らが再び励まされ、神の恵みによって克服したことを知り、彼らを見ることで、私たちは正義のための闘いで励まされます。

彼らに与えられた貴重な経験、楽しむために与えられた光、愛、祝福、そして与えられた恵みによって彼らが達成した仕事について読むとき、彼らにインスピレーションを与えた精神が私たちの心に聖なる動機の炎を灯します。そして性格的に彼らと同じになりたい、そして彼らと同じように神と共に歩みたいという願いです。

水曜日

1) 聖書を通して誰を知るべきでしょうか? ジョー。 5:39。

「聖書を調べなさい。あなたは聖書の中で自分に永遠の命があると思っているからです。聖書はわたしについて証しているのです。」

イエスは旧約聖書について、そしてこれは新約聖書についてさらに当てはまりますが、「彼らこそがわたしについて証しする者である」(ヨハネ 5:39)、救い主、永遠の命への私たちの希望が宿る方であると言いました。中心にあります。そうです。聖書全体がキリストについて語っています。

「キリストなしには、成されたものは何もなかった」(ヨハネ1:3)という創造の最初の記述から、「見よ、わたしはすぐに来ます」(黙示録22:12)という最後の約束まで、私たちは以下のことを読んでいます。彼の働きと彼の声を聞くこと。救い主を知りたいなら、聖書を研究してください。

心を神の言葉で満たしてください。それらはあなたの燃えるような渇きを潤す生きた水です。それらは天の生きたパンであり、イエスは「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたの中に命はない」と宣言されました。そして主は、「わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である」(ヨハネ6:53,63)と説明されています。私たちの体は食べたり飲んだりするものによって作られます。そしてそれが自然経済で起こるのと同じように、精神的経済でも同様です。私たちが瞑想する内容こそが、私たちの霊的性質に調子と活力を与えるのです。

救いというテーマは天使たちが関心を持っているテーマです。これは、永遠の何世紀にもわたって、救われた者の知識と歌となるでしょう。それは今、注意深く検討し研究する価値があるのではないのでしょうか？イエスの無限の慈悲と愛、私たちのために捧げられた犠牲は、最も真剣で厳粛な反省を求めています。私たちは、愛する救い主であり仲裁者である方のご性格について深く考えるべきです。私たちは、ご自分の民を罪から救うために来られた方の使命について黙想すべきです。このように天的なテーマについて熟考するとき、私たちの信仰と愛はますます強くなり、私たちの祈りはますます信仰と愛と混ざり合うため、神にますます受け入れられるようになります。彼らは知的で熱心になるでしょう。イエスへの絶え間ない信頼がさらに増し、イエスを通して神のもとに来るすべての人を完全に救うイエスの力を日々生きた体験ができるようになるでしょう。

救い主の完全さを黙想するとき、私たちは救い主の純粋さの姿に完全に換えられ、新しくされたいと願うでしょう。私たちが崇拜する主のようにになりたいという魂の飢えと渇きがあるでしょう。キリストについての思いが強ければ強いほど、私たちはキリストについて他の人に語り、世界にキリストを表すようになるでしょう。

木曜日

1) 神の御心を知るために他の人に頼ることができますか、それとも自分自身で知ろうと努めるべきでしょうか？ロム。 14:12;使徒 17:11。

「それは、誰もが自分自身について神に説明するためです」。「さて、これらの人々はテサロニケにいた人々よりも高貴でした。彼らはその言葉を非常に喜んで受け入れ、これらのことが本当にそうなのかどうかを毎日聖書を調べていたからです。」

聖書は学者のためだけに書かれたものではありません。むしろ、それは一般の人々のために設計されました。救いに必要な偉大な真理は、真昼のように明らかにされます。そして、明らかに明らかにされた神の御心ではなく、自分自身の判断に従う人を除いて、誰も騙されたり道に迷ったりすることはありません。

私たちは聖書が教えていることについて誰かの証言を受け入れてはならず、自分自身で神の言葉を研究しなければなりません。他人に自分の代わりに考えてもらおうと、私たちのエネルギーは弱まり、能力は低下します。

精神の崇高な能力は、集中する価値のあるテーマについての訓練が不足すると非常に弱くなり、神の言葉の深い意味を理解する能力を失うことがあります。聖書の主題の関係を探ったり、聖書と聖書を比較したり、霊的なものと霊的なものを比較したりすることに心を使えば、心は拡大します。

聖書の研究ほど知性を強化するために計算されたものはありません。

聖書の広範で高貴な真理ほど、思考を高揚させ、能力に活力を与える本はありません。もし神の言葉が本来あるべきとおりに研究されるなら、人々は今日ではめったに見られないような心の広さ、気高さ、そして安定した目的を持つことになるでしょう。

金曜日

1) 聖書をどのように勉強すべきですか? いさ。 28:13。

「それで、主の言葉は彼らに与えられるであろう。戒めに戒め、戒めに戒め、規則に規則、規則に規則、規則に規則、ここには少し、あそこには少し。」

しかし、急いで聖書を読んでも得られる利益はほとんどありません。人は聖書全体を最初から最後まで読んでも、その美しさに気づかず、その深く隠された意味を理解できないことがあります。その意味が心に明確になり、救いの計画との関係が明らかになるまで研究された聖句は、明確な目的も視野に入れず、積極的な指示も得ずに多くの章を熟読するよりもはるかに価値があります。聖書を持ち歩きましょう。機会があれば読んでみてください。記憶の中の文章を修正します。

道を歩いていても、一節を読んで瞑想し、それを頭の中に定着させることができます。

熱心な注意と祈りのこもった研究なしには知恵を得ることができません。実際、聖書のいくつかの部分は、誤解するにはあまりにも明白です。

理解した;しかし、その意味が表面になく、一目で理解できるものもあります。聖書は聖書と比較されなければなりません。祈りを伴う慎重な調査と熟考が必要です。そしてそのような研究は豊かな報いを受けるでしょう。鉱山労働者が地表の下に隠された貴金属の鉱脈を発見するように、神の言葉を隠された宝物のように根気よく探求する者は、不注意な探求者の視界から隠されている、最も価値のある真理を発見します。心の中で思い巡らせたインスピレーションの言葉は、命の泉から流れ出る激流のようになります。

土曜日

1) 聖書を理解するために私たちの理解を開くことができるのは誰ですか? どういう手段で?
1コリント 2:10。

「神は御霊によってそれらを私たちに明らかにされました。」

祈りなしに聖書を学ぶべきではありません。そのページを開く前に、私たちは聖霊の照らしを求めなければなりません、そしてそれは与えられます。ナタナエルがイエスのところに来ると、救い主はこう叫ばれました。「見よ、確かにイスラエル人だ。彼には何の罪もないのだ」。

ナタナエルは言いました、「あなたは私のことをどこから知っていますか?」イエスは「フィリポがあなたに電話する前に、あなたがいちじくの木の下にいるのを見ました」(ヨハネ1:47,48)と答えられました。そして、私たちが神の光を求めるなら、イエスはまた、私たちが真実を知ることができるように、祈りの秘密の場所で私たちを見てください。光の世界からの天使たちは、謙虚な心で神の導きを求める人々とともにいます。

聖霊は救い主を高め、栄光を与えます。キリスト、彼の義の純粹さ、そして彼を通して私たちが得られる偉大な救いを伝えるのが神の仕事です。イエスは、「彼はわたしのものを受けて、それをあなたがたに告げ知らせるのである」と言われました(ヨハネ16:14)。真理の御霊は、

神の真理を教える唯一の有能な教師。神は人類のために御子を命を与え、御霊を人類の教師であり絶えず導く者に任命したのですから、どれほど人類を尊重していることでしょうか。

レッスン 11 - 祈りの特権

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 11 章 - エレン G. ホワイト。

黄金聖句: 「何事についても心配してはなりません。むしろ、祈りと嘆願によって、感謝をもって、すべてのことにおいて自分の願いを神の御前に知らせてください。」

ピリピ人への手紙 4:6。

日曜日

1) 主は私たちに常に何をどのようにとアドバイスされていますか? 私はテスト。 5:17。

「絶えず祈りなさい」

自然と啓示を通して、神の摂理を通して、また神の御霊の影響を通して、神は私たちに語りかけます。しかし、これだけでは十分ではありません。霊的な命とエネルギーを得るには、天の御父と真の関係を持たなければなりません。私たちの心は神に向けられることができます。私たちは神の御業、神の憐れみ、祝福について瞑想することができます。神と交わるためには、私たちの現実の生活について神に何か言う必要があります。

祈りは、友人に対するのと同じように、神に対して心を開くことです。それは、私たちが何であるかを神に知らせるために必要だというわけではありません。しかし、私たちが彼を受け入れることができるようにするためです。祈りは神を私たちのもとに降ろすのではなく、私たちを神のもとに引き上げます。

イエスは地上にいたとき、弟子たちに祈り方を教えました。イエスは彼らに、日々の必要を神の前に差し出し、すべての思い煩いを神に委ねるよう指示しました。そして、彼が彼らの嘆願が聞き入れられるだろうという確信を彼らに与えたことは、私たちにとっても確信となります。

イエスご自身も、人々の間に住んでいる間、よく祈っていました。私たちの救い主は、ご自身を私たちの必要と弱さを認識し、その中で、義務と試練のために強められて出られるように、御父に新たな力の供給を求める嘆願者、物乞いになりました。彼はあらゆることにおいて私たちの模範です。

彼は私たちの弱さを抱えた兄弟です。「私たちと同じように、彼もあらゆる面で誘惑されました」。しかし、汚れのないお方と同じように、彼の本性は悪から身を縮めました。彼は罪の世界で苦闘と魂の拷問に耐えました。彼の人間性により、祈りは必要不可欠なものとなり、特権となりました。彼は御父との交わりの中に慰めと喜びを見いだしました。

人間の中で、神の御子は祈りの必要性を感じておられたのに、ひ弱で罪に満ちた死すべき人間はなおさら、熱烈で絶え間ない祈りの必要性を感じているはずです。

月曜日

1) 神は祈りで願いを神に届ける人々に何を与えたいと思われませんか? 1コリント 2:9。

「目は見たことがなく、耳も聞いたことがなく、人の心にも入ったことがない。神を愛する者たちのために神が用意されたもの。」

私たちの天の父は、私たちに豊かな祝福を注いで下さるのを待っています。無限の愛の泉を深く飲むことは私たちの特権です。私たちが祈ることがこれほど少ないのは、なんと素晴らしいことでしょう。神は神の子らの中で最も謙虚な人々の心からの祈りを喜んで聞き入れる用意ができていますが、それでも私たちの側には、自分の必要を神に知らせることに明らかに消極的です。神の無限の愛の心が切望して彼らに傾き、彼らが求めたり考えたりする以上のものを与える準備ができてはいるのに、彼らが祈っているとき、誘惑にさらされている貧しい、絶望的な人間のことを天の天使たちはどう思うのでしょうか?、そんなに信仰が薄いのですか? 天使は神の前にひれ伏すのが大好きです。彼らは神の近くにいることが大好きで、神との交わりが最高の喜びであると考えていますが、それでも、神だけが与えることのできる助けを必要としている地上の子供たちは、神の御霊の光、つまり神との交わりなしで満足して歩いているように見えます。彼、彼の臨在。

祈りを怠る者は邪悪な者の闇に包まれます。敵の示唆された誘惑は私たちを罪に誘惑します。そしてこれらすべては、神が祈りという神からの任命において神から与えられた特権を彼らが活用していないからです。全能の無限の資源が蓄えられている天の穀倉を開くには祈りが信仰の手にかかっている鍵であるにもかかわらず、なぜ神の息子や娘たちは祈ることにこれほど消極的でなければならないのでしょうか。絶え間ない祈りと熱心な監視がなければ、私たちは不注意になり、正しい道から外れてしまう危険があります。敵は、私たちが熱心な嘆願と信仰によって、誘惑に抵抗する恵みと力を獲得できないように、慈悲の御座への道を絶えず妨害しようとしています。

火曜日

1) 悪魔に惑わされないように聖書はどのようなアドバイスを与えていますか? テス。 5:17。

「絶えず祈りなさい。」

神が私たちの祈りを聞いて答えてくださると期待できる条件がいくつかあります。その最初の一つは、私たちが神の助けが必要だと感じているということです。「わたしは渴いた人に水を注ぎ、乾いた地に激流を注ぎます」と約束しました。

(イザヤ 44:3)。義に飢え渴き、神を待ち望む人は、必ず満たされるでしょう。心が御霊の影響に対して開かれていなければ、神の祝福を受けることができません。

私たちの大きなニーズはそれ自体が議論であり、最も雄弁に訴えます

私たちに有利です。しかし、これらのことを私たちのためにして下さるためには、主を求めなければなりません。

「求めなさい。そうすれば与えられるでしょう。」と彼は言います。(マタイ 7:7)。「ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために献げてくださった方は、どうして御子とともに私たちにすべてのものを与えて下さらないのでしょうか(ローマ8:32)。」

もし私たちが心の中で不正を大切に、既知の罪にしがみついているなら、主は私たちの言うことを聞かないでしょう。しかし、悔い改めて悔い改めて魂の祈りは常に受け入れられます。既知の誤りがすべて正されるとき、私たちは神が私たちの嘆願を叶えてくださると信じていることができます。私たち自身の功績が私たちが神の好意に推薦することは決してありません。私たちが救うのはキリストの功績であり、私たちが清めるのはキリストの血です。ただし、受け入れ条件を遵守するためにはやるべきことがあります。

2) 私たちは自分の願いをどのように神に伝えるべきでしょうか? 叔母。 1:6

「しかし、疑うことなく、信仰をもって尋ねてください。」

祈りを克服するためのもう一つの要素は信仰です。「…神に近づく者は、神が存在し、神を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」(ヘブライ人への手紙11:6)。

イエスは弟子たちにこう言われました。「あなたが祈って求めるものが何であれ、受け入れられると信じなさい。そうすれば、あなたはそれを手に入れることができます。」(マルコ11:24)私たちが神の言葉をそのまま受け入れているでしょうか?

確実性は広範囲かつ無制限です。そして約束された方は忠実です。求めたものが、求めたとおりに与えられなかったとしても、私たちは主が聞いてくださり、祈りに答えてくださると信じなければなりません。私たちは非常に間違いやすく近視眼的なので、自分にとっても天の父にとっても祝福にならないことを時々求めてしまいます。

愛を込めて私たちの祈りに答えて、私たちの最大の利益となるものを与えてくださいます。それは、もし私たちが神に啓発されたビジョンですべてのものをありのままに見ることができれば、私たち自身が望んでいることです。私たちの祈りが答えられないように見えるとき、私たちは約束をしっかりと守らなければなりません。答えの時が必ず来て、私たちは最も必要な祝福を受けることになるからです。しかし、祈りはいつも同じように、私たちが望む特定のことにに対して答えられるべきであると主張するのは、思い上がりです。神は賢明すぎて誤りを犯すことができず、善良すぎて、正しく歩む人々に良いことを差し控えられません。ですから、たとえ祈りがすぐに答えられなくても、恐れることなく神を信頼してください。「求めなさい。そうすれば与えられるでしょう」(マタイ 7:7)という主の確かな約束に頼ってください。

水曜日

1) イエスは絶え間なく祈った結果について何と言われましたか? リュック。 18:7,8.

「そして神は、たとえ神が自分たちに対して遅いにもかかわらず、昼も夜も神に叫び求めている、ご自分に選ばれた者たちに正義を与えないでしょうか? あなたがたに言いますが、神は彼らにすぐに正義を与えてくださるでしょう。」

信仰を持つ前に、疑いや恐れについて相談したり、はっきりと見えないすべてを解決しようとしたらすると、困惑はますます深まるばかりです。しかし、私たちが無力感を感じながら神のもとへ行くと、

私たちはありのままに依存し、謙虚で信頼する信仰をもって、知識が無限であり、被造物のすべてをご覧になり、ご自身の意志と御言葉によってすべてを支配される神に自分の必要を知らせます。神は私たちの叫びに答えることができ、答えてくださるでしょう。、私たちの心に光を灯します。誠実な祈りを通して、私たちは無限の心とつながることができます。私たちは同時に、私たちの救い主の顔が慈悲と愛をもって私たちに向かって曲がっているという顕著な証拠を持っていないかもしれませんが、しかしそれはまさにその通りです。私たちは神の目に見える触れ合いを感じないかもしれませんが、神の御手は愛と同情に満ちた優しさをもって私たちの上にあります。

2) 兄弟たちの罪を許さなかったらどうなりますか?マタイ 6:15。

「しかし、もしあなたが人々の罪過を赦さないなら、あなたがたの父もあなたの罪過を赦さないでしょう。」

神の憐れみと祝福を求めるとき、私たちは心の中に愛と許しの精神を持たなければなりません。「私たちが債務者を赦すように、私たちの負債も赦してください」(マタイ 6:12)と祈りながら、どうすれば和解の精神を育むことができるでしょうか。祈りが聞いてもらえることを期待するなら、自分自身が許されることを期待するのと同じ方法で、同じ範囲で他の人を赦さなければなりません。

粘り強く祈り続けることが受け入れられる条件とされています。信仰と経験において成長したいなら、私たちは常に祈らなければなりません。私たちは「絶えず祈り」、「祈り続け、感謝をもって見守り」(ロマ 12:12; コロサイ 4:2)なければなりません。ペテロは信者たちに「身を慎んで注意深く祈りなさい」と勧めています(1ペテロ4:7)。

パウロは、「しかし、どんなことにおいても、感謝をもって祈りと願いによって、あなたの願いを神の御前に知らせなさい」(フィリピ4:6)と教えています。「しかし、愛する人よ、聖霊によって祈りなさい。神の愛の中に留まりなさい」とユダは言います(ユダ20,21)。絶え間ない祈りは魂と神との途切れることのない結合であり、それによって神の命が私たちの人生に流れ込みます。そして私たちの生活から、純粋さと聖さが神へと流れていきます。

祈りには熱心が必要です。何もさせないでください。イエスとあなた自身の魂との間のオープンな交わりを維持するためにあらゆる努力をしてください。あらゆる機会を求めて、通常祈りが捧げられている場所に行きましょう。神との交わりを真に求めている人たちは、自分の義務を忠実に果たし、注意を払い、得られるすべての恩恵を享受しようと熱心に祈禱会に参加します。

彼らはあらゆる機会を利用して、天からの光を受け取ることができる場所に身を置きます。

木曜日

1) ダニエルは一日に何回、プライベートで神に祈りましたか。ダニエル 6:10。

「ダニエルは、以前そうしていたように、日に三回、神の前にひざまずいて祈り、感謝をささげました。」

私たちは家族の輪の中で祈らなければなりません。そして何よりも、私たちは次のことを無視してはなりません。秘密の祈り、それは魂の命だから。祈りが無視されている間、魂が繁栄することは不可能です。家族の祈りや公の祈りだけでは十分ではありません。孤独の中で、神の探究のまなざしに魂が開かれるようにしてください。秘密の祈りは、祈りを聞いてくださる神だけが聞いてくださるべきです。いかなる詮索好きな人も、そのような請願に煩わされるべきではありません。密かな祈りの中で、魂は環境の影響や動揺から解放されます。静かに、しかし熱心に、彼女は神に近づきます。ひそかに物事を見て、心から来る祈りを聞くために耳を開いておられる神から発せられる影響力は、穏やかで永続的なものとなるでしょう。穏やかで単純な信仰によって、魂は神との交わりを維持し、神の光線を吸収してサタンとの戦いの中で魂を強化し、維持します。神は私たちの力の塔です。

自分の部屋で祈りなさい。そして、日々の仕事に取り組むとき、何度も心を神に向けて高めてください。これがエノクが神とともに歩んだ方法です。これらの静かな祈りは、恵みの御座の前で貴重な香のように恵みの御座に昇ります。このように神に心を向けている人をサタンは打ち負かすことはできません。

神に嘆願を捧げるのに不適切な時間や場所はありません。心からの祈りの精神で心を高めることを妨げるものは何もありません。街路の群衆の中で、商取引の最中でも、ネヘミヤが王の前で願い事を提出したときのように、私たちは神に請願を上げ、神の導きを祈ることができます。

アルタクセルクセス。祈りのクローゼットはどこにでもあります。私たちは常に心の扉を開き、イエスが来られて私たちの魂の中に天の客人として住んでくださるよう、私たちの招きを高めなければなりません。

私たちの周りには汚染され、腐敗した大気があるかもしれませんが、私たちはこの瘴気を吸う必要はなく、天国の純粋な環境で生きることができます。誠実な祈りを通して魂を神の御前に引き上げることによって、私たちは不純な想像や不浄な考えへのあらゆる扉を閉じることができます。神の助けと祝福を受け入れるために心を開いている人は、地上よりも神聖な雰囲気の中を歩き、天との絶え間ない交わりを持つでしょう。

私たちはイエスについてより明確な見方を持ち、永遠の現実の価値をより広く理解する必要があります。神聖さの美しさは神の子供たちの心を満たさなければなりません。そしてこれが成就するためには、私たちは天上の事柄についての神の啓示を求めなければなりません。

神が私たちに天国の雰囲気息吹を与えてくださるように、魂を拡大し高めましょう。私たちは、あらゆる予期せぬ試練の中で、同じように自然に神に思いを向けられるほど神の近くに留まることができるでしょう。花は太陽の方を向きます。

自分の必要、喜び、悲しみ、心配、恐れを神の前に置いてください。神に過大な負担をかけることはできません。神を疲れさせることはできません。自分の頭の毛を数える人は、自分の子供たちの必要に無関心ではありません。「…主は優しい憐れみと憐れみに満ちておられるからです」(ヤコブ 5:11)。イエスの愛に満ちた心は、私たちの悲しみ、そして私たちがそれを表現することによっても感動されます。あなたの心を当惑させるすべてのものを主のもとに持ってきてください。神が背負えるほど大きすぎるものはないのですから、

彼は世界を維持し、宇宙のあらゆる事柄を支配します。私たちの平和に何らかの形で関係するものは、神にとって重要ではありません。私たちの経験には、神が読めないほど暗い章はない。神にとって、解決するのが難しすぎる困難はありません。神の最も小さい子供たちに災いが降りかかることはあり得ず、彼らの魂を悩ませる不安も、喜びの叫びも、心からの祈りも、天の御父が気づかず、あるいは御父の直接の関心を引かないものにはなりません。神は「心の傷ついた者を癒し、その傷を包んでくださる」(詩147:3)。神とそれぞれの魂との関係は、神が愛する御子を与えた魂が他にいないかのように、非常に明確かつ完全です。

金曜日

イエスはこう言われました。「あなたはわたしの名によって尋ねなさい。わたしは、あなたのために父に求めるとは言いません。父ご自身があなたを愛しているからです。」(ヨハネ16:26,27)。「わたしはあなたを選んだ……あなたがわたしの名において父に求めるものは何でも、父はそれを与えてくださるであろう。」(ヨハネ15:16)。しかし、イエスの名によって祈ることは、単に祈りの最初と最後にイエスの名を唱えるだけではありません。それは、私たちがイエスの約束を信じ、イエスの恵みの中に休み、イエスの御業を行うときに、イエスの心と霊に従って祈ることです。

1) キリストの使命は何でしたか? マタ 20:28。

「人の子は仕えられるために来たのではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのです。」

神は、私たちが隠者や修道士になって、礼拝行為に専念するためにこの世から身を引くことを意図しておられません。人生はキリストのように、山と群衆の間になければなりません。祈ることだけをしている人は、すぐに祈ることをやめてしまうか、祈りが形式的で日常的なものになってしまいます。人間が社会生活から離れ、キリスト教徒の義務の領域から離れ、十字架を背負うことから身を引くとき、自分たちのために熱心に働いてくれた主のために熱心に働くことをやめると、彼らは祈りの本質的な対象を失い、献身的な動機を失います。あなたの祈りは個人的で利己的なものになります。彼らは人類の必要やキリストの王国の建設のために祈ることができず、協力する力を求めます。

主への奉仕において互いに強め、励まし合う特権を無視するのは、私たちにとって損失です。神の言葉の真理は、心の中でその活力と重要性を失います。私たちの心はその神聖な影響によって啓発され、目覚めることをやめ、霊性が低下します。私たちはクリスチャンとして、お互いに対する同情の欠如によって人間関係において多くを失います。自分を閉ざす人は、主が彼に与えられるように設計された場所を満たしていません。私たちの性質の社会的要素を適切に培うことは、私たちに他者への同情心をもたらし、自分自身を成長させ、神への奉仕においてより強くなる手段となります。

2) 神は、神の子供たちが霊的に成長するために、彼らの間にどのような関係があることを期待していますか? コロサイ 3:12-16。

「ですから、神に選ばれた聖なる者、愛される者として、深い憐れみ、優しさ、謙虚さ、優しさ、辛抱強さを身に着け、もし誰かが他人に対して不満を持っているなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。ちょうどキリストがあなたを赦してくださったように。「あなたもそうしてください。そして何よりも、完全の絆である愛を身にまどってください。そして、あなたも一つの体として召された神の平和が、あなたの心を支配し、感謝しましょう。キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたがたのうちに豊かに宿り、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え合い、戒め合い、心の中で恵みをもって主に向かって歌いなさい。」

もしクリスチャンたちが団結し、神の愛と救いの尊い真理を互いに語り合うなら、彼ら自身の心は元気づけられ、お互いも元気づけられるでしょう。私たちは天の父から日々もっと学び、神の恵みの新たな経験を得る必要があります。そうすれば私たちは神の愛について語りたいと願うようになり、そうするうちに私たち自身の心は温かくなり、励まされるでしょう。もし私たちが自分自身についてではなく、イエスについてもっと考え、話し合えば、私たちはイエスの臨在をもっと感じる事ができるでしょう。

神が私たちが気遣ってくださったという証拠があれば、私たちは常に神のことを思いに留め、喜んで神について話し、神を賛美するでしょう。私たちが一時的なものについて話すのは、それらに興味があるからです。私たちが友達のことを話すのは、彼らを愛しているからです。私たちの喜びも痛みもそれらと結びついています。しかし、私たちは地上の友人を愛することよりも、神を愛することのほうが無限に大きな理由を持っています。そして、私たちのすべての考えの中で神を第一に考え、神の善良さについて語り、神の力について語ることは、この世で最も自然な事であるはずで、これほど豊かな賜物を私たちに与えてくださったとき、彼らが私たちの思いを吸収し、それをとても大切に、私たちが神に与えるものが何も残らないようにするというのが神の計画ではなかったのでしょうか。これらは常に私たちに主を思い出させ、天の恩人への愛と感謝の絆で私たちを結びつけなければなりません。私たちは地球にとっても愛着を持って生きています。私たちは上にある聖所の開いた扉に目を上げなければなりません。そこでは神の栄光の光がキリストの顔に輝いています。キリストは「キリストを通して神のもとに来る者たちを徹底的に救うこともできます」(ヘブル7)。.:25)。

土曜日

1) 私たちはどのような精神で主の働きに従事すべきでしょうか?コロサイ 3:17。

「そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行いなさい。

彼の事について父なる神に感謝します。」

私たちは「神の慈しみと人の子らに対する神の素晴らしい御業について」神をもっと讃美すべきです(詩107:8)。私たちの献身は、ただ尋ねたり受け取ったりするだけで構成されてはなりません。自分のニーズについて常に考え、受け取った恩恵について決して考えないようにしましょう。私たちはあまり祈らず、感謝の気持ちもさらに乏しくなります。私たちは常に神の憐れみを受けていますが、神が私たちのためにしてくださったことに対して、どれほど感謝の気持ちを表し、神を賛美することがどれほど少ないことでしょう。

古代、イスラエルが主の礼拝のために集まったとき、主はこう命じられました。
あなたはあなたの神、主の御前で食事をし、あなたも家もすべて、あなたの神、主があなたを祝福してくださったことを喜ぶであろう」(申命記12:7)。
神の栄光のために行われることは、悲しみや憂鬱とともにではなく、喜び、賛美と感謝の賛美をもって行われなければなりません。

私たちの神は優しく慈悲深い父であり、その奉仕を苦痛で悲しいものと考えべきではありません。主を礼拝し、主の働きに参加することは喜びであるべきです。神は、これほど偉大な救いを用意してくださったご自分の子供たちに、あたかも厳しく要求の厳しい任務遂行者であるかのように振る舞うことを望んでおられません。イエスは彼らの親友であり、彼らがイエスを崇拝するとき、イエスは彼らとともにおられ、彼らを祝福し、慰め、彼らの心を喜びと愛で満たしてくださることを望んでおられます。主は御自分の子供たちが主への奉仕に慰めを見出し、苦難よりも喜びを見出してくださることを望んでおられます。神は、礼拝に来る人々が神の配慮と愛についての貴重な思いを持ち、日常生活のすべての仕事に喜びを感じ、すべてのことに正直かつ忠実に対処する恵みを得ることができるようにと望んでおられます。

私たちは十字架の周りに集まらなければなりません。キリスト、そして十字架につけられたキリストは、私たちの熟考の対象であり、会話の対象であり、最も楽しい感情の対象であるべきです。私たちは神から受けるあらゆる祝福を心に留め、神の大きな愛を理解したとき、私たち一人一人のために十字架に釘付けにされた手にすべてを委ねるべきです。

魂は賛美の翼に乗って天国に近づくことができます。天の宮廷では賛美歌と歌によって神が崇拝されており、私たちは感謝の気持ちを表現することによって、それは私たちを天の軍勢への崇拝に近づけます。「感謝の犠牲を私にささげる人は神の栄光を現します」(詩50:23)。「感謝と音楽の声」を持って、敬虔な喜びを持って創造主のみ前に行きましょう(イザヤ書 51:3)。

レッスン 12 - 疑いをどうするか

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 12 章 - エレン G. ホワイト。

黄金の詩: 「私が言ったとき、私の足はよろめきました。主よ、あなたの慈しみが私を支えてくださいました。」
詩篇 94:18。

日曜日

1) ヨブは神から理解できないことを聞いた後、何と言いましたか。ヨブ記 42:1-4。

「それからヨブは主に答えて言った、「あなたにはすべてのことができ、あなたの思いは何一つ妨げられないことを私は知っています。あなたと言うと、知識もなく助言を隠す者とは誰ですか。そこで私は理解できないことについて話しました。」 「私にとって素晴らしいこと、そして私が理解できなかったこと。だから私の話を聞いてください。そうすれば私は話します。私はあなたに尋ねます、そしてあなたは私に教えます。」

多くの人、特にクリスチャン生活に不慣れな人は、懐疑的な考えに悩まされることがあります。聖書には彼らが説明できない、あるいは理解できないことがたくさんあり、サタンはそれらを利用して、神からの啓示としての聖書に対する彼らの信仰を揺るがします。彼らはこう尋ねます。「どうすれば正しい道を知ることができるでしょうか？」もし聖書が実際に神の言葉であるなら、どうすればこれらの疑いや困惑から解放されるのでしょうか？」

主は私たちに、信仰の根拠となる十分な証拠を与えずに信じるように求められることは決してありません。神の存在、神の性格、神の言葉の真実はすべて、私たちの理性に訴えかける証言によって確立されます。この証言はたくさんあります。

しかし、神は疑いの可能性を決して排除しません。私たちの信仰は実証ではなく証拠に基づいていなければなりません。疑いたい人にはその機会があるでしょう。一方、真実を知りたいと本当に願う人は、信仰の根拠となる証拠をたくさん見つけるでしょう。

有限な精神が無限の存在の性質と動きを完全に理解することは不可能です。最も鋭い理解者、最も高度な教育を受けた精神にとって、聖なる存在は常に謎に包まれたままでなければなりません。「神のアルカナを解き明かしますか、それとも全能者の完璧さまで浸透しますか？天の高みが神の知恵であるように。何ができますか？彼女は深淵よりも深い。何がわかるの？」（ヨブ記 11:7 と 8）。

使徒パウロはこう叫びます。「ああ、神の知恵と知識の富の深さよ！」神の裁きは何と調べがたく、神のやり方は何と不可解なのでしょう。」（ロマ 11:33）。しかし、「雲と暗闇が神を取り囲んでいます」が、「義と裁きが神の王座の基礎です」(詩97:2)。私たちは神の私たちに対する扱いと、神が働かれる理由を非常に理解できるので、比類のないものを見分けることができます。

愛と慈悲、無限の力とひとつに。私たちは神の目的を、私たちの利益のために必要な限り理解することができます。そしてさらに、全能の御手、愛に満たされた心に信頼を寄せてください。

「秘密なことは私たちの神、主のためであるが、明らかにされることは永遠に私たちと私たちの子供たちのためであり、この律法のすべての言葉を成就するためのものである。」
申命記 29:29。

月曜日

1) 聖書は、神が人間には理解するのが難しいいくつかのことを行うと報告した後、神について何と言っていますか? いさ。 45:15。

「まことに、あなたはご自身を隠す神、イスラエルの神、救い主です。」

神の言葉は、その神聖な著者の性格と同様に、有限な存在には決して完全には理解できない謎を提示します。世界への罪の侵入、キリストの受肉、再生、復活、そして聖書に示されている他の多くの主題は、人間の精神で説明することも、完全に理解することもできないほど深すぎる謎です。しかし、私たちは神の摂理の奥義を理解していないので、神の言葉を疑う理由はありません。

自然界では私たちには理解できない謎が常に存在します。生命の最も単純な形には、最も賢明な哲学者でも説明できない問題が存在します。どこにでも私たちの知識を超えた驚異があります。それでは、霊的な世界にも私たちには理解できない神秘があることに驚くべきでしょうか。困難はひとえに人間の心の弱さと狭さにあります。神は聖書の中で神の神性を示す十分な証拠を与えてくださっています。神の摂理の謎をすべて理解することはできないからといって、神の言葉を疑うべきではありません。

使徒ペテロは、聖書には「理解するのが難しい事柄があり、無知で不安定な者たちはそれを歪め、……自らを破滅に導く」と述べています（IIペテロ3:16）。聖書の困難さは、懐疑論者によって聖書に対する議論として引用されてきました。しかし、それどころか、これらは彼らの神聖な靈感を示す強力な証拠となります。もしその中に私たちが容易に理解できることだけが主について何も書かれていなかったとしたら。もし神の偉大さと威厳が有限の知力によって理解できるのであれば、聖書は神の権威の紛れもない証拠を提示するものではないでしょう。明らかにされたテーマの偉大さと神秘は、それが神の言葉であるという信仰を呼び起こすはずで

聖書は、人間の心の必要と欲望に完璧に適応しながら、簡潔に真理を明らかにしているため、最も教養のある人々に賞賛と魅了を呼び起こし、同時に謙虚で無知な人々が道を見分けることを可能にしています。救いの。しかし、これらの宣言された単純な真理は、非常に高尚で、範囲が非常に広大で、人間の理解を無限に超えている問題に関するものであるため、神が宣言したという理由だけで私たちはそれらを受け入れることができます。このようにして、救いの計画が私たちの前に広げられ、各人が神に対する悔い改めと私たちの主イエス・キリストへの信仰においてとるべきステップを知ることができるようになります。

神が示された方法で救われるためです。しかし、これらの容易に理解できる真理の下には、神の栄光の隠れ場所である謎が横たわっています。それは探求する心を圧倒する謎です。しかし、それらは真実の誠実な探求者に敬意と信仰を抱かせます。彼は聖書を研究すればするほど、それが生ける神の言葉であるという確信を深め、人間の理性は神の啓示の威厳の前にひれ伏します。

火曜日

1) 私たちは神とその道を完全に理解できますか? いさ。 40:28。

「あなたは知らないのですか、聞いたことがありませんか。永遠の神、主、地の果ての創造者は疲れもせず、疲れることもありません。神の理解を探る必要はありません。」

聖書の偉大な真理を完全に理解することはできないと認識することは、有限な精神には無限を理解する能力がないことを認めることと同じです。その人間は、人間としての知識が限られているので、全知の目的を理解することができません。

懐疑論者や異教徒は、その神秘のすべてを理解することができないため、神の言葉を拒否します。そして、聖書を信じていると公言する人全員がこの点で危険を免れないわけではありません。使徒はこう言います。「兄弟たち、あなたがたのうちに、生ける神から遠ざかる曲がった不信仰の心がないように気をつけなさい」（ヘブライ 3:12）。聖書の教えを注意深く検討し、聖書の中で明らかにされている限り「神の深み」（1コリント 2:10）を探求するのは正しいことです。「秘密のものは私たちの神、主のものである」一方、「啓示されたものは私たちのものである」（申命記 2:30）。

29:29) 。しかし、サタンの仕事は心の調査力を歪めることです。聖書の真理についての考察には、ある種の誇りが混ざっており、そのため、聖書のすべての部分を満足のいくように説明できないと、人はせっかちになり、イライラを感じます。彼らにとって、靈感による言葉を理解していないことを認識することは、非常に屈辱的なことです。彼らは、真理が自分たちにとって都合が良いと神が見るまで辛抱強く待つつもりはありません。彼らは、聖書を理解するためには自分たちの助けなしの人間の知恵で十分であると感じており、それができないと事実上聖書の権威を否定します。聖書に由来すると一般に理解されている理論や教義の多くは聖書の教えに基づいておらず、実際には一般的な靈感の方法に反していることは事実です。これらのことは、多くの人々に疑問と困惑の原因となりました。しかし、それらは神の言葉に起因するものではなく、むしろ人間が神の言葉に対して行う倒錯に起因するものです。

もし被造物が神と神の働きを完全に理解することが可能であれば、その時点に到達した後、彼らにとっては真理に関して発見できるものは何もなく、知識の進歩も精神や心の発達もなくなるでしょう。神はもはや至高ではなくなるでしょう。そして人間は知識と成果の限界に達すると進歩を止めるだろう。そうではないことを神に感謝しましょう。神は無限です。彼の中には「知恵と知識のすべての宝」が見出されます（コロサイ 2:3）。そして人類は永遠に、神の知恵、善良さ、力の宝を決して使い果たすことなく、探求し、学び続けるかもしれない。

水曜日

1) どうすれば私たちは神の言葉を理解できるのでしょうか?コリント第一 2:10,12。

「しかし、神は御霊によってそれらを私たちに明らかにしてくださいました。御霊は万物、神の深みにさえ浸透するからです…しかし、私たちが受けたのは世の霊ではなく、神から出た御霊でした。それは、私たちが自分のものであることが分かるようにするためでした」。神から無償で与えられたものです。」

神は、この世であっても、神の言葉の真理が常に神の民に明らかにされることを望んでおられます。この知識を得る手段は1つだけです。私たちは神の言葉を理解することができますが、それは御言葉が与えられた御霊の照明によってのみです。「神の御霊以外には神のことは誰も知りません。」「御霊はすべてのものを、神の深みをも調べてくださるからです」(1コリント2:11,10)。そして救い主はご自分の追随者たちへの約束でした。「真理の御霊が来るとき、彼はあなたをすべての真理に導きます…なぜなら彼は私のものを受け取り、それをあなたに宣言するからです。」(ヨハネ16章) :13および14)。

神は人間が推論能力を発揮することを望んでいます。そして聖書の研究は、他の研究ではできないほどに心を強め、高めます。しかし、私たちは理性を神格化することに注意しなければなりません。理性は人間の弱さと弱さの影響を受けやすいのです。聖書が私たちの理解の限界に閉ざされ、最も明確な真理が理解されなくなることが望まないのであれば、幼子のような単純さと信仰を持ち、進んで学ぶ姿勢を持ち、聖霊の助けを求めなければなりません。神の力と知恵、そして神の偉大さを理解する能力が私たちにはないという感覚は、私たちに謙虚さを与え、あたかも聖なる畏怖の念を持って神の御前に足を踏み入れるかのように、敬意を持って神の御言葉を聞くべきです。私たちが聖書にアクセスするとき、理性は自分自身よりも偉大な権威を認識しなければならず、心と知性は偉大な「I AM」にひれ伏さなければなりません。

一見難しいことや曖昧なことがたくさんありますが、神はそれを理解しようとする人々に明確かつ単純にしてくれるでしょう。しかし、聖霊の導きがなければ、私たちは聖書を曲解したり、誤解したりすることに常にさらされます。聖書を読んでも何の益もなく、多くの場合、プラスの害をもたらします。神の言葉が敬意も祈りもなしに開かれるとき、考えや愛情が神に定まっていなかったとき、あるいは神の意志と調和していないとき、心は疑いで暗くなります。そして聖書そのものの研究においても、懐疑論はますます強くなります。敵は思考を支配し、正しくない解釈を提案します。人間が言葉と行いによって神と調和することを求めているときは、たとえどれほど準備ができていても、聖書の理解を誤る可能性があり、聖書の説明を信頼するのは安全ではありません。矛盾点を見つけるために聖書を参照する人には霊的な識別力がありません。視覚が歪んでいると、彼らは実際に存在しているものに対して疑いや不信感を抱く多くの原因を見つけます。

明確でシンプル。

木曜日

1) 不信者は神からどのように見なされますか?ヘブ。 3:18,19。

「では、不従順な者以外には彼らが安息に入らないと誰に誓ったのでしょうか。そして、彼らが不信仰のゆえに安息に入ることはできなかったことがわかります。」

疑念や懐疑の本当の原因は、偽装されていても、ほとんどの場合、罪への愛です。神の言葉の教えや制限は、高慢で罪を愛する心には歓迎されず、その要求に従おうとしない人は、その権威を疑いたくなるものです。真実に到達するためには、それを知りたいという誠実な欲求と、喜んで従おうとする心がなければなりません。この精神で聖書の研究に来る人は皆、それが神の言葉であるという豊富な証拠を見つけ、救いに至る賢明な神の真理の理解を得ることができるでしょう。

キリストはこう言われました。「だれでもご自分の意志を行ないたいなら、その人は教義を知っているでしょう。」

(ヨハネ 7:17)。理解できないことに疑問を抱いたり、悪口を言ったりするのではなく、すでに自分を照らしている光に注意を払いましょう。そうすれば、より大きな光を受け取ることができるでしょう。キリストの恵みによって、あなたが理解できるようになったすべての義務を果たしなさい。そうすれば、あなたは今疑問に思っている義務を理解し、果たせるようになるでしょう。

金曜日

1) 使徒ヨハネは経験によってイエスを知っていましたか、それともただ聞いただけでしたか?私はジョンです。 1:1-3。

「私たちが目で見たこと、見たこと、手で触れたことは命の言葉です（命が現われ、私たちはそれを見て、私たちはそれを証しし、私たちはあなたに永遠の言葉を宣言します）父と共にあって私たちに現された命）、私たちが見聞きしたことをあなたたちに宣言します。」

最も教育を受けた人でも、最も文盲な人でも、誰でも参加できる、経験を試すテストがあります。神は私たちに、御言葉の真実性と約束の誠実さを自分自身で検証するよう勧められます。彼は私たちにこう勧めています。「主が善い方であることを味わいなさい」（詩 34:8）。他人の言葉に頼るのではなく、自分自身で証明しなければなりません。彼はこう宣言しています。「求めなさい。そうすれば、与えられます」（ヨハネ16:24）。あなたの約束は必ず果たされます。彼らは決して失敗しませんでした。彼らは決して失敗することができません。そして、私たちがイエスに近づき、イエスの満ち足りた愛を喜ぶにつれて、私たちの疑いや暗闇はイエスの臨在の光の中で消え去るでしょう。

使徒パウロは、「彼（神）は私たちを闇の帝国から解放し、私たちをご自身の愛の御子の王国に移してくださいました」（コロサイ1:13）と述べています。そして、死から命に移った人は誰でも、「神が真実であることを証明する」ことができます（ヨハネ 3:33）。彼は次のように証言できます。「私には助けが必要でしたが、イエスによってそれを見つけました。あらゆる二一ズがあった

供給されて、私の魂の飢えは満たされました。そして今、私にとって聖書はイエス・キリストの啓示です。なぜ私がイエスを信じているのか尋ねますか？ - なぜなら、彼は私にとって神聖な救い主だからです。なぜ私は聖書を信じているのでしょうか？ - なぜなら、彼女が私の魂にとっての神の声であることがわかったからです。」私たちは、聖書が真実であり、キリストが神の子であるという証を自分の中に持つことができます。私たちは人為的に作られた寓話に従っていないことを知っています。

土曜日

1) イエスを受け入れるとき、私たちは真理全体を一度に学ぶのでしょうか、それとも知識を深めるべきでしょうか？コロサイ 1:10。

「それは、あなたがたが主の前にふさわしく歩み、すべてのことにおいて主を喜ばせ、あらゆる良い行いで実を結び、神についての知識を増すためである。」

ペテロは兄弟たちに、「私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において」成長するように勧めました（IIペテロ3:18）。神の民が恵みの中で成長しているとき、彼らは常に神の言葉をより明確に理解できるようになります。彼らはその神聖な真実の中に新たな光と美しさを識別するでしょう。これはあらゆる時代の教会の歴史において真実であり、それは最後まで真実であり続けるでしょう。「しかし、義人の道は夜明けの光のようであり、日が完全になるまでますます明るく輝きます。」（箴言 4:18）

信仰によって、私たちは未来に目を向け、人間の能力が神とすべての能力を統合して知性を発展させるという神の約束をしっかりと守ることができます。光の源と直接接触する魂の能力。私たちは、神の摂理において私たちを困惑させてきたすべてのことが明らかにされるという事実を喜ぶことができます。理解するのが難しいことは説明が見つかるでしょう。そして、私たちの有限な精神が混乱と壊れた目的だけを発見したところに、私たちは最も完璧で美しい調和を見るでしょう。「今のところ、私たちは鏡の中のよう暗く見えます。それから私たちは直接会います。今、私は部分的に知っています。そうすれば、私が知られているように、私も知るでしょう」（コリント13:12）。

レッスン 13 - 主にあって喜ぶ

基本テキスト: 『キリストへのステップ』第 13 章 - エレン G. ホワイト。

黄金聖句: 「義なる者よ、主にあって喜び、喜びなさい。心の正しい者よ、すべて喜び歌え。」詩篇 33:1。

日曜日

1) 私たちは何に召されているのでしょうか? マタ 5:14,16。

「あなたは世の光です…だから、人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父を讃えるように、あなたの光を人々の前で輝かせてください。」

神の子供たちは、主の慈しみと憐れみを示すキリストの代表者として召されています。イエスが御父の真のご性質を私たちに明らかにされたのと同じように、私たちもキリストの優しく慈悲深い愛を知らない世界にキリストを明らかにしなければなりません。「あなたがわたしを世に遣わしたように、わたしも彼らを世に遣わしました」とイエスは言いました。「わたしは彼らの中におり、あなたはわたしの中にいます…それは、あなたがわたしをお遣わしになったことを世が知るためです」(ヨハネ17:18,23)。使徒パウロはイエスの弟子たちに、「あなたがキリストの手紙であることは明らかであり」、「すべての人に知られており、読まれている」(IIコリント3:3および2)と述べています。

イエスは子供たち一人ひとりに世界に手紙を送ります。あなたがキリストの追隨者であれば、キリストはあなたが住んでいる家族、村、通りに手紙を送ります。イエスはあなたの内に生まれ、イエスをよく知らない人々の心に語りかけたいと望んでおられます。神の働きを通して神の愛が分かりません。しかし、もしあなたがイエスの真の代表者であれば、彼らはあなたを通じてイエスの善良さを理解するように導かれ、イエスを愛し仕えるよう説得されるかもしれません。

クリスチャンは天国への道の照明者として置かれており、キリストから自分たちを照らす光を世界に反映させる役割を果たしています。彼らの人生と性格は、彼らを通して他の人がキリストとその奉仕について正しい概念を持てるようなものでなければなりません。

2) クリスチャンはどのようにして主に仕えることに専念しますか? 詩 100:2。

「喜びをもって主に仕え、歌いながら主に身をささげなさい。」

私たちがキリストを代表するなら、キリストの奉仕が実際に魅力的に見えるようにするでしょう。自分の魂に影と悲しみを重ね、つぶやき、不平を言うクリスチャンは、神とクリスチャンの生活についての誤った表現を他人に与えていることとなります。彼らは、神はご自分の子供たちが幸せになることを喜ばれていないという印象を与え、このことで私たちの天の父についての誤った証言を広めています。

サタンは神の子らを不信仰と絶望に導くことができると大喜びします。私たちが神を信頼せず、神の善意と私たちを救う力を疑っているのを見て、神は喜んでいます。神は、神がご自身の摂理によって私たちに危害を加えるだろうと私たちに感じさせるのが大好きです。主が同情心や憐れみに欠けていると表現するのはサタンの仕業です。それは神についての真実を歪めます。彼は神についての誤った考えで想像力を満たし、私たちの心を天の父についての真実に固定させる代わりに、私たちはしばしばサタンの虚偽について考え、神を信頼せず、神に対して不平を言うことで神の名誉を傷つけます。サタンは常に宗教生活を影にしようとします。神はそれが私たちにとって面倒で難しいものであるように思わせたいのです。そして、クリスチャンが自分の生活の中でこの宗教のビジョンを提示するとき、彼は不信仰を通してサタンの虚偽を支持していることとなります。

月曜日

人生の道を歩んでいる多くの人は、自分の間違い、欠点、失望についてあまりにも長い間考え続けており、彼らの心は悲しみと落胆でいっぱいです。

私がヨーロッパにいた間、この仕事をしていて深い悩みを抱えていたある姉妹が、励ましの言葉を求めて私に手紙をくれました。翌日の夜

あなたの手紙を読んでいると、私は庭園にいて、その庭園の所有者らしき人が私をその小道に沿って導いてくれている夢を見ました。私が花を摘み、その香りを楽しんでいたとき、隣を歩いていたこの姉妹が、行く手を阻んでいる醜くてとげのある植物に私の注意を促しました。そこには彼女がいて、嘆き悲しんでいました。彼女はガイドに従って道を歩いていたのではなく、いばらとアザミの間を歩いていました。"おお！"「この美しい庭園がいばらで汚されるのは残念ではないでしょうか？」と彼女は嘆いた。

するとガイドはこう言いました。「とげは脇に置いておいてください、傷つけるだけです。バラ、ユリ、カーネーションを収穫してください。」

1) 詩編作者はなぜすべての人に主を賛美するよう勧めているのですか。詩 117:1,2。

「すべての国民よ、主を讚美せよ。すべての民よ、主を讚美せよ。わたしたちに対する主の慈しみは大きく、主の真実は永遠に続くからである。」

あなたの経験に明るい兆しはありますか？神の御霊に应えて心が高鳴る貴重な瞬間を経験したことはありませんか？

自分の人生経験を振り返ってみると、楽しいページがいくつかあると思いませんか？神の約束は、香りのよい花のように、あなたが歩む道を一歩ずつ歩むごとに成長していくものではないでしょうか。そして、彼女の美しさと優しさがあなたの心を喜びで満たさないようにしませんか？

アザミやとげはあなたを傷つけ、傷つけるだけです。もしあなたがこれらのものだけを集めて他の人に提示するならば、あなたは神の善意を軽蔑しているだけでなく、あなたの周りの人がいのちの道を歩むことを妨げていることになるでしょうか？

前世の不快な記憶、つまりその咎や失望をすべて集めて、落胆に打ちひしがれるまでそれについて語り、嘆くのは賢明ではありません。落胆した魂は暗闇で満たされ、自分の魂から神の光を遮断し、他の人の行く手に影を落とします。

あなたが私たちに提示してくれた明るい写真を神様に感謝します。神の愛の祝福された約束をすべてまとめて、絶えず見つめていきましょう。神の子は父の王座を離れ、人間をサタンから救い出すために、自らの神性を人間性で覆いました。私たちに代わって彼の勝利は人間に天国を開き、神が彼の栄光を明らかにする部屋を人間の視覚に明らかにします。墮落した種族は、罪によって陥落した破滅の深淵から復活し、再び無限の神とのつながりをもたらす、私たちの救い主への信仰を通して神の試練に耐え、キリストの義を身にまとい、彼の王座に高められた。これらは主が私たちに熟考することを望んでおられる絵です。

火曜日

1) 神を悲しませないようにするために、私たちがしてはいけないことは何ですか？エフェ。 4:29,30。

「不健全な言葉をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く者に恵みを与えるために、啓発に良い言葉だけを口から出してはいけません。そして、あなたが救いの日のために印を押されている神の聖霊を悲しませてはなりません。」

私たちが神の愛を疑い、神の約束を信じない傾向があるとき、私たちは神を辱め、神の聖霊を悲しませることになります。母親は、子供たちの利益を予測し、子供たちに安心感を提供することに生涯の努力を費やしてきたのに、子供たちが幸せになってほしくないかのように、いつも自分に不平を言ったらどう感じるのでしょうか。彼らが彼の愛を疑ったとしましょう。それは彼の心を傷つけるだろう。

自分の子供たちからこのような扱いを受けたら、親はどう感じるのでしょうか。そして、私たちが命を得るためにご自分の独り子を与えてくださった神の愛を私たちが信じていないとき、天の父は私たちをどのように考慮するのでしょうか？使徒はこう書いています。「ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してください。ご自分の御子とともに私たちにすべてのものを無償で与えてくださるではありませんか。」（ロマ 8:32）。しかし、言葉ではなくても、行動で次のように言っている人がどれほど多いことでしょうか。もしかしたら、私は他の人を愛しているかもしれませんが、彼は私を愛していないのです！」

これらすべてはあなた自身の魂を傷つけることとなります。なぜなら、あなたが発するあらゆる疑いの言葉はサタンの誘惑を招くからです。それはあなたの中で疑う傾向を強めており、奉仕する天使たちをあなたから遠ざけています。サタンが試みる時

あなたは、疑いや暗闇の言葉を言わないでください。彼らの提案にドアを開けることを選択した場合、あなたの心は不信感と反動的な疑問でいっぱいになるでしょう。自分の感情を表現すると、表現したすべての疑問が反応するだけでなく、

それは自分自身だけでなく、他の人の人生の中で芽を出し、実を結ぶ種です。そして彼の言葉の影響を打ち消すことは不可能かもしれません。あなた自身はサタンの誘惑と欺瞞の期間から立ち直ることができるかもしれませんが、あなたの影響に振り回されてきた他の人たちは、あなたが示唆した不信仰から自由になることができないかもしれません。霊的な力と命を与えるものだけを話すことがとても重要です。

天使たちは、あなたが天のマスターについて世界にどのような報告をしているかを聞いています。あなたの会話を、父の前であなたのために執り成すために生きておられる方との会話にしましょう。友人の手を握るときは、神の賛美があなたの唇と心の中にあるようにしてください。そうすればあなたの思いはイエスに引き寄せられます。

水曜日

1) 問題のために落ち着かず不安になるべきでしょうか?私たちはどこに焦点を当てて考えるべきでしょうか?フィリ。4:6-8。

「何事も心配してはなりません。しかし、感謝を込めて、祈りと願いによって、あなたの願いをすべてにおいて神に知らせてください。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平安が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と思いを守るでしょう。」最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正義なこと、純粋なこと、美しいこと、称賛に値すること、何か美徳があるなら、そして賞賛があるなら、それについて考えてみてください。」

誰もが試練や耐え難い不安、抵抗するのが難しい誘惑を抱えています。自分の悩みを同胞に話さず、祈りの中ですべてを神に捧げてください。

決して疑念や落胆の言葉を発しないようにしてください。希望と聖なる喜びの言葉によって、他の人の人生を明るくし、彼らの努力を強化するために、あなたにはたくさんのことができます。

誘惑に極度に抑圧され、自己と悪の力との闘いで気絶しそうな勇敢な魂がたくさんいます。彼女の困難な戦いを落胆させないでください。

彼女を勇気と希望に満ちた言葉で励まし、彼女の進むべき道を突き動かしましょう。

そうすれば、キリストの光があなたから放射されることができます。「私たちは誰も自分のために生きているわけではない」

(ロマ 14:7) 私たちの無意識の影響によって、他の人たちは励まされ、強められるかもしれませんが、あるいは落胆させられ、キリストや真理から遠ざかるかもしれません。

キリストの生涯と性格について誤った考えを持っている人がたくさんいます。彼らは、イエスには温かさや活力がなく、真面目で厳しく、喜びのない人物だと考えています。多くの場合、宗教的な経験全体がこの暗いビジョンによって彩られています。

イエスは泣いたが、笑っているところは一度もなかったと言われる。私たちの救い主は確かに悲しみの人であり、人間のあらゆる苦しみに対して心を開いてくださったので、苦しみをよくご存じでした。しかし、彼の人生は自己否定であり、痛みと心配事に影があったにもかかわらず、彼の精神は打ちひしがれませんでした。あなたの顔はそうではありません

彼は苦悩と不満の表情を見せたが、常に穏やかな静けさを見せていた。彼の心臓は良い生命の源でした。そしてどこに行っても、イエスは安らぎと平和、喜びと満足をもたらしました。

私たちの救い主は非常に真剣で、強い決意を持っていましたが、決してそうではありませんでした。暗い、または退屈。神に倣う者の人生は誠実な目的に満ちたものとなるでしょう。彼らは個人的な責任を深く感じるでしょう。軽薄さは抑圧されるだろう。騒々しい楽しみや悪い冗談はありません。しかし、イエスの宗教は川のように平和を与えます。それは喜びの輝きを消すものではありません。それは幸福を制限するものではなく、明るい笑顔を影に落とすものでもありません。キリストは仕えるためではなく、仕えるために来られたのです。そして神の愛が心に支配するとき、私たちは神の模範に従うでしょう。

もし私たちが他人の無礼で不当な行為を心の中で支配しているなら、キリストが私たちを愛してくださったように彼らを愛することは不可能であることがわかるでしょう。しかし、私たちの思いが私たちに對するキリストの素晴らしい愛と憐れみにとどまるなら、その同じ精神が他の人にも流れるでしょう。たとえ見てもどうしようもない欠点や不完全さにもかかわらず、私たちはお互いを愛し、尊重しなければなりません。謙虚さと不信感

自分自身の心を養い、他人の欠点に対する忍耐強い優しさを養う必要があります。

そうすれば、つまらない利己主義はすべて破壊され、私たちは寛大になり、心が大きくなります。

木曜日

1) 懸念がある場合はどうすればよいですか?リュック。 12:29-31。

「そして、もし神が、今日は野原にあり、明日にはかまどに投げ込まれる草にそのように服を着せてくださるのなら、信仰の薄い人たちよ、あなた方にとってはなおさらのことでしょう。だから、何を食べるか、何を食べるかなどと尋ねないでください。」

詩編作者はこう言います。地に住み、真理を食べなさい」(詩37:3)。「主を信頼してください。」毎日には義務があり、心配事があり、困惑することもあります。そして会ったときには、自分たちの困難や試練について話す準備ができています。非常に多くの借り物の苦難が介入し、非常に多くの恐れが大切にされ、非常に大きな不安が表現されているため、私たちのすべての嘆願を聞き入れ、私たちに贈り物となってくれる慈悲深く愛に満ちた救い主が私たちにいないのではないかと人は思うでしょう。いつでも助けてください。

常に問題を恐れ、借金をしている人もいます。毎日神の愛の証拠に囲まれています。彼らは毎日を楽しんでいます

神の摂理の恩恵。しかし、彼らはこれらの現在の祝福を無視します。彼らの心は絶えず何か不快なことで占められており、それが起こるのではないかと恐れています。そうでないと、たとえそれがどんなに小さなものであっても、実際に存在する何らかの困難によって、感謝を必要とする多くの事柄が見えなくなります。彼らが遭遇する困難は、唯一の助けである神に彼らを導くのではなく、彼らを神から引き離し、落ち着きのなさや不平不満を引き起こします。

私たちがこのように不信者になるのは正しいことなのでしょうか？なぜ私たちは恩知らずで不信感を持つ必要があるのでしょうか。イエスは私たちの友人です。天のすべてが私たちの幸福に関心を持っています。

日常生活の混乱や心配事に心を悩ませ、顔を閉ざしてはなりません。そうすると、必ずイライラしたりイライラしたりすることがあります。私たちは、自分を苦しめ、疲弊させるだけで、試練に耐える助けにはならないような不安を育ててはいけません。

ビジネスで当惑し、見通しがますます暗くなり、損失の危険にさらされるかもしれませんが、落胆しないでください。自分の思い煩いを主に委ねて、穏やかで喜びに満ちていてください。自分の物事を慎重に管理し、損失や災害を避けるための知恵を祈りましょう。好ましい結果を促進するために全力を尽くしてください。イエスは助けを約束されましたが、私たちの努力を無視しませんでした。私たちのヘルパーに頼って、できる限りのことをやり遂げたら、その結果を喜んで受け入れてください。

神の民が配慮の重荷を負うのは神のご意志ではありません。しかし、救い主は私たちを欺きません。神は私たちに「恐れるな、恐れるな」とは言いません。途中で危険はありません。」神は試練や危険があることをご存じであり、私たちに誠実に接して下さいます。彼は取るつもりはない

彼の民は罪と悪の世界から来ていますが、彼らに絶対の避難所を示しています。弟子たちに対する彼の祈りは、「彼らを世から取り除いてくださるようお願いするのではなく、むしろ彼らを悪から守ってくださるようお願いいたします。」でした。「世では、あなた方には苦難があるが、元気を出してください。わたしは世に勝った」（ヨハネ17:15、16:33）。

金曜日

1) 不安に対してはどうすればよいのでしょうか？私はペットです。 5:7。

「あなたの不安をすべて神に託してください。神はあなたのことを気にかけてくださっているからです。」

キリストは山上の説教の中で、弟子たちに次のような貴重な教訓を教えられました。

神を信頼する必要があります。これらの教訓は、いつの時代も神の子供たちを励ますことを目的としており、教えと慰めに満ちて現代にも伝わっています。救い主はご自分の追隨者たちに、空の鳥が「種をまくことも刈り取ることもしない」ため、思考や配慮なしに賛美の歌をどのように調節しているかを指摘されました。それでも偉大な父は彼らの必要を満たして下さいます。救い主はこう尋ねます。「あなたには鳥よりもはるかに価値があるのではありませんか？」（マタイ 6:26）。人間と動物の偉大な供給者はその手を開き、彼のすべての生き物に供給を与えます。鳥は神の注目に値しないわけではありません。神は彼らのくちばしに食べ物を入るのではなく、彼らの必要に応じて食べ物を与えます。彼らは神が彼らのために撒いてくださった穀物を集めなければなりません。

彼らは小さな巣のための材料を準備しなければなりません。彼らは子供たちに餌を与える必要があります。彼らは「天の父が養ってくださる」ため、歌いながら仕事に行きます。

そして、「あなたには彼よりもはるかに価値があるのではありませんか？」あなた方は、知的で霊的な崇拝者として、空の鳥よりも価値のあるものではないのでしょうか。私たちの存在の創造主であり、私たちの人生の保存者であり、ご自身の神聖な姿に私たちを形作られた方は、もし私たちが彼を信頼するのであれば、私たちの必要を満たして下さるのではないのでしょうか？

キリストは弟子たちの注意を、豊かに育つ野の花に向けました。

天の父が人類への愛の表現として彼らに与えた、素朴な美しさの中で輝く豊かさ。「野のユリがどのように成長するかを考えてみてください」(マタイ 6:28,30)と彼は言いました。これらの自然の花の美しさと素朴さは、ソロモンの素晴らしさをはるかに上回ります。芸術の技術によって生み出された最もまばゆい装飾品は、神の創造物である花の自然の優美さと輝く美しさに匹敵するものではありません。イエスはこう尋ねます。「神が今日と明日オープンに投げ込まれる野の草にそのように服を着せられるのなら、信仰の薄い人たちよ、あなたの方にとってはなおさらのことでしょうか」。マタイ 6:28,30。もし神聖なる芸術家である神が、一日で散ってしまう素朴な花々に、その繊細で多様な色を与えたとしたら、ご自身の姿に似せて創造された花たちに対して、どれほど大きな配慮をしてくださるでしょうか。キリストのこの教訓は、不信仰な心の不安な考え、困惑、疑いに対する叱責です。

主はご自分の息子や娘全員が幸せで、平和で、従順であるのを見ることを望んでおられます。イエスはこう言われました。世界が与えるように私はあなたにそれを与えません。心を騒がさないでください、恐れしないでください。」「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが完全になるためである」(ヨハネ14:27,15:11)。

義務の道を離れて利己的な理由で追求される幸福は、バランスを欠き、落ち着きがなく、一時的なものです。それが過ぎると、魂は孤独と悲しみで満たされます。しかし、神への奉仕には喜びと満足感があります。クリスチャンは、不確かな道を歩まされることはありません。彼は無駄な失恋や失望に見捨てられることはありません。もし

私たちはこの世の喜びを持っていませんが、それでも来るべき人生を見つめて喜びを感じることができます。

しかし、ここでもクリスチャンはキリストとの交わりの喜びを得ることができます。彼らは神の愛の光、神の臨在による永遠の慰めを得ることができるかもしれません。人生のあらゆる段階で私たちはイエスに近づき、イエスの愛をより深く体験することができ、祝福された平和の家的一步近づくことができます。したがって、私たちは自信を否定するのではなく、これまで以上にしっかりとした確信を持ちましょう。

「主はこれまで私たちを助けてくださいました。」(サムエル7:12)そして最後まで私たちを助けてくださいます。記念碑的な柱、神が私たちを慰め、破壊者の手から私たちを救ってくださったことの記念碑を見てください。神が私たちに示してくださったすべての優しい憐れみ、神がぬぐってくださった涙、神が和らげてくださった痛み、神が取り除いてくださった不安、神が払拭してくださった恐怖、神が満たしてくださった必要、与えてくださった祝福を、常に新鮮に記憶に留めましょう。このようにして、私たちは残りの巡礼期間を通して、目の前にあるすべてのものに対して自分自身を強化します。

土曜日

1) 私たちはクリスチャンとしてのキャリアの中で葛藤を経験するかもしれませんが、神は私たちのために何をしてくださるでしょうか。 1コリント 10:13。

「神は真実な方で、あなたができる以上の誘惑には遭わせられません。しかし、あなたがそれに耐えられるように、誘惑に対しても逃げ道を設けてくださるのです。」

私たちはこれから起こる紛争における新たな困難に目を向けざるを得ませんが、過去とこれから目を向けて、「これまで主が私たちを助けてくださった」と言うことができます(サムエル7:12)。「あなたの日々と同じように、あなたの平和も続くであろう。」

33:25) 。試練は、それに耐えるために私たちに与えられた力を超えることはありません。
ですから、何が来ても試練に見合った力が与えられると信じて、自分の仕事を見つけた場所で正確に実行しまし
よう。

2) 勝者にはどのような報酬が約束されていますか?アポック。 21:1-4,7.

「そして、私は新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は過ぎ去り、海はもはや存在しなかった。そして
私、ヨハネは聖なる都、新しいエルサレムが神のもとから下りてくるのを見た。「見よ、神の幕屋は人々とともに
あり、神は彼らとともに住み、彼らは神の民となり、神ご自身となるだろう。」と私は天から大きな声を聞いた。神
は彼らとともにおられ、その神となるでしょう。そして神は彼の目からあらゆる涙をぬぐい去ってくださり、もはや
死も悲しみも叫びも痛みもありません。以前のものは過ぎ去ったからです...勝利する者はすべてを受け継ぎ、私
は彼の神となり、彼は私の子となる。」

そして、天国の扉が足元から足元まで開かれ、神の子供たちが迎え入れられ、栄光の王の唇から、祝福が最も美し
い音楽のように彼らの耳に降り注ぐでしょう。私の父 !世の初めからあなたのために用意された王国に入りなさい
い」(マタイ25:34) 。

そうすれば、救われた人たちはイエスが彼らのために用意しておられる家に迎え入れられるでしょう。
そこでは、あなたの仲間もはや地球の卑劣な者、嘘つき、偶像崇拝者、不純な者、不信者ではなくなります。しか
し彼らは、サタンに打ち勝ち、神の恵みによって完全な人格を形成した人々と交わることになります。ここで彼らを
苦しめているあらゆる罪の傾向、あらゆる不完全さはキリストの血によって取り除かれ、太陽の明るさをはるかに
超える神の栄光の卓越性と素晴らしさが彼らに伝えられます。

そして、道徳的な美しさ、つまり神の人格の完全性が彼らを通して輝き、外面的な輝きとは比較にならないほど大
きな価値があります。彼らは必ず偉大な白い玉座の前において、天使の尊厳と特権を共有しています。

自分に属するかもしれない輝かしい遺産を考えると、「人は自分の魂と引き換えに何を捧げるだろうか」。(マ
タイ 16:26) 。彼は貧しいかもしれないが、それでも世では決して与えられない富と尊厳を自分の中に持っている
。罪から贖われ清められた魂は、その崇高な能力のすべてが神への奉仕に捧げられており、非常に価値のある
ものです。そして天国では、神と聖なる天使たちの御前で、救われた魂に対して喜びがあり、その喜びは聖なる勝
利の歌で表現されます。

13日土曜日の特別オファー

ブラジル、クリチバに本教会を建設

今四半期、第13土曜日の捧げ物は、ブラジルのクリチバにある第4天使省 - 最終警告の本部教会の建設に使用されます。現場ではすでに工事が始まっています。この建物は、説教をインターネットを介して世界規模のネットワークに発信する構造を持ち、真の福音の言葉によって、各国の多くの関係者が目覚め、永遠の命への道を見出すことができるようにするものです。これは、福音があらゆる国、部族、言語、人々に宣べ伝えられる手段の一つとなるでしょう。このプロジェクトに参加しようと心を動かされたすべての人たちの努力に神のご加護がありますように！

ハイロ・カルヴァーリヨ牧師



写真1 - 地形の整地

写真2 - 建設現場の様子と